

平成 24 年度交通エコロジー・モビリティ財団支援事業

平成24年度

小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業

# 報告書

平成 25 年 3 月 札幌市





## 【 目 次 】

<b>第 1 章 事業概要</b> .....	<b>1-1</b>
1-1 事業概要.....	1-1
1-2 実施スケジュール.....	1-2
<b>第 2 章 交通環境学習の実施</b> .....	<b>2-1</b>
2-1 交通環境学習の実施概要.....	2-1
2-2 札幌市立本通小学校 3 年生における交通環境学習の実践.....	2-2
2-2-1 交通環境学習実践概要 授業者:河嶋一貴教諭.....	2-2
2-2-2 指導案.....	2-3
2-2-3 意見交換会.....	2-5
2-3 札幌市立手稲宮丘小学校 5 年生における交通環境学習の実践.....	2-7
2-3-1 交通環境学習実践概要 授業者:牧野宜英教諭.....	2-7
2-3-2 指導案.....	2-8
2-3-3 意見交換会.....	2-10
2-4 札幌市立山の手南小学校 5 年生における交通環境学習の実践.....	2-12
2-4-1 交通環境学習実践概要 授業者:栗原聡太郎教諭.....	2-12
2-4-2 指導案.....	2-13
2-4-3 意見交換会.....	2-15
2-5 札幌市立屯田小学校 6 年生における交通環境学習の実践.....	2-17
2-5-1 交通環境学習実践概要 授業者:斉藤健一教諭.....	2-17
2-5-2 指導案.....	2-18
2-5-3 意見交換会.....	2-22
2-6 指導案のフォーマット化.....	2-24
<b>第 3 章 交通環境学習プラットフォームの運用</b> .....	<b>3-1</b>
3-1 交通環境学習プラットフォームの運用.....	3-1
3-2 WEB ページの掲載内容.....	3-2
<b>第 4 章 検討委員会・ワーキンググループの運営</b> .....	<b>4-1</b>
4-1 検討委員会の開催.....	4-1
4-1-1 第 1 回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要.....	4-1
4-1-2 第 2 回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要.....	4-4
4-1-3 第 3 回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要.....	4-6
4-2 ワーキンググループの開催.....	4-9
4-2-1 第 1 回ワーキンググループの開催概要.....	4-9
4-2-2 第 2 回ワーキンググループの開催概要.....	4-12
4-2-3 第 3 回ワーキンググループの開催概要.....	4-17

<b>第 5 章 本事業の取組み報告</b> .....	<b>5-1</b>
5-1 第 7 回日本モビリティ・マネジメント会議.....	5-1
5-2 土木と学校教育フォーラム.....	5-4
5-3 小学生作文コンクール.....	5-6
<b>第 6 章 本事業のまとめと今後の方針</b> .....	<b>6-1</b>
6-1 本事業のまとめと今後の方針.....	6-1
6-2 平成 25 年度のスケジュール.....	6-2

## **資料編**

## 第1章 事業概要

---

### 1-1 事業概要

#### (1) 業務の名称

平成 24 年度小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業

#### (2) 業務の目的

本業務は、平成 23 年度から平成 25 年度の 3 ヶ年計画のもと、交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受け実施しており、教材・授業プログラム等を開発し、札幌市教育委員会が発行する指導資料にこのプログラムが反映されることにより、札幌市内において、交通環境学習が広く実践されることを目的としている。

業務 2 年目となる今年度は、研究事業の実践数を増やし、各学年への展開を広げていくとともに、「札幌らしい交通環境学習」教育プラットフォームの運用を開始する。

#### (3) 業務の項目

- ①「札幌らしい交通環境学習」教材・授業プログラム開発
- ②「札幌らしい交通環境学習」教育プラットフォーム構築
- ③交通環境学習の実施
- ④札幌らしい交通環境学習検討委員会・ワーキンググループの開催
- ⑤完了報告書等の提出

#### (4) 履行期間

平成 24 年 5 月 8 日より平成 25 年 3 月 27 日まで

#### (5) 発注者

札幌市市民まちづくり局総合交通計画部

#### (6) 受注者

一般社団法人 北海道開発技術センター

〒060-0051

札幌市中央区南 1 条東 2 丁目 11 番地南 1 条タカハタビル

TEL 011-271-3022 FAX 011-271-5366

## 1-2 実施スケジュール

今年度は、平成23年度の実施結果を受け、研究授業の実践を重ねるとともに、WEBプラットフォームを構築し、MM教育に係わる情報提供を行った。

本事業のスケジュールについては以下に示す。

表 1-1 平成24年度スケジュール

	研究授業実践スケジュール	その他
4月		
5月	5/9:第1回WG	
6月	6/29:第1回検討委員会	
7月	7/4: 研究授業の実践(札幌市立手稲宮丘小学校) 7/18: 研究授業の実践(札幌市立山の手南小学校)	7/28土木と学校教育フォーラム参加
8月	8/20-10/1: 小学生作文コンクール	8/3-5JCOMM参加
9月	9/5:研究授業の実践(札幌市立本通小学校)	
10月	10/15:第2回WG	
11月	11/27:研究授業の実践(札幌市立屯田小学校)	
12月	12/27:第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会	
1月		
2月	2/26:第3回WG	
3月	3/21:第3回札幌らしい交通環境学習検討委員会	

## 第2章 交通環境学習の実施

### 2-1 交通環境学習の実施概要

今年度の交通環境学習においては、より多くの研究授業を実践し、各学年や学校への広がりを目指した。研究授業は、第4章にて詳述するワーキンググループの中で、実施学年・実施教科を検討し、その結果、1学期に手稲宮丘小学校の牧野宜英教諭と山の手南小学校の栗原聡太郎教諭、2学期に本通小学校の河嶋一貴教諭と屯田小学校の斉藤健一教諭を授業者として研究授業を実践することが決定した。

研究授業では、指導案をワーキンググループメンバーの教諭がそれぞれ作成し、ワーキンググループ内で検討を行ったものを使用した。また、研究授業実施後は、意見交換会を行い授業内容の評価を行った。意見交換会は、ワーキンググループメンバーをはじめ、市内小学校の教諭や公共交通機関関係者等が参加した。

研究授業の実施の流れについては、以下のフロー図に整理する。



図 2-1 交通環境学習の実施の流れ

## 2-2 札幌市立本通小学校 3 年生における交通環境学習の実践

### 2-2-1 交通環境学習実践概要 授業者：河嶋一貴教諭

- 実施日：平成24年 9 月 4 日(水)6 時間目
- 実施校：札幌市立本通小学校
- 対象学年：3 年生(1クラス)
- 授業者：河嶋 一貴 教諭
- 教科：社会科
- 単元：もっと知りたいみんなのまち



写真 2-1 本通小学校の交通環境学習の実施の様子



## 2-2-2 指導案

河嶋一貴教諭が作成した指導案を以下に示す。

### 社会科学習指導案 (for MM教育)

日 時 平成24年9月5日(水) 6校時  
 児 童 3年2組 男子21名 女子14名 計35名  
 指導者 河嶋 一貴

#### 1. 単元名

大単元1 「もっと知りたい みんなのまち」  
 中単元2 「わたしたちの市の様子」

#### 2. 単元の主張

<主張点1>

**単元のねらいをおさえつつ、MM教育のねらいをおさえる。**  
 →札幌市の交通の様子を核に、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働きと関連づける。

本単元のねらいは、札幌市について調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えることである。具体的に調べることは、①特色ある地形②土地利用の様子③主な公共施設などの場所と働き④交通の様子⑤古くから残る建造物の5点である。

本単元は、地域社会の学習を進めていく上で基礎となるため、MM教育の趣旨から、「④交通の様子」を核に、「②土地利用の様子」と「③主な公共施設などの場所と働き」とを関連づけることで、札幌市の特徴をとらえるとともに、公共交通のよさに気付くことを目指す。

<主張点2>

**だれでも実践できる教材化、学習展開**  
 →副読本、地図など、すべての教員がもっている教材を活用する。

今年度のWGのミッションは、研究授業を通して、MM教育を広めるための方法を検討することである。

社会科や総合的な学習の時間にMM教育を進めようするためには、多くの先生方に「これだったら取り組んでみようかな」と思ってもらうことが大切である。

ポイントは次の3点。①準備に時間がかからないこと。②子どもも教師も学習していて楽しいこと。③子どもに力がつくこと。

そこで、すべての教員がもっている副読本や地図を活用しながら、子どもが楽しみながら力をつけることのできる質の高い学習を目指す。

なお、本プランは、平成24年度 札幌市研究集会(白石区)の実践をもとに、MM教育の趣旨に合わせて再構成した。

#### 3. 単元の目標

- 札幌市について関心をもち、意欲的に調べ、札幌市の特色やよさを考えようとしている。(関心・意欲・態度)
- 土地利用の様子を地形的条件や社会的条件と関連づけたり、分布の様子を相互に比較したりして、地域の様子は場所によって違いがあることを考え、適切に表現している。(思考・判断・表現)
- 地図や写真、副読本などの資料を活用しながら、札幌市について必要な情報を集め、整理取っている。(技能)
- 札幌市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などは、場所によって違いがあることを理解している。(知識・理解)

#### 4. 単元構成(本時 8/10)

1	札幌って素敵なまち!
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>3の2オリジナル札幌マップをつくらう</p> </div> <p>・土地の高低 ・自然の様子 ・人口</p> <p>私たちの区とは様子が違うね。</p> <p>行ったことがあるところは…?</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div> <p>札幌地図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10区</li> <li>・公共施設</li> </ul> </div> </div>
3	札幌市の土地の使われ方は?
4	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>交通の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄</li> <li>・JR</li> <li>・国道</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>畑の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区や東区に</li> <li>・平らな土地に</li> <li>・川の近く</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">札幌地図</p>
5	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>中心部の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビル、店多い</li> <li>・公共施設多い</li> <li>・古い建物多い</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>住宅地の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清田区、厚別区</li> <li>・広い道に沿って</li> </ul> </div> </div>
6	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>自然の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南や西に山</li> <li>・豊平川</li> <li>・公園</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>住宅地の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清田区、厚別区</li> <li>・広い道に沿って</li> </ul> </div> </div>
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>札幌市には地下鉄があるよ!</p> <p>そのよさは…?</p> </div> <p>南北線・東西線・東豊線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: small;">速い 時間が正確</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: small;">環境に やさしい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: small;">一直線に たくさんのお客</div> </div>
8 <b>下時</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>公共施設が地下鉄の近くにあると どんないいことがあるのだろうか?</p> </div> <p>誰でも使えて、速くて楽! 地下鉄ってすごい! 公共交通機関で、札幌のどこへでも行けるよ!</p>
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>オリジナル札幌マップ完成!</p> </div> <p>いろいろな人に伝えよう!</p>
10	

図 2-2 河嶋教諭の指導案①

5. 本時の主張

【本時の目標】  
地下鉄沿線に公共施設が多いという事実から問いをもち、地下鉄やバスのよさと公共施設の働きを、徒歩や自動車と結びつけて考える。

本時は、既習を活用しながら、札幌市の公共交通機関のよさを実感することを旨とする。まず、「公共施設が地下鉄の近くにあるよさ」を考えることで、公共施設の働きと地下鉄のよさをつなげて考える。子どもがより実感的にとらえられるよう、「円山動物園」を公共施設の例として考えたり、視覚に訴える板書を工夫したり、自動車と地下鉄を行ったりする。「円山動物園」以外の公共施設を当てはめることで、「地下鉄のよさ」の一般化を図る。最後に、「さとらんど」など地下鉄が近くにない公共施設を取り上げ、バスが有効であること、公共交通機関を使えば、札幌市のほとんどのところへ行けることをおさえる。

6. 本時の展開 (8 / 10)

子どもの活動と思考の流れ	教師のかかわり
<p>(前時まで) 札幌市全体の特徴、主な公共施設の場所などを学んでいる。 札幌市の公共交通機関について学んでいる。</p> <p>南北線、東西線、東豊線 → <b>札幌市地区</b> 地下鉄路線図 公共施設位置 ← 公共施設</p> <p>公共施設は、地下鉄の近くにたくさんあるよ。</p> <p><b>公共施設が地下鉄の近くにあったら、 どんないいことがあるのかな？</b></p> <p>円山動物園 ← 本通小学校 地下鉄だったら・・・</p> <p><b>はやい</b> ・歩いたら3時間 ・地下鉄なら15分</p> <p><b>楽</b> 座ったままでつく 歩かなくていい</p> <p><b>だれでも</b> ・子どももお年寄りも ・車のない人も</p> <p>自動車でもいいんじゃない？</p> <p>みんながいつべんに自動車で来ると・・・ ・駐車場が混んでしまう ・じゅうたいする ・排気ガスがいっぱい出る</p> <p>みんなが利用する公共施設だからこそ</p> <p>青少年科学館   札幌コンサートホール   札幌ドーム</p> <p><b>公共施設が地下鉄の近くにあったら、 みんなが利用しやすいんだね。</b></p> <p>でも、さとらんどや芸術の森は、地下鉄から遠いよ…</p> <p><b>札幌市地区</b> 地下鉄路線図 公共施設位置 &amp; バス路線図</p> <p>バスで行けるよ！</p> <p>公共交通機関で 札幌市内ほとんどのところへ行ける！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用する。</li> <li>・地下鉄路線図と公共施設の位置を重ねることで、問いを生む。</li> <li>・具体的に考えられるように、子どもたちがよく利用する「円山動物園」を例に考える。</li> <li>・徒歩との比較を通して、地下鉄のよさに気付かせる。</li> <li>・視覚的な板書を工夫する。</li> <li>・公共施設へ行く際の地下鉄のよさをまとめた上で、「自動車も同じでは？」と発問する。自動車のよさも認めつつ、マイナス面について検討する</li> <li>・他の公共施設に目を向け、一般化を図る。</li> <li>・地下鉄駅から遠い公共施設を取り上げる。</li> <li>・バス路線図を提示し、バスを使えば、札幌市内どこへでも行けることを押さえる。</li> </ul>

図 2-3 河嶋教諭の指導案②

### 2-2-3 意見交換会

研究授業後に行われた意見交換会の主な意見と意見交換会の様子を以下に整理する。

#### 【実施概要】

- 実施日:平成24年9月4日(水)研究授業終了後
- 実施校:札幌市立本通小学校
- 参加者:新保校長・河嶋教諭・斉藤教諭・本通小校長・市内小学校教諭
- 進行:札幌市立屯田小学校 斉藤 健一 教諭

#### ～授業者から研究授業について～

★社会科の授業でいかにMMを展開できるか。交通の様子と公共施設を絡めた学習展開とした。

#### ～意見～

- 公共施設の言葉が難しいのではないかと。
- 具体から話をしないと子どもたちは考えづらいと思った。
- 公共交通の説明としては、質よりも量(誰が使うよりは、どれだけ使われているか)で説明したほうがわかりやすいのではないかと。
- 市街化区域の地図等を利用し、時代の流れとともに、公共交通のカバー率がわかる資料を提示するとわかりやすいのではないかと。
- 行く人の立場から考えさせると理解しやすいのではないかと。
- クルマがいいではなく、クルマもいい、バスもいい、地下鉄もいいということを目指した方が良いと思う。環境から入るのは良いのではないかと感じる。
- 学年別に、授業テーマを設定し、まとめる必要がある。
- 3年生は「公共交通を知ろう」、5年生は「環境にやさしい公共交通」、6年生は「利用してみる」など。
- 公共交通の良さは、大量輸送なので、そこを強く出してもらえる授業だと良いのではないかとと思う。

#### ～今後の課題～

- 3年生に公共交通の良さの実感は難しい。公共交通とは何かを理解させるには？



写真 2-2 意見交換会の様子

## 2-3 札幌市立手稲宮丘小学校 5 年生における交通環境学習の実践

### 2-3-1 交通環境学習実践概要 授業者：牧野宜英教諭

- 実施日：平成 24 年 7 月 4 日(水)5 時間目
- 実施校：札幌市立手稲宮丘小学校
- 対象学年：5 年生(1 クラス)
- 授業者：牧野 宜英 教諭
- 教科：総合
- 単元：環境について考えよう



写真 2-3 手稲宮丘小学校の交通環境学習の実施の様子

## 2-3-2 指導案

牧野宜英教諭が作成した指導案を以下に示す。

### 総合的な学習の時間 指導案

児童 5年3組 31名  
指導者 教諭 牧野 宜英

**1 単元名 「環境について考えよう」**

**2 確かな学びを生む教材化について**  
○考える根拠を増やす単元構成  
子どもは「地球温暖化」という言葉を聞いたことはあるが、詳しいメカニズムや自分の生活とのつながり等、詳しくはわかっていない。そこで、「地球のためにできること」やインターネットを活用し、十分に調べ活動を行う。  
その過程で「札幌の年平均気温の変化」や「交通行動における自分の二酸化炭素排出量」を調べ、地球温暖化を自分事としてとらえられるようにする。

**3 心が動く学習展開について**  
○問いを生む場  
問いを生む場では「テレビを1時間見ないよりも車を10分使わない方が45倍も効果がある」と「札幌市では近年10分以内の車の使用が増えている」という事実から問いを生む。  
○問いを解決する場  
問いを解決するために「誰が」「どのような行動をとればよいのか」「それは実現可能なのか」をはっきりさせる。また、これまでの調べ学習の根拠をもとに「近い距離での車の使用」「公共交通」に視点を絞る。  
○自分とのつながりを考える場  
これまで、環境とのつながりで考えていた「車」を「公共交通」という視点からとらえ直す。車がもつ問題点を違う角度からとらえることで、さらに自分とのつながりを深める。

**4 単元の目標**  
【追求する力】  
身近に起こっている地球温暖化について調べながら「車社会」がかかえる問題について自分なりの解決方法を見付けることができる。

**5 指導計画（15時間扱い 本時9／15）**

- ① 今、地球ではどんなことが起きているのかな  
自然のバランスがくずれてきている  
・海面上昇 ・異常気象 ・動植物の減少  
\*「地球のためにできること」活用
- ② 地球温暖化について調べよう
- ③ 気候変動 ● 地球温暖化ガス ● 海面上昇
- ④ 札幌はどうなのかな？  
札幌の気温 100年間で1度 上昇  
小樽の気温 50年間で1度 上昇  
札幌の冬日・真冬日も少なくなっている！
- ⑤ 札幌でも地球温暖化が進んでいるようだ
- ⑥ 私たちには、どんなことができるのかな？
- ⑦ \*調べ学習を行いながら北海道開発技術センターの「交通日記」を活用し、交通行動における自分のCO<sub>2</sub>排出量を知る。  
⑧ [本時]  
テレビを1時間見ないよりも車を10分使わない方が45倍も効果がある  
10分以内の車の利用が増えている  
CO<sub>2</sub>排出量を減らすためには？  
自分 お父さん お母さん  
車の利用をちょっと控えるだけでずいぶんCO<sub>2</sub>を減らすことができそうだし、しかも車に頼りすぎることによって困ったことが...
- ⑨ 札幌の公共交通について調べよう
- ⑩ 良い点 問題点  
・CO<sub>2</sub>が少ない  
・札幌市のほぼ100%を網羅  
・赤字である  
・便数や路線数が減っている
- ⑪ 札幌の公共交通を支えるのは、札幌市民一人ひとりなんだね
- ⑫ 分かったことをポスターでまとめよう
- ⑬ 環境のため 札幌市のため 自分自身にできることを

図 2-4 牧野教諭の指導案①

6 本時のねらい

自分の生活の問題点と札幌市の問題点とをつなげ自分や家族の生活の改善点を考えるとともに、これからの公共交通のあり方への関心を高める。

7 本時の展開

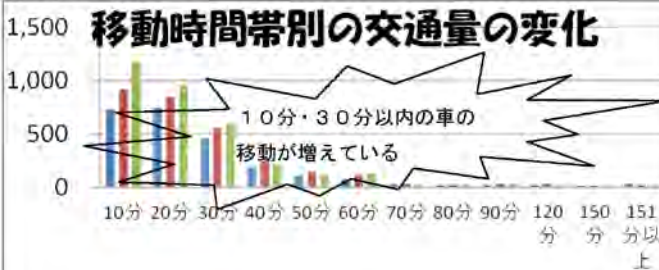
子どもの意識と学習活動	教師のかかわり
<p>前時までの子どもの姿</p> <p>地球温暖化の影響が北海道でも起こっていることを知り、自分にできることを考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>CO<sub>2</sub>の排出量を減らすためにはどうしたらいいのかな</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ゲームを30分我慢する</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>近所への買い物は歩いて</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>お風呂の時間を短くする</p> </div> </div> <p>○札幌市の現状</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>CO<sub>2</sub>の排出量を減らすためにはどうしたらいいのかな</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>自分</b> 歩く</p> <p>・近くの店に買い物に行くときは、歩いたらいいんじゃない</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>お父さん</b> 自転車を使う</p> <p>・少し離れた場所でも自転車を使えばいいんだね</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>自分</b> バスを使う</p> <p>・習い事に行くときにはバスを使う方がいいんだね</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>車の利用をちょっと控えるだけでずいぶんCO<sub>2</sub>を減らすことができそう</p> </div> <p style="text-align: center;">自家用車に頼りすぎること環境以外にも困ったことが起こりそうだね</p>	<p>○テレビを1時間見ないよりも車を10分間使用しない方がはるかに効果があることから交通行動に焦点化していく。</p> <p>○札幌市民の交通行動のグラフから問いを生む</p> <p>○誰がどのように行動を変えればよいか、その可能性はどれぐらいあるのかで類分けを行う。</p> <p>○新聞記事を提示し、これからの公共交通を考えるきっかけにする。</p>

図 2-5 牧野教諭の指導案②

### 2-3-3 意見交換会

研究授業後に行われた意見交換会の主な意見と意見交換会の様子を以下に整理する。

#### 【実施概要】

- 実施日:平成 24 年 7 月 4 日(水)研究授業終了後
- 実施校:札幌市立手稲宮丘小学校
- 参加者:新保校長・上田係長・川瀬委員・牧野教諭・河嶋教諭・斉藤教諭・栗原教諭・手稲宮丘小学校長・市内小学校教諭
- 進行:札幌市立本通小学校 河嶋 一貴 教諭

#### ～授業者から研究授業について～

- ★エコや CO2 削減を言うことは簡単だが、これをどこまで、浸透させることが出来るかを考えた。
- ★公共交通が善でマイカーが悪ではなく、かしこく選択する力を養いたいと思った。

#### ～意見～

- 自分たちが公共交通を利用すれば、環境などにどれだけ貢献できるのかがわかるグラフを使用するなど、公共交通の良さを感じられる資料の提示があればよい。
- 公共交通機関がなかったら困ることや公共交通機関の大切さを実感できる資料の提示が良いのではないかな。
- 札幌市と他の都市とを比較することによって、札幌市の公共交通がいかに普及しているかがわかるのではないかな。
- 子どもたちが、公共交通を使うことでCO2 削減にどれだけ貢献できたかなどがわかる「CO2 貯金」などを行えば、見える化ができ、実感を持たせられるのではないかな。また、張り紙などで掲示することによって、学校全体へ波及もあるのではないかな。
- 自分自身が、公共交通を利用しないと実感は持てないと思うので、まず乗ることが良いと思う。
- 「郷土を知る単元」で、札幌市内片道 200 円の旅を実施している。自分たちで行き先を調べ、実際に公共交通で行かせている。

#### ～今後の課題～

- 子どもたちに公共交通の良さを実感させるには？





写真 2-4 意見交換会の様子

## 2-4 札幌市立山の手南小学校 5 年生における交通環境学習の実践

### 2-4-1 交通環境学習実践概要 授業者：栗原聡太郎教諭

- 実施日：平成 24 年 7 月 18 日(火)5 時間目
- 実施校：札幌市立山の手南小学校
- 対象学年：5 年生(1 クラス)
- 授業者：栗原 聡太郎 教諭
- 教科：総合
- 単元：環境 HOT COM

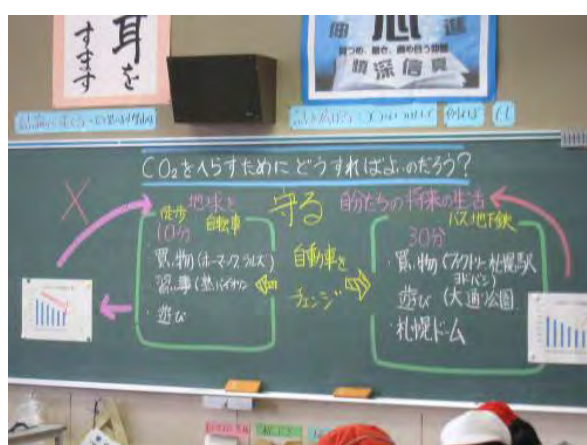


写真 2-5 山の手南小学校の交通環境学習の実施の様子

## 2-4-2 指導案

栗原聡太郎教諭が作成した指導案を以下に示す。

<b>5年総合</b>	「環境HOTCOM.」 8時間
5年2組 教諭 栗原 聡太郎	7月18日(火) 5校時

**1. 単元について**

私たちの暮らしにとって「公共交通」は大きな役割を果たしている。しかし、札幌市では市内のほぼ全域にバス路線が張りめぐらされているにもかかわらず、ここ30年間のバスの利用者はほぼ半減してしまっている。その背景には、無自覚な自動車依存がある。その便利さから10分以内の移動も車で移動するようになってきているからである。この状況が改善されなければ、ますますバス路線は縮小され、本当に必要としている人々の移動に大きな問題が生じてくることになる。

そこで、MM（モビリティ・マネジメント）教育が注目を集めている。MM教育とは、「一人ひとりの移動や、街や地域の交通などを、それぞれにかかわる主体が、いろいろと工夫を重ねながら改善していく取り組み」であると定義されている。本単元では、「賢い公共交通の利用の仕方」を「環境」という視点から考えさせ、持続可能や社会を形成するための資質を育もうと考える。

**2. 授業改善に向けて**

**改善1【場ごとのねらいを明確にする】**

**つかむ**

つかむ場では、移動時間帯別の交通量の変化を表したグラフを提示する。150分以上の車利用の様子と比較しながら資料を読み取らせることで、10分以内の移動も車で移動するという札幌市の過度な車利用の様子を理解させる。また、10分間の車利用は「何のために」「どこに行くのか」考えさせたり、地図を活用したりしながら移動の目的を具体的に捉えさせ、CO2削減のための車以外の移動方法の仕方について見通しをもたせていく。

**わかる**

単なる車以外の移動方法の交流ではなく、その方法が家族の日常生活において実現可能なものであるのか子どもたちに吟味させていく。自動車、公共交通それぞれのメリット・デメリットを述べ合うことで容易には解決に至らない複合的な問題に向き合い、自分なりに納得できる答えを導き出していくと考える。

**たしかにする**

たしかにする場では、「バス路線の減少」を示す資料を提示し、バス路線の減少が引き起こす問題について考えさせる。そうすることで、公共交通の利便性を「将来の自分たちの生活」という新たな視点で捉え直せる。

**改善2【学ぶ力を鍛える】**

本単元のまとめ・表現活動では、国語科の学習と結び付け単元の学習内容をレポートにまとめ、保護者に提案する活動を行う。他教科と横断的に単元を構成し、より効果的に子どもたちの表現力を高めていく。また、その力を次単元の「雪HOTCOM.」で活用・発展させていく。

**3. 単元の目標**

○地球温暖化の資料からCO2削減の取組に向けて課題を設定することができる。 【課題設定能力】

○CO2削減方法のための資料を集めたり、レポートをまとめるために必要な情報を複数の資料から取り出したりすることができる。 【情報の収集能力】

○地球環境の保全と持続可能な生活の維持のために公共交通の利用を提案するレポートを資料や体験を効果的に活用してまとめることができる。 【表現力】

**4. 単元構成**

1	<b>今、地球ではどんなことが起こっているのかな？</b>		
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>地球温暖化</b></p> <p style="text-align: center;">・海面上昇・異常気象・動植物の絶滅</p> <p style="text-align: center;">自然のバランスが崩れてきている</p> <p style="text-align: center;"><b>札幌はどんなかな？</b> 【札幌の気温】</p> <p style="text-align: center;">・100年間で1度上昇 ・冬も真冬日も少なくなっている</p> <p style="text-align: center;"><b>1000年の歴史でもこれまでにない速さの変化！！</b></p> <p style="text-align: center;">地球温暖化が進み、自然のバランスが崩れて様々な問題が私たちの近くで起き始めているんだね。</p> </div>		
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">地球のために私たちにどんなことができるのかな？</p> <p style="text-align: center;">*北海道開発技術センターの「交通日記」を活用し、交通行動における自分のCO2排出量を知る。</p> <p style="text-align: center;"><b>自分たちの生活だけでもCO2を減らせる</b> <b>ところがまだまだありそうだよ。</b></p> <p style="text-align: center;">CO2の排出量を減らすためにどうしたらよいのかな？</p> </div>		
4 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【歩く・自転車】</b> 10分を我慢 ・買い物・送迎 ・遊び・習い事</p> <p style="text-align: center;"><b>車利用を</b> <b>チェンジ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>【公共交通】</b> 30分を我慢 ・買い物・遊び ・通勤</p> <p style="text-align: center;">車の利用を少し我慢して公共交通を使うことで、環境に優しく、自分たちの将来の生活にも役に立つんだね。</p> </div>		
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">札幌市の公共交通について調べよう</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【良い点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2の排出量が少ない</li> <li>・市内をほぼ100%網羅</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【問題点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字である</li> <li>・便数や路線数の減少</li> </ul> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">札幌の公共交通を支えるのは、市民一人ひとりなんだね。</p> </div>	<p style="text-align: center;"><b>【良い点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2の排出量が少ない</li> <li>・市内をほぼ100%網羅</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【問題点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字である</li> <li>・便数や路線数の減少</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>【良い点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2の排出量が少ない</li> <li>・市内をほぼ100%網羅</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【問題点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字である</li> <li>・便数や路線数の減少</li> </ul>		
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">学んだことをレポートにまとめお家の方に提案しよう。</p> </div>		
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">CO2の減らし方を具体的に書こう</p> </div>		
8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">公共交通に乗った体験を書こう</p> </div>		

図 2-6 栗原教諭の指導案①

5. 本時案 (4 / 8 時間)

<p>本時の目標</p>	<p>札幌市の過度な車利用の現状や公共交通の利用の減少が引き起こす問題について理解し、地球環境や将来の自分たちの生活のために車利用を控えることの大切さを考え、適切に表現している。【思考・判断・表現】</p>	
<p>つかむ</p>	<p>前時までに子どもたちは、地球温暖化の影響が北海道でも起きていることを知り、自分の交通カルテから CO2 を減らすための自分たちにできることを考えている。</p> <p>札幌市の過度な車利用の現状を理解し、学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○10分の車利用が30年の間に増加していることをグラフから読み取る。</li> <li>・10分までの車利用が増えているよ。</li> <li>・CO2が増えてしまうよ。</li> <li>○10分の車利用は「何のために」「どこに行っているのか」考える。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">CO2の排出量を減らすためにはどうしたらよいのかな？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10分の車利用の増加を抑えることができるように、150分以上の車利用の様子と比較しながら資料を提示する。</li> <li>・CO2を減らすための具体的な方法を考えることができるよう、10分間の車利用は「何のために」「どこに行くのか」考えさせる。その際、交通日記や地図を活用し、具体的に捉えることができるようにする。</li> </ul>
<p>わかる</p>	<p>CO2の排出量削減のための車以外の移動方法をの仕方を提案したり、その意味について考えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>車利用を</b> <b>チェンジ</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【歩く・自転車】 10分を我慢 ・買い物・送迎 ・遊び・習い事</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【公共交通】 30分を我慢 ・買い物・遊び ・通勤</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○10分、30分の車利用を抑えるための方法を考え、シートにまとめ、発表する。</li> <li>○自分の家族が30分の車利用を公共交通手段に変えることが本当にできるのか考え、交流する。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">車の利用を少し我慢して公共交通を使うことで、ずいぶんCO2を減らすことができそうだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30分の車利用の増加を示すグラフを提示し、公共交通の利用に交流を焦点化する。</li> <li>・公共交通の利用が日常生活において現実的か吟味するために、「公共交通を利用するか、しないか」について意見を交流させる。</li> <li>・公共交通の利用を促進することで持続可能な社会に近づくことが理解できるように、バス路線が減少することの問題点を考えさせたり、利用の増加による利点を説明したりする。</li> </ul>
<p>たしかにする</p>	<p>札幌市の公共交通が抱える問題を理解し、車利用を控え、公共交通を利用することの意味を「環境」「将来の自分たちの生活」という視点から捉え直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バス路線が減少している事実から、公共交通が使えなくなることが引き起こす問題について考える。</li> <li>・移動するのに困る。・どこにも行けなくなってしまう。</li> <li>・車を利用できない人が困る。・CO2が増える</li> </ul> <p>○過度な車利用を控え、公共交通を利用することのよさを「環境」「将来の自分たちの生活」という視点から捉え直す。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">車の利用を少し我慢して公共交通を使うことで、環境に優しく、自分たちの将来の生活にも役に立つんだね。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本時の目指す子どもの姿 車の利用を少し我慢し、公共交通を利用することが、「環境」も「自分たちの将来の生活」も守ることにつながることをわかる。</p>

図 2-7 栗原教諭の指導案②

### 2-4-3 意見交換会

研究授業後に行われた意見交換会の主な意見と意見交換会の様子を以下に整理する。

#### 【実施概要】

- 実施日：平成 24 年 7 月 18 日(水)研究授業終了後
- 実施校：札幌市立山の手南小学校
- 参加者：河嶋教諭・斉藤教諭・栗原教諭・川瀬委員・内山委員・市内小学校教諭・交通エコロジー・モビリティ財団 岡本氏
- 進行：北海道開発技術センター 原文宏

#### ～授業者から研究授業について～

★授業では、クルマを控えることは「地球環境を守ること」だけではなく、「自分達の生活を守ること」に繋がることをポイントとした。

★クルマ利用を控えることの「本音」を出させる工夫として、紅白帽を用いた討論とした。

#### ～意見～

- 授業技術がよく、クルマ利用の具体例が出て、子どもたちが実感できたのではないかと思う。
- 路線バスの利用者が減っていることをどうしたら良いかを聞けるとよかったと思う。例えば、路線・便数を増やすといったまちづくりの視点やマイカーの規制など。
- MM教育の受け入れ側としては、5年生の総合学習が向いていると思う。
- もっと事実認識を明確にして、子どもが考えるように出来ると良い。
- エゴからエコへ といった構造転換をテーマとした方が良い。
- 児童個々の中で葛藤状態が出来ていたのがクルマ利用を控える動機付けになるので良かったと思う。
- CO<sub>2</sub> が増えてもそこに起きる問題に臨場感が無く、身近なバス路線が無くなるという方がより臨場感がある。交通環境学習としては、身近なものを題材にそこから、環境へ広げるほうが有効的かと感じた。

#### ～今後の課題～

- 子どもたちに公共交通の良さを実感させるには？



写真 2-6 意見交換会の様子

## 2-5 札幌市立屯田小学校 6 年生における交通環境学習の実践

### 2-5-1 交通環境学習実践概要 授業者：齊藤健一教諭

- 実施日：平成 24 年 11 月 27 日(水)6 時間目
- 実施校：札幌市立屯田小学校
- 対象学年：6 年生(1 クラス)
- 授業者：齊藤 健一 教諭
- 教科：社会科
- 単元：暮らしの中の政治

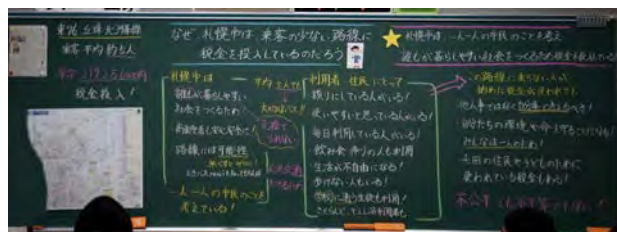


写真 2-7 屯田小学校の交通環境学習の実践の様子

2-5-2 指導案

斉藤健一教諭が作成した指導案を以下に示す。

公共 交通研	社会	6年1組 (男19 女17 計36名)	斉藤 健一	暮らしの中の政治 ～身近な暮らしと政治～
-----------	----	------------------------	-------	-------------------------

平成24年11月27日(火) 6校時  
＜児童の実態と身に付けさせたい力＞

＜学習指導要領における本時の位置付け＞

【小学校学習指導要領解説社会科編P88より】

内容(2)のア

国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を調べるとは、市(国、町、村)や県(都、道、府)、国による社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの事例のいずれかを取り上げ、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを具体的に調べることである。(中略)

これらの学習を通して、**政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考えることができるように**する。

バス路線の維持は、社会保障、災害復旧の取組、地域の開発のいずれにも当たらないが、**上記のねらいを十分に達成できる事例と考え、取り上げるこ**

一般的に、暮らしと政治のかかわりは、具体的な形となって表れにくく、抽象的でわかりにくいことが多い。

子どもに「政治とは？」とたずねると「選挙」や「税金」というキーワードが返ってくる。しかし、選挙で選ばれた議員の活動や、税金の使われ方については、ほとんど知らないのが実態である。

そこで本単元では、子育て支援や、バス路線の維持といった日常生活にかかわる事例を取り上げることで、政治が「国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしている」ことを、考えることができるようにする。

抽象的なもの(政治)を具体化する(身近な事例を取り上げる)ことで、政治を身近に感じさせる。そして、国民一人一人が社会参画することで、よりよい社会が築かれることに気付かせ、子どもの中に社会に積極的にかかわる意識を育てていきたい。

「バス路線の維持」を事例として取り上げ、租税の役割に気付かせていく！

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">問いを生む</p> <p>子どもに新聞記事を提示し、札幌市が赤字バス路線に億単位の税金を投入している事実を焦点を当てる。</p> <p>補助見込みの126路線のうち、「中央バス東76路線丘珠北34条線」を事例として取り上げる。この路線は、さとらんどやモエレ沼公園にも行くことができるが、東76という路線すべてを合算すると平均乗車密度は5.01人で、赤字額は2193万6千円となっている。</p> <p>赤字額が大きい路線のため、廃止という選択肢があってもおかしくはないが、札幌市は補助金を当てて、この路線を維持している。その意味を考えると、利用者や地域住民にとってのメリットが見えてくる。</p> <p>札幌市が行っていることは、<b>国民生活の安定を図る政治の役割</b>にほかならない。そのような視点で見ると、他の125路線を維持する意図も見えてくるはずである。</p>	<p>2012年10月4日 北海道新聞 夕刊11面掲載 赤字バス 補助見込み126路線</p> <p>【東76路線】 丘珠北34条線</p>  <p>平均乗車率5.01人 赤字額2193万6千円 さとらんどやモエレ沼公園にも行ける路線</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">問い直す</p> <p>一度の運行で約5人しか乗らない路線の赤字分を、税金で補っている事実をもう一度問い直す。</p> <p>「この路線に乗らない人が納めた税金が2000万円も使われるのは不公平ではないだろうか？」</p> <p>一見、不公平に感じる問いをもたせることで、税金の役割に気付かせていく。</p> <p>税金は、バス路線の維持にかかわらず、公共施設や学校、道路などさまざまなところに使われている。一人の国民が納めた税金が必ずしもその人の利益になるところに使われているわけではない。</p> <p>しかし、誰もがどこかで恩恵を受けているから不公平ではないこと、誰もが暮らしやすい社会の実現のために国民の代表がその使い道を決めていることに改めて気付かせていきたい。単元の終わりでもあるので、今回の身近な事例をもとに、既習事項を網羅する理解へと深めていく。</p>
---	---	---

国民生活の安定  
を図る政治の役  
割が見える！！

図 2-8 斉藤教諭の指導案①



<単元の目標・活動の構成>

- 日常生活における政治の働きと役割に関心をもち、意欲的に調べている。(関心・意欲・態度)
- 政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現している。(思考・判断・表現)

	1	2	3
目標	○新BOPの制度を例に、子育て支援事業と住民の願いとのつながりを調べ、人々の暮らしと政治のかかわりについて考えることができる。	○新BOPなどの子育て支援事業の計画が実現するまでの過程を調べ、住民の願いが反映される社会の仕組みを知り、政治の果たす役割に気付く。	○誰もが暮らしやすい社会をつくるためには、住民と地方公共団体が協力して、高齢者支援や環境保全に取り組む必要があることに気付く。
学習展開	<p><b>身近な制度を知る・学ぶ</b></p> <p>なぜ、世田谷区では新BOPの制度を始めたのだろう。</p> <p>区立小学校すべてで実施！ 区内小学生80%以上登録</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>保護者にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安心できる</li> <li>○学校だと安全</li> <li>○無料で助かる</li> <li>○他の学年の子どもと遊ばせることが可能</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域の方にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○元気な子どもたちとふれ合うことが可能</li> <li>○子どもと知り合うことで安全を守る</li> </ul> </div> </div> <p>新BOPは、子どもを安全に安心して育てるための制度なんだ！</p> <p>区にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○未来を担う子どもを安心して育てたい</li> <li>○人との出会いや交流する機会をつくる</li> </ul> <p>子どもの遊び・交流・生活が一層豊かに広がることを願って始めたんだね。</p>	<p><b>住民の願いが実現する仕組みや、住民が安心して暮らせる社会のあり方を学ぶ</b></p> <p>新BOPはどのようにして実現したのだろう。</p> <div style="text-align: center;"> <p>区民の要望</p> <p>区役所 ・計画案をつくる ・予算案をつくる</p> <p>区議会 ・計画案を審議 ・予算案を審議</p> <p>計画の決定</p> </div> <p>安心して遊べる場所が多い 年齢が違う子どもと遊ばない</p> <p>高齢者支援の取組</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を建てる</li> <li>・公園や道路を整備</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に活動</li> <li>・区と協力した活動</li> </ul> </div> </div> <p>区役所や議会だけではなく、住民の積極的な参加が大切なんだ！</p> <p>区と住民が共に資源環境を守っている！</p> <p>子どもたちも里山の管理に参加している！</p> <p>住民の願いをきき、誰もが暮らしやすい社会をつくることは政治の大切な仕事なんだ！</p> <p>住民の願いから、計画案や予算案ができ、議会で審議されて実現したんだね。</p>	<p>だれもが暮らしやすい社会をつくるにはどうすればいいのかな。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を建てる</li> <li>・公園や道路を整備</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に活動</li> <li>・区と協力した活動</li> </ul> </div> </div> <p>区役所や議会だけではなく、住民の積極的な参加が大切なんだ！</p> <p>区と住民が共に資源環境を守っている！</p> <p>子どもたちも里山の管理に参加している！</p> <p>住民が積極的に考えたり参加したりして、区と協力することが必要だね。</p>
	子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇身近な子育て支援制度に関心をもち、</li> <li>◇新BOPに保護者や地域住民がどのような思いや願いをもっているのかを考える。</li> <li>◇新BOPがどのように実現していったのか、次時へ向けて問題意識をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇住民の願いが実現していく過程に関心をもち、</li> <li>◇区議会と区役所、住民との関係を考える。</li> <li>◇計画案や予算案が議決され、新たな制度がつけられていく仕組みがわかる。</li> <li>◇子育て支援以外の取組に興味をもち、次時への意欲を高める。</li> </ul>
板書計画等	<p><b>1時間目板書</b></p> <p>新BOPは子育て支援の一環！ 未来を担う子どもたちを社会で育ててい</p>	<p><b>3時間目板書</b></p> <p>誰もが暮らしやすい社会をつくるには、 住民の協力や積極的な参加が必要だ！</p>	

★新BOPのことは⇒<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/103/131/499/d00007374.html>

図 2-9 齊藤教諭の指導案②

- 国民の生活と地方公共団体や国の政治とのかかわりについて調査したり、基礎的資料を活用したりして調べている。(技能)
- 国民生活には、地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。(知識・理解)

4	5	6 (本時)						
<p>○ 地方議員や地方議会のはたらきを調べる活動を通して、人々の暮らしと議会とのかかわりに気付く。</p>	<p>○ 税金について調べる活動を通して、人々の暮らしと税金のかかわりについて考え、よりよい社会の実現には税金が必要であることに気付く。</p>	<p>○ 札幌市が赤字のバス路線に税金を投入している意味を考える活動を通して、「バス路線を守ることが市民の暮らしを守るにつながる」ことに気付く。市民一人一人の暮らしに税金が大切な役割を果たしていることがわかる。</p>						
<p><b>住民と政治のつながりを知る・学ぶ</b></p>	<p><b>税金のはたらきとわたしたちの暮らしとの関係を知る・学ぶ</b></p>							
<p>議員や議会はどのようなはたらきをしているのだろうか。</p>	<p>税金はどのように納められ、どのように使われているのだろうか。</p>	<p>なぜ札幌市は、利用者の少ない赤字路線に税金を投入するのだろうか。</p>						
<p>○ 計画案を審議 ○ 予算案を審議</p>  <p>・ごみ処理 ・飲み水 ・防災 ・交通 ・福祉 ・除雪 暮らしに直接かわることを決める</p> <p>「それは本当に必要なの？」 「それは本当に安全なの？」</p> <p>最終決定をする責任がある！</p> <p>議員を選ぶのは住民</p> <p>どんな人を選ばいいの？ ★住民第一で考えてくれる人 ★広い視野で物事を考える人 ★平等に物事を判断できる人 ★選ぶ住民にも責任があるね！</p>	<table border="1"> <tr> <td> <p><b>所得税</b> 個人が得た所得にかかる</p> </td> <td> <p><b>法人税</b> 個人が得た所得にかかる</p> </td> </tr> <tr> <td> <p><b>消費税</b> 消費するときにかかる(5%)</p> </td> <td> <p><b>住民税</b> 住んでいる地域に納める</p> </td> </tr> <tr> <td> <p><b>固定資産税</b> 土地や建物などにかかる</p> </td> <td> <p><b>酒税・たばこ税</b> 購入するときにかかる</p> </td> </tr> </table>  <p>★公共施設や道路の整備に！ ★子育て支援や教育に！ ★防災や社会福祉に！</p> <p>小学生にも一円でも97万円が貯まる！</p>	<p><b>所得税</b> 個人が得た所得にかかる</p>	<p><b>法人税</b> 個人が得た所得にかかる</p>	<p><b>消費税</b> 消費するときにかかる(5%)</p>	<p><b>住民税</b> 住んでいる地域に納める</p>	<p><b>固定資産税</b> 土地や建物などにかかる</p>	<p><b>酒税・たばこ税</b> 購入するときにかかる</p>	<p>札幌市にとって ○誰もが利用できる移動手段を提供する ○暮らしやすいまちづくりのため ○都市を活性化</p> <p>住民にとって ○廃止になると生活が不便に ○車以外の移動ができない ○地下鉄からタクシー利用に…</p> <p>税金が有効活用されている！</p> <p>この路線に税金を投入するのは不公平ではないだろうか。</p> <p>札幌市民一人一人がよりよい暮らしができるように税金の使い道が決められている！！</p> <p><b>誰もがどこかで恩恵を受けているので不公平ではない</b></p>
<p><b>所得税</b> 個人が得た所得にかかる</p>	<p><b>法人税</b> 個人が得た所得にかかる</p>							
<p><b>消費税</b> 消費するときにかかる(5%)</p>	<p><b>住民税</b> 住んでいる地域に納める</p>							
<p><b>固定資産税</b> 土地や建物などにかかる</p>	<p><b>酒税・たばこ税</b> 購入するときにかかる</p>							
<p>議会は、住民の生活に直接かわることを話し合い、正しい判断で議決している。</p>	<p>国民が納めた税金が、誰もが暮らしやすい社会をつくるために使われているんだね。</p>	<p>赤字路線に税金を投入することは、誰もが暮らしやすい社会の実現につながる。</p>						
<p>◇ 地方議員や地方議会のはたらきに関心をもち、進んで調べる。 ◇ 住民と議員や議会との関係を考える。 ◇ 選挙で選ばれた議員が責任をもって議決をしていることに気付く。</p> 	<p>◇ 税金の種類や税金の使い道に関心をもち、進んで調べる。 ◇ 税金の使い道と住民の生活との関係を考える。 ◇ 税金と既習を結び付け、よりよい社会の実現には税金が必要であることに気付く。</p> 	<p>◇ 赤字バス路線に税金を投入している事実に関心をもち、その理由を意欲的に考える。 ◇ 赤字バス路線を守ることが、よりよい社会の実現につながることに気付く。 ◇ 市民一人一人のよりよい暮らしのために税金の使い道が決められていることを再認識する。</p> 						
<p><b>4 時間目板書</b></p>  <p>選挙で選ばれた議員は責任をもって議決をしている！ 議員を選ぶ住民の一票にも価値があり、責任がある！</p>	<p><b>本時で活用する資料</b></p> <p>中央バス路線図 2012.10.04 北海道新聞 夕刊11面 「赤字バス 補助見込み 126路線」</p>   <p>暮らしを支える税 ～札幌市版～</p>							

図 2-10 斉藤教諭の指導案③

○本時の目標

札幌市が赤字のバス路線に税金を投入している意味を考える活動を通して、「バス路線を守ることが市民の暮らしを守ることにつながる」ことに気づき、市民一人一人の暮らしに租税が大切な役割を果たしていることがわかる。(思考・判断・表現)

学習展開		教師のかかわり
<p>(前時まで) 教科書の東京都世田谷区の事例をもとに、「住民の願いをきき、誰もが暮らしやすい社会をつくるのが政治の大切な仕事であること」、「誰もが暮らしやすい社会をつくるには住民の政治参加が必要であること」を学んでいる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事を提示する。</li> <li>・補助対象である【東76】のバス路線を事例として提示する。</li> <li>・赤字額や補助額、平均乗車数を提示する。</li> <li>・廃止してもいいのに、なぜ税金を投入するのだろうか、問いをもたせていく。</li> <li>・札幌市側の考えと利用者側の立場の考えを分けて板書する。</li> <li>・税金の役割に焦点を当てる。</li> <li>・公共施設を取り上げ、税金の使い道について考えさせていく。</li> <li>・バス路線も含めて、税金の役割についてわかったことをまとめさせていく。</li> </ul>
<p>税金をこんなに赤字路線に投入しているの!?</p> <p>そこのお金をかける意味があるのだろうか?</p> <p>2012年10月4日北海道新聞夕刊11面掲載 赤字バス補助見込み126路線</p> <p>【東76】 丘珠北34条線 2193万6千円赤字 平均乗車密度 約5人</p> <p>さくらんぼやモエレ沼公園に行く身近な路線にも税金が投入されていたんだ!!</p> <p>そんなに赤字があるの!!</p>	<p>なぜ札幌市は、利用者の少ない赤字路線に税金を投入するのだろうか。</p>	
<p>札幌市にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが利用できる移動手段を確保</li> <li>・公共交通を使ってもらい環境を守る</li> <li>・都市を活性化させる</li> <li>・暮らしやすいまちづくり</li> </ul> <p>市民の暮らしを守る</p>	<p>利用者や住民にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活が不便になる</li> <li>・バスが無くなったら困る</li> <li>・車がない人は移動できない</li> <li>・地下鉄駅からタクシーを利用するしかなくなる</li> </ul> <p>バスは生活の一部!</p>	
<p>この路線に乗りたくない人が納めた税金が200万円も使われるのは不公平ではないだろうか。</p> <p>関係のない地域の住民が納めた税金も使われている。</p> <p>札幌市民190万人全員が使う施設はない。</p> <p>小学生一人にも、一年間で約97万円の税金が使われている。</p> <p>一部のみに利益があるのは不公平なのではないか。</p> <p>札幌市民一人一人がよりよい暮らしができるように税金の使い道が決められている!!</p> <p>誰もがどこかで恩恵を受けているので不公平ではない</p>		
<p>赤字路線に税金を投入することは、誰もが暮らしやすい社会の実現につながる。</p>		

板書計画

図 2-11 斉藤教諭の指導案④

### 2-5-3 意見交換会

研究授業後に行われた意見交換会の主な意見と意見交換会の様子を以下に整理する。

#### 【意見交換会実施概要】

- 実施日:平成 24 年 11 月 27 日(水)研究授業終了後
- 実施校:札幌市立屯田小学校
- 参加者:新保校長・河嶋教諭・斉藤教諭・市内小学校教諭
- 進行:札幌市立手稲宮丘小学校 牧野 宜英 教諭

#### ～授業者から研究授業について～

★札幌市内の学校に広げていくために、わかりやすい内容を目指した。税金の役割を学ぶのに、始めに教科書から、次に国税局発行の副読本「くらしを支える税」の冊子を使用し、最後に赤字バス路線への補助金投入の新聞記事を題材として展開した。

#### ～意見～

- 資料をうまく使いながらうまくできたと思う。
- 本時前の学習がとても役立った授業だったと思う。
- 赤字路線への補助金投入について、子どもたちにとっては難しいかと思ったが、理解できた様子だった。
- 去年の「えきバスナビ」をテーマに実施し、継続して授業をしている成果ではないかと感じた。
- 赤字路線に補助金を使うメリット・デメリットを見極めるには、情報が足りなかったのではないか。
- 子どもたちから、授業の中で出てきた話ではなく、自分たちが授業を通して感じた思いなどを話していた子どもが多く、とても良い授業だった。
- 税金投入をボランティア精神的な意味として捉えている子どもが多かったので、私たち自身も税金で助けられていることがあるはずという考えを引き出すことが大事だと思う。
- 赤字路線に投入された税金の割合が、全体からみてどの程度なのかがわかれば、税金投入の重要性がわかると思う。
- 「赤字バス路線への補助金投入」の資料提示は身近に感じられる学校だと良いが、そうでない学校では他に題材となるものがあるか。

#### ～今後の課題～

- 授業内容を、もう少し噛み砕き、多くの先生が実践可能なレベルにする。



写真 2-8 意見交換会の様子

## 2-6 指導案のフォーマット化

今年度実践された交通環境学習の指導案について、今後は他の学校での授業展開を目指すため、統一されたフォーマットの指導案を作成する。指導案のフォーマットを統一化することで、授業の狙いや、学習指導要領の位置づけなどを明確にする。

以下に、指導案の統一フォーマットを示す。なお、本フォーマットについては、平成 24 年 11 月に札幌市立屯田小学校の斉藤健一教諭が実践した研究授業の指導案を基に作成した。

### 札幌らしい交通環境学習 指導案 [社会科 01]

札幌らしい交通環境学習とは、「MM」教育に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としています。初等教育における学習教材として通することが、これまでの研究事例等で明らかとなっています。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも暮らしの質や方向性を自律的に変化させることを促すコミュニケーションを中心とした交通新システム。

**■ 実施例**

■ 実施校 札幌市立屯田小学校 ■ 実施学級 6年1組 [男:19、女:17 合計36名]

■ 実施日 2012年11月27日(火) 6校時 ■ 指導者 斉藤 健一

■ 科目/単元名 社会「暮らしの中の政治～身近な暮らしと政治～」 [6時間版扱い 本時6/6]

---

**[指導計画]**

**1.教材にかかわって**

**①学習指導要領の位置づけ**  
〔小学校学習指導要領解説 社会編〕

●目標と内容(2)

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

●内容の取扱い(2)

イ 国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、国民の司法参加、租税の役割などについても扱うようにすること。

「租税の役割」については、国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。(中略)国民の義務については、納税の義務を取り上げ、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする必要がある。

**②モビリティ・マネジメント教育の視点から**

バスや鉄道などの公共交通機関は、車を運転できない子どもや高齢者にとって必要不可欠な移動手段である。特に札幌では冬場の積雪時に公共交通機関が大きな役割を果たしている。

重要な役割があるはずの公共交通機関であるが、近年のモータリゼーションの影響で利用客は減少の一途をたどっている。その中でもバス利用者数の減少率は他の公共交通機関と比較しても大きい。現在、税金で赤字を補填しているからバス路線が維持できている。

このままの状況では将来的に現在と同じバス路線を維持できないのは明らかである。これは、子どもや高齢者だけの問題ではない。将来、自分が高齢者になった時、公共交通機関が無くなっている可能性がある。困るのは札幌市民一人ひとりなのである。

そこで、赤字のバス路線に税金を補填している事例を取り上げ、その意味を明らかにする。すると、子どもは公共交通機関の価値を改めて見出すことができる。バスという公共交通機関を取り扱うことで、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解することができるのである。

**③教科書の活用**

本実践は税金について学ぶ1時間である。教科書を活用し、「どのような税金があるのか」「何に使われているのか」をおさえる必要がある。そして、今まで身近で当たり前だと思っていたことに税金がかかっていることを学び、税金の大切さを実感するのである。

図 2-12 指導案フォーマット①

## 2.単元にかかわって

### ●単元の目標

- ・日常生活における政治の働きと役割に関心を持ち、意欲的に調べている。
- ・政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な動きをしていることを考え、適切に表現している。
- ・国民生活と地方公共団体や国の政治とのかかわりについて調査したり、基礎的資料を活用して調べている。
- ・国民生活には、地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。

### ●単元の構成

身近な制度を知る・学ぶ【1時間】	子どもの主な活動	子どもの主な活動			
	<p><b>なぜ世田谷区では新BOPの制度を始めたのだろう</b></p> <p>区立小学校全てで実施 区内小学生 80%以上が登録</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0;"> <b>一保護者一</b>                      ・安心できる                      ・学校だと安全                      ・無料で助かる                      ・異学年交流                 </td> <td style="background-color: #ffe0e0;"> <b>一地域一</b>                      ・元気な子どもたちと触れ合うことができる                      ・子どもを守る                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"><b>一世田谷区一</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがのびのびと遊ぶ場</li> <li>・出会い、交流する機関をつくる</li> </ul> <p><b>【子どもの遊び・交流・生活が一層豊かに広がることを願っている】</b></p>	<b>一保護者一</b> ・安心できる ・学校だと安全 ・無料で助かる ・異学年交流	<b>一地域一</b> ・元気な子どもたちと触れ合うことができる ・子どもを守る	<p><b>議員や議会はどのようなはたらきをしているのだろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●計画案を審議</li> <li>●予算案を審議</li> <li>・ゴミ処理・防災・交通・福祉・除雪</li> </ul> <p>「それは本当に必要な?」 「それは本当に安全なの?」</p> <p style="text-align: center;"><b>最終決定をする責任がある!</b></p> <p><b>【議会は、住民の生活にかかわることを話し合い、判断して議決している。】</b></p>	
<b>一保護者一</b> ・安心できる ・学校だと安全 ・無料で助かる ・異学年交流	<b>一地域一</b> ・元気な子どもたちと触れ合うことができる ・子どもを守る				
住民の願いが実現する仕組みや、安心して暮らせぬ社会のあり方を学ぶ【2時間】	新BOPはどのようにして実現したのだろう	税金はどのように納められ、どのように使われているのだろう			
	<p style="text-align: center;">住民の要望</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0;"> <b>区役所</b>                      ・計画案をつくる                      ・予算案をつくる                 </td> <td style="background-color: #ffe0e0;"> <b>区議会</b>                      ・計画案を審議                      ・予算案を審議                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">計画の決定</p> <p><b>【住民の願いから、計画案や予算案ができ、議会で審議され実現する】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>住民の積極的な参加が大切</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国分寺崖線</li> <li>・区と区民が環境を守る取組を一緒に進めている。</li> <li>・子どもたちも里山の管理をしている。</li> </ul>	<b>区役所</b> ・計画案をつくる ・予算案をつくる	<b>区議会</b> ・計画案を審議 ・予算案を審議	<p style="text-align: center;">所得税・法人税・消費税・住民税・固定資産税</p> <p style="text-align: center;">納める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設・安全で健康な暮らし</li> <li>・平等に教育を受けられるように</li> </ul> <p><b>なぜ札幌市は、利用者の少ない赤字路線に税金を投入するのか</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0;"> <b>札幌市</b>                      ・移動手段の確保                      ・暮らしやすいまちづくり                 </td> <td style="background-color: #ffe0e0;"> <b>市民</b>                      ・生活が不便                      ・車以外の移動手段が無い                 </td> </tr> </table> <p><b>2000万円も使われるのは不公平?</b></p> <p style="text-align: center;"><b>誰しものがどこかで税金の恩恵を受けている</b></p> <p><b>【税金を使い、誰もが暮らしやすい社会を実現しようとしている】</b></p>	<b>札幌市</b> ・移動手段の確保 ・暮らしやすいまちづくり
<b>区役所</b> ・計画案をつくる ・予算案をつくる	<b>区議会</b> ・計画案を審議 ・予算案を審議				
<b>札幌市</b> ・移動手段の確保 ・暮らしやすいまちづくり	<b>市民</b> ・生活が不便 ・車以外の移動手段が無い				

図 2-13 指導案フォーマット②

### 3. 本時の目標と学習展開

#### ●目標

・札幌市が赤字のバス路線に税金を投入している意味を考える活動を通して、「バス路線を守ることが市民の暮らしを守ることにつながる」ことに気づき、市民一人一人の暮らしに租税が大切な役割を果たしていることがわかる。(思考・判断・表現)

#### ●展開

学習展開	教師のかかわり
<p>(前時まで) 教科書の東京都世田谷区の事例をもとに、「住民の願いをきき、誰もが暮らしやすい社会をつくるのが政治の大切な仕事であること」、「誰もが暮らしやすい社会をつくるには住民の政治参加が必要であること」を学んでいる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>税金をこんなに赤字路線に投入しているの!?</p> <p>【北海道新聞】 夕刊11面 赤字バス補助見込 126路線 2012.10.4 発行</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p><b>東76路線に赤字分を全額補助!</b></p>  <p>【東76】 丘珠北34条線 2193万6千円 赤字</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>さとらんどやモエシ沼公園に行く身近な路線にも税金が投入されていたんだ!!</p> <p>そんなに赤字があるの!!</p> </div> </div> <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; padding: 5px;"><b>なぜ札幌市は、利用者の少ない赤字路線に税金を投入するのだろう。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>札幌市にとって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが利用できる移動手段を確保</li> <li>・公共交通を使ってもらい環境を守る</li> <li>・都市を活性化させる</li> <li>・暮らしやすいまちづくり</li> </ul> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p><b>バス路線を守るために税金が有効利用されているんだ!!</b></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>利用者や住民にとって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活が不便になる</li> <li>・バスが無くなったら困る</li> <li>・車がない人は移動できない</li> <li>・地下鉄駅からタクシーを利用するしかなくなる</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;"><b>市民の暮らしを守る      バスは生活の一部!</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>関係のない地域の住民が納めた税金も使われている。</p> <p><b>コンサートホールキタラ</b></p>  </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>この路線に乗らない人が納めた税金が2000万円も使われるのは不公平ではないだろうか。</p> <p>札幌市民190万人全員が使う施設はない。</p> <p>小学生一人にも、一年間で約97万円の税金が使われている。</p> <p>札幌市民一人一人がよりよい暮らしができるように税金の使い道が決められている!!</p> <p><b>誰もがどこかで恩恵を受けているので不公平ではない</b></p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>一部の人に利益があるのは不公平なのではないか。</p> <p><b>屯田北児童会館</b></p>  </div> </div> <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; padding: 5px;"><b>赤字路線に税金を投入することは、誰もが暮らしやすい社会の実現につながる。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事を提示する。</li> <li>・補助対象である【東76】のバス路線を事例として提示する。</li> <li>・赤字額や補助額、平均乗車数を提示する。</li> <li>・廃止してもいいのに、なぜ税金を投入してまで路線維持を図るのか、問いをもちたせていく。</li> <li>・札幌市側の考えと利用者側の立場の考えとを分けて板書する。</li> <li>・税金の役割に焦点を当てる。</li> <li>・公共施設を取り上げ、税金の使い道について考えさせていく。</li> <li>・バス路線も含めて、税金の役割についてわかったことをまとめていく。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50px;"><b>板書計画</b></p> 	

図 2-14 指導案フォーマット③



#### 4.本時で活用する資料と本時の様子

##### ●本時で活用する資料



中央バス路線図～札幌北地区版～

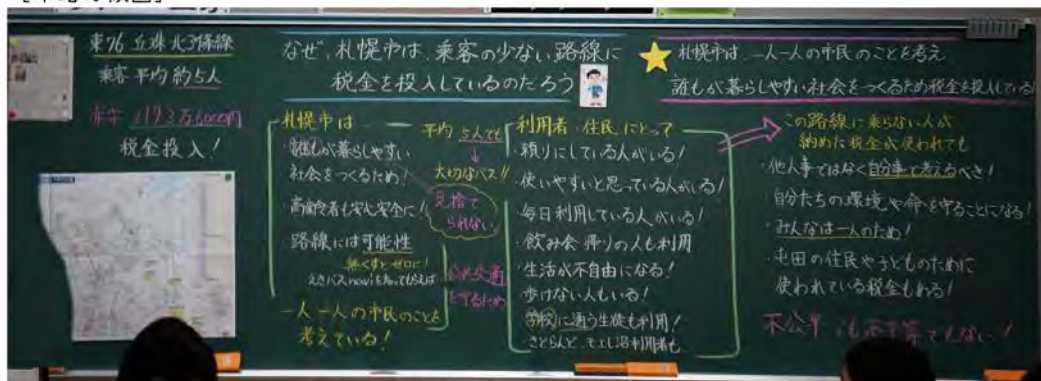


くらしを支える税～札幌市版～

##### ●本時の様子



##### [本時の板書]



札幌らしい交通環境学習 2013

図 2-15 指導案フォーマット④

### 第3章 交通環境学習プラットフォームの運用

#### 3-1 交通環境学習プラットフォームの運用

行政間・学校・関係団体間の情報共有及び連携を促進することを目的として、昨年度より検討委員会及びワーキンググループで検討した「札幌らしい交通環境学習プラットフォーム」を、10月31日より運用を開始した。

本ホームページでは、研究授業の実施内容や指導案、関係団体との連携情報などを掲載した。

なお、本事業終了後の運用方法・主体については、本年度の運用状況判断し、次年度以降検討を行うものとする。

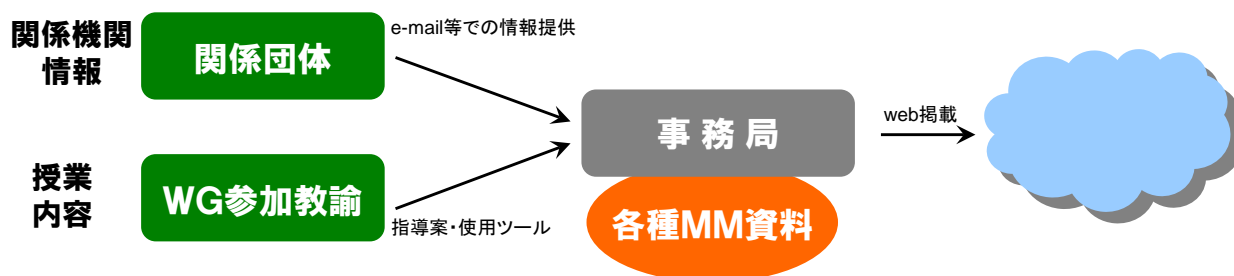


図 3-1 交通環境学習プラットフォームの運用の流れ

### 3-2 WEB ページの掲載内容

WEB ページでは、本年度実施した研究授業の指導案と授業の様子を掲載するほか、関係機関のMM教育の実施内容や取組み、公共交通の普及促進を目的とした広報物、MM情報などを掲載した。

以下にWEBサイトを掲載する。



図 3-2 交通環境学習プラットフォームのトップページ

Mobility Management !

札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

ご利用ガイド | サイトマップ | お問い合わせ

管理者用ID:  Pass:

関係団体から | 学校から | 資料室 | 授業資料室

メニュー

- ▶ ホーム
- ▶ 関係団体からのお知らせ
- ▶ 学校からのお知らせ
  - ▶ 学校行事
  - ▶ 高学年公開授業
  - ▶ 低学年公開授業
- ▶ 資料室
- ▶ 授業資料室
- ▶ コンテンツ一覧

| アーカイブ | RSS |

高学年公開授業 : 公開授業のお知らせ

投稿者 : *shimori* 投稿日時 : 2012-10-31 17:49:06 (45 ヒット)

公開授業について

教室日時:2012年11月27日(火)

会場:札幌市立屯田小学校(札幌市北区屯田7条6丁目)

学年:6年

教科:社会科

授業者:斉藤健一教諭

モビリティ・マネジメント教育についての公開授業を行います。「身近な暮らしと政治」の単元で札幌市がバスの運行に対して補助していることを通じて税金のはたらきについて学びます。

ご参加お待ちしております。

コメント

Page Top ↑

図 3-3 学校からのお知らせ

Mobility Management ! 
[ご利用ガイド](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)  
 管理者用ID:  Pass:  [Login](#)

## 札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

[関係団体から](#) | [学校から](#) | [養育主](#) | [授業資料室](#)

メニュー

- ▶ ホーム
- ▶ 関係団体からのお知らせ
- ▶ 学校からのお知らせ
- ▶ 資料室
- ▶ 指導案
- ▶ 関係団体の取り組み
- ▶ モビリティ・マネジメント情報
- ▶ ファイラー一覧
- ▶ 授業資料室
- ▶ コンテンツ一覧

トップ > 指導案 > 5年生

このカテゴリには 3 件のファイルがあります  
 |

[RDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順: タイトル (▲▼) | 掲載日 (▲▼) | 評価 (▲▼) | ダウンロード数 (▲▼)  
 現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ 5年生

5年生総合的な学習の時間 指導案

掲載日: 2012-10-14

**説明**

札幌市立手稲宮丘小学校牧野教諭作成の総合的な学習の時間の指導案です。

- 教科:総合的な学習の時間
- 単元:[環境について考えよう]
- 実施校:札幌市立手稲宮丘小学校
- 研究授業実施日:平成24年7月4日
- 実施学年:5年生



[ファイル名] 牧野先生指導案.pdf [ MD5 checksum ] 4e29f60f77eda026db25d49204480090  
 11 | 184.61 KB | [学校教育MMプラットフォーム](#)

指導案のダウンロード

図 3-4 牧野教諭の研究授業

5年生総合的な学習の時間 指導案

掲載日: 2012.10.14

pdf

説明

山の手南小学校栗原教諭作成の総合的な時間の指導案です。

- 教科:総合的な学習の時間
- 単元:「環境 HOTCOM」
- 実施校:山の手南小学校
- 研究授業実施日:平成24年7月18日
- 実施学年:5年生



[ファイル名] 単元構成\_栗原先生.pdf [MD5 checksum] a67859476c9b6d55c2dd56447af7351c

15 237.06 KB 学校教育MMプラットフォーム

指導案のダウンロード

図 3-5 栗原教諭の研究授業

Mobility Management ! 
[ご利用ガイド](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)  
 管理者用ID: [ ] Pass: [ ] [Login](#)

## 札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

[関係団体から](#) [学校から](#) [資料室](#) [授業資料室](#)

メニュー

- ▶ ホーム
- ▶ 関係団体からのお知らせ
- ▶ 学校からのお知らせ
- ▶ 資料室
  - ▶ 指導案
  - ▶ 関係団体の取り組み
  - ▶ モビリティ・マネジメント情報
  - ▶ ファイル一覧
  - ▶ 授業資料室
  - ▶ コンテンツ一覧

トップ > 指導案 > 3年生

-- 3年生 (1) このカテゴリには 1 件のファイルがあります  
 | 表示数 10 | 下層カテゴリを表示しない

[PDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順: タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)  
 現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ: 3年生

3年生総合的な学習の時間 指導案

pdf

▶

掲載日: 2012-10-14

**説明**

札幌市立本通小学校河嶋教諭作成の3年生社会科の指導案です。

- 教科: 社会科
- 単元: 「もっと知りたい みんなのまち」
- 実施校: 札幌市立本通小学校
- 研究授業実施日: 平成24年9月5日
- 実施学年: 3年生



[ファイル名] 120806 MM指導案 Ver2 河嶋先生.pdf [MD5 checksum] 1de0f64530f6313176bdedc28f6c4825

6 127.13 KB 学校教育MMプラットフォーム

指導案のダウンロード

図 3-6 河嶋教諭の研究授業

Mobility Management | [ご利用ガイド](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)

**札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム** 管理者用ID: [ ] Pass: [ ] [Login](#)

関係団体から | **学校から** | 資料室 | 授業実習室

メニュー

- ホーム
- 関係団体からのお知らせ
- 学校からのお知らせ
- 資料室
  - 指導案
  - 関係団体の取り組み
  - モビリティ・マネジメント情報
  - ファイル一覧
- 授業資料室
- コンテンツ一覧

トップ > 指導案 > 6年生

--6年生 (1) このカテゴリには 1 件のファイルがあります  
 | 表示数: 10 | 下層カテゴリを表示しない

[RDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順: タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)  
 現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ: 6年生

6年生社会科「暮らしの中の政治」指導案

[pdf](#) [pdf](#) 掲載日: 2012-12-26

説明

札幌市立屯田小学校斉藤教諭作成の社会科の指導案です。

- 教科: 社会科
- 単元: 暮らしの中の政治～身近な暮らしと政治～
- 実施校: 札幌市立屯田小学校
- 研究授業実施日: 平成24年11月27日
- 実施学年: 6年生



[ファイル名] 単元構成 (2).pdf [ MD5 checksum ] 884be615791b699b6610d425c234b8f  
 [ファイル名] 本時案 (2).pdf [ MD5 checksum ] f758b5412b56d43fe97326dd6e072172

15 580.69 KB 学校教育MMプラットフォーム

指導案のダウンロード

図 3-7 斉藤教諭の研究授業



Mobility Management | [ご利用ガイド](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)

**札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム** 管理者用ID:  Pass:  [Login](#)

[関係団体から](#) [学校から](#) [資料室](#) [授業資料室](#)

メニュー

- ホーム
- 関係団体からのお知らせ
- 学校からのお知らせ
- 資料室
  - 指導案
  - 関係団体の取り組み
  - モビリティ・マネジメント情報
  - ファイル一覧
  - 授業資料室
  - コンテンツ一覧

トップ > 関係団体の取り組み > 札幌市販交通すごろく(北海道開発局札幌開発建設部)

「札幌市販交通すごろく(北海道開発局札幌開発建設部)」(2) このカテゴリには 2 件のファイルがあります  
| 表示数 | 10 | | 下層カテゴリを表示しない |

[PDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順 タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)  
現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ 札幌市販交通すごろく(北海道開発局札幌開発建設部)

「札幌市販交通すごろく」を作成しました。

 pdf 掲載日: 2012-10-10

説明

札幌開発建設部では、札幌市内の公共交通を素材にした「交通すごろく」を作成しました。  
このすごろくは、次のことを目的に作成しました。

- 都市圏に存在する交通機関の種類・特徴の理解を深める。
- 運転をしない児童にクルマの便利さを疑似体験してもらう。
- クルマを「かしく使う」ことについて考えてもらう。  
→ 時と場合によって、乗り物を「使い分ける」ことの意味を考える。



[ファイル名] susorokupdf [MD5 checksum] 0d537fba440d7be568b5dd6314b0a74d

18 3.08 MB 学校教育MMプラットフォーム

カテゴリ 札幌市販交通すごろく(北海道開発局札幌開発建設部)

交通すごろくのダウンロード

図 3-8 関係機関の取組み（北海道開発局札幌開発建設部）

カテゴリ 札幌市版交通すごろく(北海道開発局札幌開発建設部)

交通すごろくを用いた学習プログラムを実施しました。

pdf

掲載日: 2012-10

学習プログラムのダウンロード

説明

2012年1月に札幌市立新陽小学校において、交通すごろくを用いた学習プログラムを実施しました。プログラムでは、札幌市市内の交通機関について学んだあと、「交通すごろく」を用いて、「クルマを「使いすぎしてしまう」ことについて考えてもらいました。



[ファイル名] H23\_sugorokuprcerampdf [ MD5 checksum ] d509a7c48046f5e081e7a2d14d787ced

17 212.62 KB 学校教育MMプラットフォーム

図 3-9 関係機関の取組み (北海道開発局札幌開発建設部)

札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

管理者用ID: [ ] Pass: [ ] [Login](#)

関係団体から | 学校から | 資料室 | 授業資料室

メニュー

- ホーム
- 関係団体からのお知らせ
- 学校からのお知らせ
- 資料室
  - 指導案
  - 関係団体の取り組み
  - モビリティ・マネジメント情報
  - ファイル一覧
  - 授業資料室
  - コンテンツ一覧

トップ > 関係団体の取り組み > エコチル(株)アドバコム

— エコチル(株)アドバコム (2) — このカテゴリには 2 件のファイルがあります  
 | 表示数 10 | | 下層カテゴリを表示しない |

[RDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順 タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)  
 現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ エコチル(株)アドバコム

エコチル2012年4月号

 pdf 掲載日: 2012-10-18

説明  
 エコチル4月号に「春のプチエコ旅に出かけてみよう」が掲載されました。



[ファイル名] 1204エコチル広告なし.pdf [ MD5 checksum ] 3fd20f48be262506f51a0a36e3dc2aed

5 842.90 KB 学校教育MMプラットフォーム

紙面のダウンロード

図 3-10 関係機関の取り組み (株アドバコム)

- 学校からのお知らせ
- 資料室
- 指運系
- 関係団体の取り組み
- モビリティマネジメント情報
- ファイル一覧
- 授業資料室
- コンテンツ一覧

[\[PDF\]](#) [\[RSS\]](#) [\[ATOM\]](#) [\[一覧\]](#)

ソート順: タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)

現在のソート順: タイトル(A-Z)

---

カテゴリ 札幌市事業振興公社

サタデー・テリング

掲載日: 2012-10-13

**説明**

毎週土曜日に、「共通1DAYカード(1日乗車券)」や「ドニチカキップ(地下鉄専用の土・日限定1日乗車券)」を使って公共交通機関を利用し、札幌市内の施設(歴史的建造物・公共施設・名所)を巡るスタンプラリーです。  
 小学校4～6年生を主なターゲットとして、公共交通機関を利用して行くことができる札幌市内の施設を紹介し、子どもたちが自主的に「ふるさと札幌」を学習してもらうことを目的としています。また、子どもたちに公共交通機関の便利さや快適さを学んでもらい、併せてマナーを身につけてもらうことも目指しています。さらに、共通1DAYカードやドニチカキップの利用による乗客誘致も図っています。



<外部リンク> (一財)札幌市交通事業振興公社 HP

---

カテゴリ 札幌市事業振興公社

交通資料館

掲載日: 2012-10-13

**説明**

交通資料館では、札幌市営交通の歴史がわかる貴重な写真をはじめ、その当時活躍した車両や部品、制服、乗車券などを展示しています。



<外部リンク> (一財)札幌市交通事業振興公社 HP

図 3-11 関係機関の取り組み ((一財)札幌市交通事業振興公社)

関係団体から

学校から

資料室

授業資料室

メニュー

- ▶ ホーム
- ▶ 関係団体からのお知らせ
- ▶ 学校からのお知らせ
- ▶ 資料室
- ▶ 指導案
- ▶ 関係団体の取り組み
- ▶ モビリティマネジメント情報
- ▶ ファイラー一覧
- ▶ 授業資料室
- ▶ コンテンツ一覧

トップ > 関係団体の取り組み > 環境省(スマートムーブ)

-- 環境省(スマートムーブ) (1) このカテゴリには 1 件のファイルがあります  
| 表示数 10 | 下層カテゴリを表示しない

[RDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順 タイトル(△▽) 掲載日(△▽) 評価(△▽) ダウンロード数(△▽)  
現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ 環境省(スマートムーブ)

スマートムーブ

掲載日: 2012-10-31

説明

地球温暖化に歯止めをかけるために、CO2をなるべく排出しない賢い移動＝「スマートムーブ」の取り組み紹介です。



3 0バイト 環境省スマートムーブ

図 3-12 関係機関の取組み（環境省）



図 3-13 関係機関の取り組み ((公財) 北海道環境財団)

札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

管理者用ID: [ ] Pass: [ ] Login

関係団体から 学校から 実習生 卒業生

メニュー

- ホーム
- 関係団体からのお知らせ
- 学校からのお知らせ
- 資料室
  - 指導案
  - 関係団体の取り組み
  - モビリティ・マネジメント情報
  - ファイル一覧
- 授業資料室
- コンテンツ一覧

トップ > モビリティ・マネジメント情報 > パンフレット等

1 パンフレット等 (1) このカテゴリには 1 件のファイルがあります

表示数 10 | 下層カテゴリを表示しない

[PDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順 タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)

現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ パンフレット等

MMパンフレット

pdf 掲載日: 2012-10-12

説明

1人1人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向(過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等)に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策であるモビリティ・マネジメントが、近年、各地で取り組まれるようになってきました。このたび国土交通省では、モビリティ・マネジメントの基本的な考え方や各地での取組事例を紹介するパンフレットを作成しましたのでご紹介します。

Mobility Management

モビリティ・マネジメント

交通をとりまく様々な課題の解決に向けて



国土交通省

[ファイル名] mm.pdf [ MD5 checksum ] f03847a08c7a8d2897ed1d07d955364a

12 6.07 MB 学校教育MMプラットフォーム

パンフレットのダウン

図 3-14 資料の紹介 (国土交通省)

Mobility Management | [ご利用ガイド](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)

**札幌らしい交通環境学習プラットフォーム** 管理者用ID:  Pass:  [Login](#)

[メニュー](#) [お知らせ](#) [資料室](#) [お問い合わせ](#)

トップ > モビリティ マネジメント情報 > モビリティ マネジメント書籍情報

モビリティ マネジメント書籍情報 (2) このカテゴリには 2 件のファイルがあります  
表示数: 10 | 下層カテゴリを表示しない

[PDF] [RSS] [ATDM] [一覧]

ソート順: タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)  
現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ: モビリティ マネジメント書籍情報

モビリティ マネジメント入門 「人と社会」を中心に据えた新しい交通戦略

 掲載日: 2012-10-13

**説明**

交通問題を「社会の問題」としてとらえ直し一人ひとりの行動の転換を促す新しい交通まちづくり。パース、ロンドン、宇治、能ヶ崎…など先進事例を掲載するMMの入門書です。

【著者】藤井聡・谷口綾子  
【発行】学芸出版社  
【概要】A6判 215ページ



～内容～

はじめに

現代の交通計画における二つの特徴、モビリティ マネジメントとは？、本書の基本的用語の解説、等

第1部 海外のモビリティ マネジメント

大規模MM(パース)、会話による大規模MM(アデレード)、総合的なMMの展開(英国・ロンドン)、交通事業者によるMM(ボローニャ)、MMにおける遊びどころ(ウィーン他)

第2部 日本のモビリティ マネジメント

住民対象MM(福岡)、都市交通計画におけるMM(福井都市圏)、公共交通利用促進(能ヶ崎)、MMにおける都道府県の役割(京都)、事業所MM(宇治・筑波大学)、転入者MM(高崎・能ヶ崎)、小学校でのMM(寒野・ひたちなか他)

2 [Q&A](#) [学校教育MMプラットフォーム](#)

図 3-15 書籍紹介



Mobility Management!

ご利用ガイド | サイトマップ | お問い合わせ

札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

管理者用ID: [ ] Pass: [ ] Login

関係団体から | 学校から | 実況室 | 授業実況室

トップ > モビリティ・マネジメント情報 > ポータルサイト

メニュー

- ホーム
- 関係団体からのお知らせ
- 学校からのお知らせ
- 資料室
  - 指導案
  - 関係団体の取り組み
  - モビリティ・マネジメント情報
  - ファイル一覧
- 授業資料室
- コンテンツ一覧

--- ポータルサイト (1) | 表示数 10 | 下層カテゴリを表示しない

[PDF] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順 タイトル (▲▼) 掲載日 (▲▼) 評価 (▲▼) ダウンロード数 (▲▼)  
現在のソート順: タイトル(A→Z)

カテゴリ ポータルサイト

交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)ポータルサイト

掲載日: 2012-10-12

説明

モビリティ・マネジメント教育の考え方から事例、教材・カリキュラムまで、モビリティ・マネジメント教育のさまざまな情報を提供するサイトです。

交通エコロジー・モビリティ財団の活動 | リンク | サイトマップ

法人番号  
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境学習部  
〒050-0076 東京都千代田区五番町1番地 5階 050-4521-1130  
TEL: 03-3224-7936 FAX: 03-3224-6874  
info@emmc.or.jp

6 | Oバイト | 学校教育MMプラットフォーム

図 3-16 WEB ページの紹介 ((公財) 交通エコロジ - モビリティ財団)

## 第4章 検討委員会・ワーキンググループの運営

### 4-1 検討委員会の開催

#### 4-1-1 第1回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要

##### (1) 開催概要

- 会 場：一般社団法人北海道開発技術センター 9F 会議室（札幌市中央区南1条東2丁目）
- 日 時：平成24年6月29日（金）13：30～
- 出席者：高野伸栄氏（北海道大学大学院工学研究科准教授）  
谷口綾子氏（筑波大学大学院システム情報工学研究科講師）  
上田繁成氏（札幌市教育委員会学校教育部指導室指導担当係長）  
新保哲夫氏（札幌市立幌西小学校長）  
内山 到氏（公益財団法人北海道環境財団情報交流課長）  
川瀬良司氏（「地域と教育」を元気にするフォーラム）  
臼井純信氏（株式会社アドバコム代表取締役）  
小西正雄氏（札幌市交通局事業管理部長）  
[代理出席]  
福島広志氏（国土交通省北海道開発局札幌開発建設部都市圏道路計画課課長補佐）  
[オブザーバー]  
細貝拓也氏（環境省北海道地方環境事務所環境対策課係長）  
小島純氏（一般財団法人札幌市交通事業振興公社総務部長）

##### 議事次第

1. 事務局挨拶
2. 各委員及びオブザーバー紹介
3. 議事
  - (1) 今年度の研究授業の実践予定について
  - (2) 交通環境学習プラットフォームについて
    - ・スマートムーブキャンペーンについて（環境省北海道地方環境事務所）
    - ・サタデーテリングについて（(一財)札幌市交通事業振興公社）
  - (3) エコチルとの協働PJ企画について（株アドバコム）
  - (4) 第7回日本MM会議・第4回土木と学校教育フォーラム参加について
  - (5) その他
4. その他



写真 4-1 会議の様子

## (2) 議事概要

### (1) 今年度の研究授業の実践予定について

#### 【決定事項】

- ・ 5月のWGにおいて議論された内容、スケジュールに沿って研究授業を実施する。具体的には、まず7月に手稲宮丘小学校と山の手南小学校において総合的な学習の時間の中で同一内容の研究授業を行う。
- ・ 7月の研究授業では交通日記を使用して過度な自動車利用による環境等への影響について学習する。

#### 【検討事項（議論の内容）】

- ・ 研究授業の周知について工夫が必要では。土木学会等にも周知した方が良いかもしれない。
- ・ 授業実施後の評価については、授業後の意見交換会のほか、児童への事後アンケートを実施することで振り返りを行う予定。
- ・ 交通日記については、子ども達に移動の状況を記載させるだけではなく、その日の感想等書いてもらうようにする等の工夫があっても良いのではないかと。

### (2) 交通環境学習プラットフォームについて

#### 【決定事項】

- ・ 学校、教諭への授業に用いるツール等の提供、関係者・教諭間の情報共有、交通環境学習の認知度向上等を目的とした交通環境学習プラットフォームを10月の公開を目指して準備を進める。
- ・ CMS（コンテンツマネジメントシステム）により構築する。
- ・ 平成24、25年度は各種情報・指導案等を事務局にて掲載する。
- ・ 平成26年度以降の運用方法については別途検討する。

#### 【検討事項（議論の内容）】

- ・ 運営経費については、24・25年度は本事業の予算で負担。26年度以降はNPO等による運営も一つの選択肢である。
- ・ 継続的な取組となるような仕組みづくりが重要である。
- ・ 関係団体別に情報が分かれていると使いにくい面もある。例えばCO2に関するデータを容易に取り出せるようなリストを作成することも良いのではないかと。
- ・ 土木学会における論文等も資料として有用ではないかと。
- ・ 海外で実践されているMM教育に係る資料等も掲載されると良いのではないかと。

### (3) エコチルとの協働 PJ 企画について

#### 【決定事項】

- ・ アドバコムが実施するエコチル 8 月号紙面上で実施する小学生を対象とした公共交通作文コンクールについて、委員会として共催する。

#### 【検討事項（議論の内容）】

- ・ 夏休みはこうしたコンクールが数多くある。作文の分量も多いので、子どもにはハードルが高いかもしれない。
- ・ 札幌市は後援する方向。
- ・ エコモ財団からも協力が可能。
- ・ 賞品についてはアドバコムで詳細を検討する。

## 4-1-2 第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要

### (1) 開催概要

■会場：一般社団法人北海道開発技術センター 9F 会議室（札幌市中央区南1条東2丁目）

■日時：平成24年12月27日（木）14：00～

■出席者：高野伸栄氏（北海道大学大学院工学研究科准教授）  
上田繁成氏（札幌市教育委員会学校教育部指導室指導担当係長）  
新保哲夫氏（札幌市立幌西小学校長）  
牧野宜英氏（札幌市立手稲宮丘小学校教諭）  
日野健一氏（北海道バス協会常務理事）  
内山 到氏（公益財団法人北海道環境財団情報交流課長）  
川瀬良司氏（「地域と教育」を元気にするフォーラム）  
臼井純信氏（株式会社アドバコム代表取締役）  
小松重之氏（国土交通省北海道運輸局交通環境部環境課長）  
平井篤夫氏（国土交通省北海道開発局札幌開発建設部都市圏道路計画課長）  
[代理出席]  
瀬川直博氏（札幌市交通局事業管理部営業企画課営業企画係長）

#### 議事次第

1. 事務局挨拶
2. 開会
3. 議事
  - (1) 今年度の研究授業の実施報告
  - (2) 第2回ワーキンググループ開催報告
  - (3) 交通環境学習プラットフォームについて
  - (4) 「札幌らしい交通環境学習（仮）」フォーラム開催について
  - (5) エコチルとの協働PJ企画について
  - (6) その他
    - ・第7回 日本モビリティ・マネジメント会議参加報告
    - ・第4回 土木と学校教育フォーラム参加報告
    - ・出前講座実施報告
    - ・バスマップサミット開催のお知らせ
  - (7) 今後のスケジュール
4. その他



写真 4-2 会議の様子

(1) 今年度の研究授業の実施報告

【決定事項】

- ・ WG の各教諭が作成した指導案の様式を統一し、指導案集を作成する。
- ・ WG のメンバーを拡大し、より多くの教諭が研究授業を実践できる体制を構築する。

【検討事項（議論の内容）】

- ・ 公共交通は素材として魅力にあふれている。学習指導要領に沿って学習していくことも可能だという事が見えてきたので一定の成果が出てきたのではないか。
- ・ さらに 1、2、4 年生の研究授業が加われば良いのではないか。

(2) 第 2 回ワーキンググループ開催報告及び (4) 札幌らしい交通環境学習（仮）フォーラムの開催について

【決定事項】

- ・ WG メンバーについては、25 年度に増員する方向で検討する。
- ・ 交通環境学習の取組の周知を目的としたフォーラムを 25 年度に開催する。

【検討事項（議論の内容）】

- ・ 札幌らしい交通環境学習を広げていくためには、1 つは大きな会で、もう 1 つは WG の先生方を中心にして、さらにメンバーを組んで広めていくのが良い。
- ・ フォーラムについては、研修会ということになると教諭の勤務ということになるので参加しやすくなる。
- ・ フォーラムの規模としては 100 人規模くらいが適当ではないか。
- ・ フォーラムは市が主催のほうが学校側としても動きやすい。
- ・ フォーラムは授業主体の方が良い。
- ・ フォーラムは新年度にならないと具体的な場所、日程等は決めにくい。内容については次回の委員会までに事務局等で検討し、4 月になったらすぐに周知ができるよう準備をしてほしい。

(3) その他

- ・ 雪に係る授業は、札幌市の 4 年生の学習の中に完全に定着している。副読本がありしっかり教えている。これは非常に大きな成功例である。HP（北海道雪たんけん館）も開設している。

#### 4-1-3 第3回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要

##### (1) 開催概要

- 会 場：一般社団法人北海道開発技術センター 9F 会議室（札幌市中央区南1条東2丁目）
- 日 時：平成25年3月21日（木）15：30～
- 出席者：高野伸栄氏（北海道大学大学院工学研究科准教授）  
上田繁成氏（札幌市教育委員会学校教育部指導室指導担当係長）  
新保哲夫氏（札幌市立幌西小学校長）  
牧野宜英氏（札幌市立手稲宮丘小学校教諭）  
内山 到氏（公益財団法人北海道環境財団情報交流課長）  
川瀬良司氏（「地域と教育」を元気にするフォーラム）  
臼井純信氏（株式会社アドバコム代表取締役）  
小松重之氏（国土交通省北海道運輸局交通環境部環境課長）  
[代理出席]  
佐藤孝司氏（国土交通省北海道開発局札幌開発建設部都市圏道路計画課都心交通調査担当専門官）  
瀬川直博氏（札幌市交通局営業企画係長）

##### 議事次第

1. 事務局挨拶
2. 開会
3. 議事
  - (1) 平成24年度小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業報告書について
  - (2) 平成25年度の体制及びスケジュール
  - (3) 札幌らしい交通環境学習フォーラムについて
  - (4) 次年度のWGの体制について
  - (5) 指導案の様式の統一化について
  - (6) その他



写真 4-3 会議の様子

## (2) 議事概要

### (1) 平成 24 年度小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業報告書について

#### 【決定事項】

- ・ 議事概要等一部修正のうえ、完成とする。

#### 【検討事項（議論の内容）】

- ・ 初めて見る人のため、3 ヶ年計画だとわかるようにしておく。
- ・ 第 2 章の構成は、3 年生から始まり、概要・指導案・意見交換会の 1 セットにする。
- ・ 教諭には指導案の様式を統一したうえで普及させていきたい。
- ・ プラットフォームに掲載してはどうか。
- ・ 簡単なパンフレット（A3/2 つ折り）程度のもので作成し、プラットフォームの紹介をはじめ、フォーラムの開催について告知などできればよい。
- ・ フォーラムで配布できるようなパンフレットを次年度準備してはどうか。

### (2) 平成 25 年度の体制及びスケジュール

#### 【決定事項】

- ・ 検討委員会については、25 年度も現在の体制を継続する。

#### 【検討事項（議論の内容）】

- ・ 平成 27 年度改訂される指導書への反映を最終目標としているため、平成 26 年度の実践が重要になる。
- ・ 市電の新車両の運行、サピカ導入時期などに合わせて、社会科の先生向けの研修会的なものを開催できれば、フォーラムの告知にもなり、フォーラムも効果的となるのではないか。
- ・ 4 月 20 日に社会科連盟の総会があるので、それまでに概要がまとまれば告知がしやすい。

### (3) 札幌らしい交通環境学習フォーラム

#### 【決定事項】

- ・ 平成 25 年夏頃を目途に、小中学校教諭を対象としたフォーラムを山の手南小学校において開催する。
- ・ 主催は札幌市、共催は検討委員会とする。
- ・ プログラムの詳細はさらに別途検討する。



【検討事項（議論の内容）】

- ・ フォーラムの前段として、教諭を対象とした路面電車の新型低床車両の見学会的なものを開催できないか。
- ・ 山の手南小学校の年度のスケジュール決定後に開催日を調整する。
- ・ パネルディスカッション①と意見交換会は、一緒に行った方がよい。1時間程度開催。
- ・ 研究授業は、教室で実施し、その後多目的室に移動し、意見交換会とパネルディスカッション、そしてパネルディスカッション②へと通して行ったらよいと思う。
- ・ パネルディスカッション②では、パネリストには、交通環境学習がなぜ必要なのか、それぞれの立場で話していただく。一人5分程度。
- ・ 環境や運輸というキーワードで、どなたかが登壇いただけたら良いのではないか。

## 4-2 ワーキンググループの開催

### 4-2-1 第1回ワーキンググループの開催概要

#### (1) 開催概要

■会 場：一般社団法人北海道開発技術センター 9F 会議室（札幌市中央区南1条東2丁目）

■日 時：平成24年5月9日（火）18：00～20：00

■出席者：新保哲夫氏（札幌市立幌西小学校長）

上田繁成氏（札幌市教育委員会学校教育部指導室指導担当係長）

牧野宜英氏（札幌市立手稲宮丘小学校教諭）

河嶋一貴氏（札幌市立本通小学校教諭）

向坊紫織氏（札幌市立円山小学校教諭）

斉藤健一氏（札幌市立屯田小学校教諭）

栗原聡太郎氏（札幌市立山の手南小学校教諭）

#### 議事

- (1) 平成24年度の札幌らしい交通環境学習の研究授業の実践について
- (2) 公共交通機関を使った社会科見学プロジェクトについて
- (3) 研修会等における研究授業の実施について
- (4) 第7回日本モビリティ・マネジメント会議について



写真 4-4 会議の様子

## (2) 議事概要

### 1. 平成 24 年度の札幌らしい交通環境学習の研究授業の実践について

#### 【議題】

- ・ MM教育の研究授業を実践いただきたく、ご担当いただく先生や実施教科（単元含む）、スケジュールについて検討する。

#### 【決定事項】

- ・ 各WGの教諭が研究授業を実践する。

#### 【検討事項(議論の内容)】

- ・ 河嶋教諭は、7月13日に国語の研究授業があるため、この研究授業以後に実施する。
- ・ なお、2学期に授業を実践すること、さらに、学年との調整が必要。
  
- ・ 斉藤教諭は、政治単元もしくは歴史単元にて、授業を実践する。
- ・ 政治単元は3学期であり、卒業前ということ踏まえ、2学期での実施が適当。
- ・ 歴史単元での実施については、以前に新保校長の授業実践があるため、これを参考にする。
  
- ・ 向坊教諭は、1年生の生活科が研究授業にて、授業を実践する。
  
- ・ 栗原教諭、牧野教諭には、MM教育を他に広げるということに着目し、社会科のみではなく、広く実施可能な標準的な授業として、総合的な学習の時間での実践を二人で検討する。また、夏休みの課外授業として、公共交通利用を促し、それを2学期にフィードバックする仕組みを検討する。

表 議論内容の整理

先生	学年	教科	時期	単元	備考
河嶋先生	3年生	社会科	2学期	もっと知りたい みんなのまち	H23年度に向坊先生に作成いただいた指導案の内容をベースに実践
斉藤先生	6年生	社会科	2学期	政治 or 歴史	歴史については、新保校長が実践した経緯がある
向坊先生	1年生	生活科	3学期	ふゆをたのしもう	雪祭りに合わせて地下鉄を利用した授業を実践
栗原先生	5年生	総合	1学期	-	広く実施可能な標準的な授業を実践
牧野先生	5年生	総合	1学期	-	

## 2. 公共交通機関を使った社会科見学プロジェクトについて

### 【議題】

- ・ エコチルを発行しているアドバコム臼井社長（検討会委員）からの提案内容に関して、社会科見学の現状やニーズを伺う。

### 【検討事項(議論の内容)】

- ・ 社会科見学は貸切バスを用いるケースもあるが、公共交通を利用する場合も多い。  
⇒現状で公共交通を利用していただいている中で、この移動費を無料にすることが、交通事業者に受け入れてもらえるかが懸念される（事務局意見）。
- ・ 公共交通を利用する方がコストが圧倒的に安価である。
- ・ 社会科見学の行き先として、テレビ局へのニーズが高い。
- ・ この事業が成立するかどうかは、子供が社会科見学の機会に無料で公共交通に乗った後に、保護者と一緒に公共交通を利用するか否か。

## 3. 研修会等における研究授業の実施について

### 【議題】

- ・ 本事業を色々な教諭に認知いただくために、教諭が集まる場等において、本事業に関する情報提供や札幌市の公共交通について説明をする場を設けたい。

### 【検討事項】

- ・ 札幌市教育研究推進事業（札幌教研事業）や社会科教育連盟の基礎部会の参加の可能性を検討  
（最も近いものとしては、6月19日の小中全体の集まりがある）  
（社会科教育連盟の基礎部会はちえりあで実施予定）

## 4. 第7回日本モビリティ・マネジメント会議について

### 【議題】

- ・ 8月3日-5日に富山市で開催される日本モビリティ・マネジメント会議に教諭が参加することの検討

※今年度は、2名程度を予定

### 【決定事項】

- ・ 本事業の発表が口頭発表に選定される見込み
- ・ 河嶋教諭、向坊教諭がJCOMMに参加

### 【検討事項】

- ・ 斉藤先生がJCOMMに参加するか否かは事務局で再度、検討

## 4-2-2 第2回ワーキンググループの開催概要

### (1) 開催概要

■会 場：一般社団法人北海道開発技術センター 9F 会議室（札幌市中央区南1条東2丁目）

■日 時：平成24年10月17日（水）18：00～20：00

■出席者：新保哲夫氏（札幌市立幌西小学校長）

上田繁成氏（札幌市教育委員会学校教育部指導室指導担当係長）

牧野宜英氏（札幌市立手稲宮丘小学校教諭）

河嶋一貴氏（札幌市立本通小学校教諭）

斉藤健一氏（札幌市立屯田小学校教諭）

### 議事

- (1) 今年度の研究授業の実践経過・予定について
- (2) 交通環境学習プラットフォームについて
- (3) エコチルとの協働企画について
- (4) その他
  - 今後のスケジュールについて
  - 2012JCOMM 他地域のMM教育事例の紹介  
（富山市・仙台市・京都府・名古屋市・新宿区）
  - 2012JCOMM 参加の感想



写真 4-5 会議の様子

## (2) 議事概要

### 1. 今年度の研究授業の実践経過・予定について

#### 【議題】

- ・ 研究授業実践数がどの程度あればよいのか。
- ・ WG の先生以外にも研究授業を実践いただく必要性やその方法について。

#### 【決定事項】

- ・ 交通環境学習を多くの教諭に認知してもらうためにフォーラムを開催する。
- ・ 11/27（火）に札幌市立屯田小学校・斉藤先生が研究授業〈政治〉を実践する。

#### 【検討事項(議論の内容)】

- ・ 授業をどのくらいやらなければならないか基準は無い。
- ・ 交通が学習指導要領に無いので、各学年でどの授業で出来るかということで広げていくしかない。交通を題材にした授業の展開イメージが伝わるようにしないと授業の広がり難しい。
- ・ 公共交通は難しいので広げていったときに、積み重ねが出来るような授業内容にし、目標を立てさせないといけない。
- ・ 授業は、全学年で実施する方向で進めた方がよい。
- ・ どの先生も興味を持った時に、すぐにできる状況や、すべての学年に実施の可能性のあるのは重要。
- ・ 1、2年の場合は、生活科で実施可能。
- ・ 社会科を軸に生活科にも興味のある人や、理科も環境などに興味のある人にも周知ができれば良い。
- ・ 授業を見てもらったり、発信などしていかないと広がり難しい。
- ・ 地道に広げるしかない。大勢に（社会科以外の先生にも）見てもらうほうが良い。
- ・ 学校の研究会といっても集まらないので、フォーラム形式だと周知にはなる。しかし、講演を聞いただけで満足し、交通の勉強を何もしないで終わるという可能性がある。
- ・ 授業を行った後、著名な先生の講演をするような形が良い。
- ・ 授業に触れながらその後 30 分くらい話してもらう。
- ・ 授業のあとの講演だと、講演をする方は話し合いを見たほうが話しやすい。
- ・ 授業とセットが良い。授業→話し合い→講演という流れでやるのが良い。
- ・ フォーラムを開いて魅力的な高名な先生または、オリンピック選手などを呼んで話していただき、授業と組み合わせる。
- ・ 著名な人にこだわらなくてもいいのではないかな。
- ・ 内容と直結したほうが良いが、人集めをメインにするか内容をメインにするかいろいろある。

#### 【開催時期について】

- ・ 時期で言うと夏休みのほうが教諭は動きやすい。
- ・ 夏休みだと、児童がいないので研究会ではなく、フォーラム形式になる。
- ・ 普段の金曜日午後一番で授業を行ってはどうか。

- ・ 春に開催すると大変だが、研究会は無いので先生方はやりやすい。
- ・ 持ち上がりクラスなら良いが、新規のクラスでこのような授業は難しい。
- ・ 運動会が終わったあたりの5月、6月末が良いのではないか(6/28あたり)。

#### 【その他意見】

- ・ 本事業の紹介を当日資料として配布するために、今のうちから整理し配れるようにしておくのが良い。
- ・ 今かかわっている教諭を中心に3~5人くらい参加して行っていくようなかたちをとったらどうか。

## 2. 交通環境学習プラットフォームについて

### 【議題】

- ・ WEBプラットフォーム上にどのような情報・ツールがあると活用できるか。
- ・ 教諭へのID発行によるHP閲覧制限は現実的か
- ・ WEBプラットフォームの普及における有効的な方法は

### 【決定事項】

- ・ ID発行はしない。
- ・ 学習素材を掲載する。
- ・ 指導案を格納するページに、「授業資料室」というページを作成する。
- ・ HPはオープン後、バージョンアップしていく。
- ・ 問い合わせはフォームで行う。
- ・ 周知は、WGメンバーの先生方に口頭で周知をしてもらう。

### 【検討事項(議論の内容)】

- ・ 教諭へのID発行によるHP閲覧制限について  
 ※プラットフォームに、授業に使用できそうな交通関係の記事を掲載したい(道新に掲載可能かを確認中)。そのため、一般公開だと記事の著作権の問題があると考えられるので、閲覧制限を設けようと考えている。
- ・ 新聞記事掲載については、こだわらなくていい。合図書館などで閲覧可能。
- ・ ネットサーフィンしてみる分には良いが、IDをわざわざとるのはハードルが上がる。
- ・ 指導案の掲載については、作成者の名前が出ているものに関しては問題ない。
- ・ 掲載を各校長先生に確認してもらう必要がある。
- ・ 指導案WEBページの写真については個人が特定されなければ大丈夫。先生が学校と保護者の方に確認すれば良い。
- ・ 先生方に見てもらえるものだが、授業写真はあったほうが良い。あるのと無いのでは全然違うので、学習風景等の写真は掲載する方向で考えたほうが良い。
- ・ 指導案を格納するページとしてある「資料室」に関しては、指導案は別のページ「授業資料室」というページを作成してはどうか。「授業」というものがどこかに見えたほうが

良い。

- ・ データを集めるのが大変なので学習素材があると助かる。ボタンを押したら資料があるような感じにしたらどうか。

(参考資料：札幌気象台 HP <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/bosai/bosai-sozai.html>)

- ・ 指導案等は、PDF ではなく WEB 方式での掲載が良い。
- ・ 授業をして思ったのは 1 人で資料を作成するのは大変だが、すぐ返答が帰ってくる今回のシステムは大変ありがたかった。
- ・ 信用できることからデータがもらえるのはうれしい。
- ・ HP は一度オープンしてみないとわからない。その後バージョンアップしていく。
- ・ 問い合わせはフォームで行う。
- ・ 周知は先生方に事あるごとに行ってもらおう。
- ・ 人海戦術でやるしかない。
- ・ 気象台は、学校に来て WEB の説明を行っていた。事務局も札幌教研等で、WEB の説明などをしたらどうか。

### 3. エコチルとの協働PJ 企画について

#### 【報告】

- ・ 作文は高学年向けなので、低学年の数が極めて少なかった。低学年だと難しいかもしれない。[応募作品数：107 作品]

### 4. 今後のスケジュール・その他 2012 JCOMM 教育事例の紹介

#### ●今後のスケジュールについて

- ・ 11/27 (火) 開催：研究授業〈政治〉〔札幌市立屯田小学校・斉藤先生〕
- ・ 12 月・3 月に検討委員会を開催

#### ●その他：2012 年 JCOMM 教育事例の紹介

- ・ JCOMM に参加してみた感想は
- ・ 札幌市の取組みは、先生方が主体となっているので注目されていた。
- ・ 口頭発表後、質問も多かった。

#### 〈質問の一例〉

- ・ メンバーの先生方は良いが、メンバー以外の先生はどのように伝えていくのか→地道に伝えていくしかない。
- ・ 教諭の免許更新時に、交通学習について紹介してはどうか。
- ・ 事例紹介の中で、先生方と協力して進めるのが難しいとの話があった。
- ・ 札幌市以外は、大学の先生や行政、交通事業者の口頭発表などが多かった。
- ・ 札幌市の本事業は、理想的な方向に進んでいる。
- ・ 協力してもらえる環境があるから成り立っていると感じる。
- ・ 本事業について、もう少し意識して広めていきたい。
- ・ 弘前大学の大学生で、車がなかなか持てないため、移動手段はバスしかない。バスを利



用しているが、バスの本数が減っているため、使い勝手が悪い。そこで、自らサークルをつくって公共交通を充実させようという取組を行っている。これについては成果が上がっている。

- ガリバーマップがある場合授業で使えそうか。
- ガリバーマップについて  
(JCOMM HP 第6回 JCOMM ポスター発表「ワークショップ型 MM 教育のための汎用ツール：宇治市ガリバーマップとその利用」 鈴木春菜[山口大学大学院]<http://www.jcomm.or.jp/>)
- 3年生の学習では外にいけない。テレビ画面で見せるのはあるが、ガリバーマップも良いかもしれない。
- 研究授業でガリバーマップを使用した授業をすると、日常的に使いたい人が出てくると思う。
- 教材としての魅力があって、可能性がある。

### 4-2-3 第3回ワーキンググループの開催概要

#### (1) 開催概要

■会場：一般社団法人北海道開発技術センター 9F 会議室（札幌市中央区南1条東2丁目）

■日時：平成25年2月26日（火）18:00～20:00

■出席者：新保哲夫氏（札幌市立幌西小学校長）  
牧野宜英氏（札幌市立手稲宮丘小学校教諭）  
河嶋一貴氏（札幌市立本通小学校教諭）  
斉藤健一氏（札幌市立屯田小学校教諭）  
栗原聡太郎氏（札幌市立山の手南小学校教諭）

#### 議事

- (1) 札幌らしい交通環境学習フォーラムについて
- (2) 次年度のWGの体制について
- (3) 指導案の様式の統一化について
- (4) その他



写真 4-6 会議の様子

## (2) 議事概要

### 1. 札幌らしい交通環境学習フォーラムについて

#### 【議題】

- ・ 開催時期、開催時間、プログラム構成について
- ・ 開催場所について
- ・ 周知について

#### 【決定事項】

- ・ 開催時期は 2013 年夏頃を予定。
- ・ 開催時間は午後（5 時間目に研究授業の実践を想定）。
- ・ プログラムは、研究授業（13：30～14：15）、意見交換（14：30～15：15）、パネルディスカッション①〈WG メンバーを中心に構成〉（15：30～16：00）、パネルディスカッション②〈検討委員会メンバーを中心に構成〉（16：10～16：50）とする。
- ・ 開催場所は、札幌市立山の手南小学校
- ・ 周知は、札幌市内の小中学校に行く。

#### 【検討事項(議論の内容)】

- ・ パネルディスカッション①のメンバーは、WG メンバーが良い。
- ・ テーマとしては、これまでの研究授業等を踏まえた交通環境学習の方向性についてが良いのではないか。
- ・ パネルディスカッション②は、検討委員会のメンバーが良いのではないか。
- ・ 研究授業は、教室で実施し、パネルディスカッションは体育館がいいのではないか。
- ・ 周知は、札幌市内の小中学校の教諭に対して行い、100 名程度の集客があればいいのではないか。

### 2. 次年度の WG の体制について

#### 【議題】

- ・ 次年度も研究授業を実施していき、また、各学年の指導案を作成するという目的から、1 年生・2 年生・4 年生での実施を目指したい。
- ・ WG のメンバーは、同メンバーで次年度もお願いしたい。また、現 WG メンバーを中心に、3 名程度でチームを構成できないか。

#### 【決定事項】

- ・ 研究授業の実施については、体制は新年度になってから再度検討する。
- ・ 研究授業は、社会科に絞って、新たな教諭に WG に入ってもらおう。

#### 【検討事項(議論の内容)】

- ・ 研究授業の実践拡大を目指すなら WG メンバーの人数を増やすのは良い。
- ・ チーム編成は、現 WG メンバー 1 名をチーフとして 2 名程度参加するのが良い。最大でも新しい WG メンバーは 8 名が良いのではないか。
- ・ WG のメンバーに入ってもらったほうが参加しやすい。
- ・ チームの動きとしては、チームリーダー（現 WG メンバー）が中心となって指導案を作成し、新たに入る教諭には授業づくりをお願いしたい。
- ・ 同じ指導案でクラス毎に実践するとともに、新しい指導案を作成していくという両方の方向で進めたい。
- ・ 4 月以降にならないと担当学年がわからないので、研究授業の実施学年については 4 月以降に再度検討したほうが良い。

### 3. 指導案の様式の統一化について

#### 【議題】

- ・ 多くの先生に指導案を使用していただきたいので、どのような構成が良いか。

#### 【決定事項】

- ・ 統一された指導案を作成することで、成果として見やすくわかりやすくする。
- ・ 指導案は、授業の狙いを色濃く出す（学習指導要領の位置づけ・教科書の活用等）し、4 ページ構成とする。

#### 【検討事項(議論の内容)】

- ・ 本来の指導案というものよりも、実践方法がわかるものが良い。
- ・ 4 ページにまとめる。
- ・ 札幌市など使用できるデータを掲載する。(2~3 点)
- ・ 板書を大きめに入れる。
- ・ 授業の狙いを色濃く出す（学習指導要領の位置づけ・教科書の活用等）方がよい。
- ・ MM の授業が取り上げられる理由（社会背景）の明記があれば授業者が自信を持って実践できる。

例えば：路線バスの数が減少し、車の保有者数が増加しているグラフなど

## 第5章 本事業の取組み報告

### 5-1 第7回日本モビリティ・マネジメント会議

#### (1) 開催概要

##### ■開催日：

2012年8月3日（金）～5日（日）

※3日、午後ポートラム、セントラム等の富山市内視察

※4日午前富山事務局主催にて開催地企画。午後JCOMMセッション

※5日、終日JCOMMセッション

##### ■会場：

富山県富山市 富山国際会議場（富山市大手町1番2号）

##### ■主催：

一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

##### ■共催：

富山市、(株)新日本コンサルタント、(社)土木学会

##### ■本プロジェクトに関する発表

発表タイトル：「札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組み」

発表者：札幌市立屯田小学校 斉藤 健一

連名者：札幌市市民まちづくり局総合交通計画部：西田 健一・岡 顕一

一般社団法人北海道開発技術センター：原 文宏・新森 紀子・大井 元揮

筑波大学大学院システム情報工学研究科：谷口 綾子

北海道大学大学院工学研究院：高野 伸栄

発表日時：8月5日（日） 9:00-10:00 口頭発表3

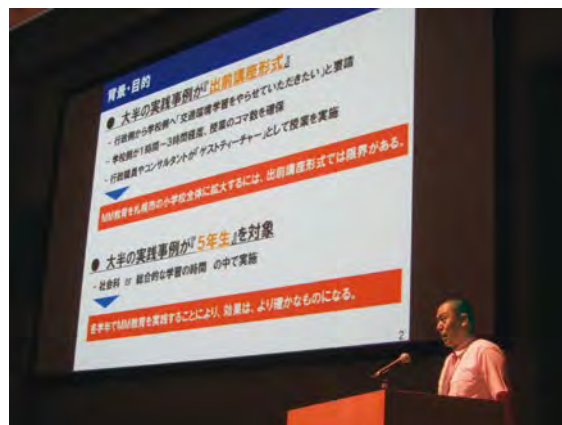


図 5-1 会場の様子

(2) 発表内容

以下に発表資料を示す。

交通エコロジー・モビリティ財団連携事業

### 札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組み

札幌市立屯田小学校 齊藤 健一  
 札幌市市民まちづくり局総合交通計画部 西田 健一  
 一般社団法人北海道開発技術センター 藤 文宏  
 新潟 紀子  
 大井 充博  
 筑波大学大学院システム情報工学研究科 谷口 倫子  
 北海道大学大学院工学研究院 高野 伸央

### 背景・目的

- 大半の実践事例が『**出前講座形式**』
  - 行政側から学校側へ「交通環境学習をやらせていただきたい」と要請
  - 学校側が1時間～3時間程度、授業のコマ数を確保
  - 行政職員やコンサルタントが「ゲストティーチャー」として授業を実施

MM教育を札幌市の小学校全体に拡大するには、出前講座形式では限界がある。

- 大半の実践事例が『**5年生**』を対象
  - 社会科 or 総合的な学習の時間 の中で実施

各学年でMM教育を実施することにより、効果は、より確かなものになる。

### 背景・目的

- MM教育に関する団体は多様。**連携が不十分**。
  - 関係団体：交通局・運輸局・開発局・バス協会・札幌市交通事業振興公社 等

自動車利用を抑制・公共交通の利用を拡大 を目指す団体が連携を実施することで、より効果的・効率的に学校を支援可能になる。

### 背景・目的

現状を踏まえ、5つの目標と本プロジェクトにおける実施内容を整理

目標	実施・検討内容等
目標1 学習指導要領と連動した学習プログラムの開発	・教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討 ・研究授業の開催
目標2 1年生～6年生まで、各学年におけるMM教育の実施	・教諭が主体となった授業の実施
目標3 教諭が主体となった授業の実施	・教諭が主体となった授業実践を実施
目標4 札幌市内小学校へのMM教育の広がり	・教諭に配布される指導書への掲載 ・webプラットフォームによる情報提供
目標5 関係団体等の連携体制の構築	・協働体制の構築 ・webプラットフォームによる情報共有

### 本プロジェクトの検討・推進体制

札幌南らしい交通環境学習検討委員会

学識経験者  
 委員長：高野 伸央(北大)  
 谷口 潤蔵(筑波大)

関係団体  
 ・札幌バス協会  
 ・(株)北海道開発財団  
 ・地域と教育 未来にする7+1+5M (株)アピコム

行政関係  
 ・北海道運輸局(運輸行政)  
 ・北海道開発局(開発行政)  
 ・札幌市交通局(交通事業部)  
 ・札幌市総合交通計画部(交通)

学校関係  
 ・札幌市教育委員会  
 ・札幌市立小学校教員会  
 ・(校長1名・教諭2名)

WGの設置  
 平成23年度2回

### 本プロジェクトの実施内容 (学習プログラムの検討)

【教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討】

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
知る	使う	広げる	深める	まとめる	

### 本プロジェクトの実施内容 (学習プログラムの検討)

【教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討】  
 ワーキンググループの教諭が中心となり指導案を作成

5年総合学習  
 3年社会科「もっと知りたいみんなのまち」  
 4年社会科「ぼくと5年生」  
 6年社会科「調査」

### 本プロジェクトの実施内容 (教諭が主体となった授業実践を実施)

【教諭が主体となった授業実践を実施】

- ・実施日：平成24年2月8日(水)5時間目
- ・実施校：札幌市立屯田小学校
- ・対象学年：5年生(1クラス)
- ・授業者：齊藤 健一
- ・教科：社会科
- ・単元：「くらしを変える情報-情報ネットワークを主眼に-」

### 本プロジェクトの実施内容 (教諭が主体となった授業実践を実施)

### 本プロジェクトの実施内容 (教諭が主体となった授業実践を実施)

### 本プロジェクトの実施内容 (教諭が主体となった授業実践を実施)

#### 授業実施前の児童の生活・意識

- 校区は最寄り地下鉄駅までクルマで10分の距離
- 大半の家庭でクルマに依存した生活

どのバスに乗っていいかわからない

バスの時刻を調べることが大変!

【札幌周辺公共交通案内サイト】

### 本プロジェクトの実施内容 (指導者への掲載)

#### 【教諭に配布される指導書への掲載】

##### 【目的】

- MM教育を出前講座形式ではなく、教諭主体で実施する
- MM教育を札幌市小学校全体に広める

##### 【方法】

- H27年度の改定に合わせて、H23~25年度に研究授業を数多く実施し、カリキュラム構築

##### 【留意点】

- MM教育を広めるために、「誰でも実施可能なカリキュラム構築」を実施。

### 本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

#### 【webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築】

##### 【目的】

- 学校・教諭への授業に用いるツール等の提供
- 関係者間・教諭間、関係者・教諭間の情報共有・連携
- 交通環境学習の認知度・必要性の向上

### 本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

### 本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

#### ● webページの掲載内容【関係団体からの情報】

掲載団体	掲載内容
北海道運輸局	通学時の交通インフラ整備実績
北海道開発局札幌開発建設局	通学時のMM教育推進
道庁東北支庁地方創生課	スクールバス利用の取組み
アピコム	エコチルの交通分野の記事
北海道バス協会	バスの日に関する取組み
北海道建設部	通学バス安全対策 等
	ササダレーシング
	交通教育
	子ども発達支援センター
札幌市交通事業推進委員会	通学バスの日定額「タイムスランパラー」
	防災フェスティバル
	防災交通子どろ教育
	むすびどろBOOK
北海道開発局センター	通学時のMM教育実践
	ワンストップバス乗降場
	各機関のバスID(乗車禁止等の情報)

### 本プロジェクトの実施内容 (webプラットフォームによる情報提供・共有体制の構築)

#### ● webページの掲載内容【本プロジェクトにおいて実施の研究授業】

- 指導案・板書案
- 授業で活用したツール

### 本プロジェクトの成果と今後の展開

#### 【現段階における本プロジェクトの成果】

- 地域の関係者でMM教育を推進する体制を構築。
- MM教育の新たな展開として、「情報単元」によるMM教育の可能性に一定の示唆。
- MM教育を札幌市全体へ広めるための取組内容(指導者掲載やwebプラットフォーム)が明確化。

#### 【今後の展開】

- 札幌市の社会科教育の指導書への掲載を目指し、より研究課題を顕微鏡する取組が必要
- MM教育をより多くの教諭・学校に認知いただくことも必要と考えられ、webプラットフォーム掲載による情報発信や教諭を対象としたMM教育セミナー等を開催したい

## 5-2 土木と学校教育フォーラム

### (1) 開催概要

■開催日：

2012年7月28日（土）

■会場：

土木学会（東京都新宿区四ツ谷）

■概要：

「土木と学校教育フォーラム」は、初等中等教育における道や川、まちといった様々な社会基盤・公共財を題材とした初等中等教育のあり方を考え、児童・生徒のシティズン・シップ教育に資することをねらいとして、「全国」の土木と学校教育の双方の専門家と実践者が集まり、種々の研究発表、事例紹介を行う場。

■主催：

土木学会 担当：教育企画・人材育成委員会 「土木と学校教育会議」検討小委員会

■共歳：

交通エコロジー・モビリティ財団

■本プロジェクトに関する発表

発表タイトル：「札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組み」

発表者：札幌市立幌西小学校 新保哲夫 校長



(2) 発表内容

以下に、発表内容を示す。

交通エコロジー・モビリティ財団支援事業

# 札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取り組み

新保哲夫[札幌市立槻西小学校長]、西田健一[札幌市市民まちづくり局総合交通計画部]、原文宏[一般社団法人北海道開発技術センター]、谷口綾子[筑波大学大学院システム情報工学研究科]、高野伸栄[北海道大学大学院工学研究院]

## 背景と目的

札幌市におけるMM施策の核として、「札幌らしい交通環境学習」を将来的に、札幌市内の全小学校で実施することを見据え、平成23年度から検討を始めた。

- 1 大半の実践事例が『出前講座形式』**
  - 行政側から学校側へ「交通環境学習をやらせていただきたい」と要請
  - 学校側が1時間〜3時間程度、授業のコマ数を確保してくれる
  - 行政職員やコンサルタントが「ゲストティーチャー」として授業を実施
- 2 大半の実践事例が『5年生』を対象**
  - 社会科 or 総合的な学習の時間 の中で実施
- 3 MM教育に関連する団体は多様。連携が不十分。**
  - 関係団体：交通局・運輸局・観光局・バス協会・札幌市交通青年協賛会等

目標	実施・検討内容等
目標① 学習指導要領と連動した学習プログラムの開発	・教諭を主体とするワーキンググループを設け、学習プログラムを検討 ・研究授業の開催
目標② 1年生〜6年生まで、各学年におけるMM教育の実施	・教諭が主体となった授業を実施
目標③ 教諭が主体となった授業の実施	・教諭に先立られる指導者への研修 ・webプラットフォームによる情報提供 ・教諭を対象とした研修会等の実施
目標④ 札幌市内小学校への展開の広がり	・協賛体制の構築 ・webプラットフォームによる情報共有
目標⑤ 関係団体等の連携体制の構築	

## プロジェクトの内容

**検討委員会・ワーキンググループを設置**

学識経験者  
委員長：高野 伸栄 [北大]  
幹事：谷口 綾子 [筑波大]

行政関係  
・北海道運輸局  
・北海道観光局  
・札幌市交通局  
・札幌市総合交通計画部(新設)

学校関係  
・札幌市教育委員会  
・札幌市立小学校教員会  
WGの設置

関係団体  
・札幌市バス協会 ① 地域と教育」を元玉にするフォーラム  
② 札幌市環境局 ③ 札幌市観光局

### 学習プログラムの構築

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
知ること	使うこと	比較すること	変換すること	実践すること	発信すること
札幌市立小学校の児童が、身近な交通環境について学ぶ。また、その学習成果を地域社会に発信し、地域社会とつながる。	札幌市立小学校の児童が、身近な交通環境について学ぶ。また、その学習成果を地域社会に発信し、地域社会とつながる。	札幌市立小学校の児童が、身近な交通環境について学ぶ。また、その学習成果を地域社会に発信し、地域社会とつながる。	札幌市立小学校の児童が、身近な交通環境について学ぶ。また、その学習成果を地域社会に発信し、地域社会とつながる。	札幌市立小学校の児童が、身近な交通環境について学ぶ。また、その学習成果を地域社会に発信し、地域社会とつながる。	札幌市立小学校の児童が、身近な交通環境について学ぶ。また、その学習成果を地域社会に発信し、地域社会とつながる。

**教諭が主体となった授業を実践**

- 実施日：平成24年2月8日(水)5時間目
- 実施校：札幌市立電田小学校 [対象学年：5年生(1クラス)]
- 授業者：斉藤 健一 先生
- 教科：社会科 [単元：くらしを支える情報～情報ネットワークを生かす～]

### webプラットフォームの構築

**【目的】**

- 学校・教諭への授業に用いるツールの提供
- 関係者間・教諭間・関係者－教諭間の情報共有・連携
- 交通環境学習の認知度・必要性の向上

関係団体・学校間の情報共有・連携

各関係団体

関係団体間の情報共有・連携

小学校・教諭

教諭間の情報共有

## 今後の展開

平成23年度は、札幌市内全小学校へのMM教育の拡大を目指した本プロジェクトが始動した。今後は、2ヵ年のプロジェクト期間内に以下の事項を実施・検討し、MM教育の拡大並びに交通の諸問題の解決に取り組んでいきたいと考えている。

- 社会科を専門とする教諭以外でも実施可能な学習プログラムの構築
- 「総合的な学習の時間」におけるMM教育拡大の可能性
- 教諭が実践しやすい授業ツールの開発
- webプラットフォームによる教諭と他の関係者のネットワーク強化

【お問合せ】一般社団法人北海道開発技術センター 地域政策研究所 大井元博 e-mail:oolg@decnet.or.jp

図 5-2 発表ポスター

5-5

### 5-3 小学生作文コンクール

#### (1) 開催概要

##### ■目的：

エコチル紙面において公共交通の現状や課題を周知するとともに、児童の取組み（作文等）を通じて、公共交通について考えるきっかけを創造する。

〈「公共交通について考える」きっかけづくりプロジェクト企画〉

##### ■エコチルでの紙面掲載・募集：

8月号（8月20日発行）に掲載

##### ■実施企画

●実施企画：「公共交通の作文コンクール」

●内容：・エコチルを通じて公共交通の現状や課題を周知。

・児童が「公共交通」に関連した作文を作成/応募。

・応募のあった作品を審査し表彰。

●応募対象：札幌市内に居住する小学生

●応募期間：2012年8月20日～10月1日

●審査方法：札幌らしい交通環境学習検討委員会より審査員を選定し審査

（高野委員長・川瀬委員・内山委員・臼井委員）

●主催：アドバコム

●共催：札幌らしい交通環境学習検討委員会

●協賛：「地域と教育」を元気にするフォーラム

●後援：（公財）交通エコロジーモビリティ財団・札幌市・札幌市教育委員会・

（公財）札幌市事業振興公社・北海道中央バス(株)

●応募作品数：107作品

##### ■ エコチルでの掲載：エコチル12月号、エコチルHPに掲載

##### ■ 実施結果

●応募総数：107作品

●受賞：最優秀賞…1点

審査員特別賞…1点

低学年優秀賞…1点

高学年優秀賞…1点

佳作……………10点

(2) 記事内容

以下にプロジェクト資料を示す。



## 札幌の公共交通について考える小学生作文コンクール

**テーマ 札幌市の公共交通に関することなら何でもOK**

- 応募対象 / 札幌市内に住んでいる小学生
- 表彰 / 賞状及び副賞

**低学年の部 (1~3年生)** 400字詰め原稿用紙 1~3枚  
**高学年の部 (4~6年生)** 400字詰め原稿用紙 2~4枚

**最優秀賞** 1名

日帰り・入園券付き

**旭川・旭山動物園親子ペア・バスセット券**

+図書カード2万円+賞状

写真提供: 旭川市旭山動物園

**優秀賞** 高学年・低学年 それぞれ1名

**地下鉄駅セット**

+図書カード5,000円+賞状

**佳作** 10名

**中央バスグッズセット**

(中央バスオリジナルTシャツ、ノート、マグネット)

**参加賞**

**エコモグッズセット**

(温度計、ボールペン)

● 応募のきまり / 応募者情報として、  
 ①応募者名(フリガナ) ②保護者名(フリガナ) ③お子さまの性別 ④お子さまの生年月日 ⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦電話番号 ⑧小学校名と学年を明記の上、応募作品とともに応募締切日までに郵送してください。エコチルのウェブサイトから応募用紙と原稿用紙をダウンロードできます。応募した作文は返却いたしません。  
 ● 表彰方法 / 入賞者の発表については、エコチル誌面及びウェブサイトで行います。

応募受付期間 **2012年8月20日(月)~10月1日(月)** (応募必須)

応募先住所 〒060-0062 札幌市中央区南2条西1丁目 宮本ビル7F(株)アドバコム エコチル事務局  
**「札幌の公共交通について考える小学生作文コンクール」** 応募係

主催 / (株)アドバコム エコチル編集部 共催 / 札幌らしい交通環境学習検討委員会 協賛 / 「地域と教育」を元気にするフォーラム  
 後援 / (公財)交通エコロジー・モビリティ財団 札幌市 札幌市教育委員会 (一財)札幌市交通事業振興公社 北海道中央バス(株) ※50頁前

# 結果発表



## 札幌市の公共交通について考える小学生作文コンクール

エコチル8月号で募集した、作文コンクールの入賞作品を紹介するよ!!

「札幌市の公共交通について考える小学生作文コンクール」には、約107作の応募がありました。その内容は、公共交通を使うことの良い点・悪い点をまとめたレポートから、こんな公共交通があるという夢、公共交通を使ったときの感想などさまざまで、全部の作文から一生懸命書いてくれた気持ちが伝わってきました。そんな力作ぞろいでしたが、2012年10月審査員による厳正な審査が行われ、急ぎよ審査員特別賞が設けられた後、受賞者が決まりました。最優秀賞と審査員特別賞の作文を紹介いたします。また、残念ながらスペースの都合で紹介できなかった受賞作は、エコチルネットで紹介しています。ぜひ、読んでみてくださいね!



松下孝介くん  
3年 上野幌小学校



**松下くんの受賞コメント**  
最優秀賞を受賞できて、本当にうれしかったです。「こんなふうにしたらいいかな」「どうしたらいいかな」みたいなことができるかなと考えながら、時間をかけて作文を書きました。この作文が、少しでもみんなの役に立っていると思います。

1 小学1-3年生用  
 題 自分たちのカマで動く乗り物  
 ぼくは、電車の電気をか  
 えた方がいいと思います。  
 どうしてかというところ、ぶ  
 つうの電気より、自分たち  
 で発電した電気が方がエコ  
 だからです。たとえは、  
 窓ぎきの前にポンプをつけ  
 て、みんなどおすと発電で  
 きる電気があればいいかと  
 思います。その理由は、  
 お年よりは、足より手の方  
 が動かすのはつかれない

3 小学1-3年生用  
 題 自分たちの公共交通に関すること  
 ろけど、すぐ発電しても  
 ら、周りの人も助かるよ  
 思います。  
 このように、自分たちが  
 発電した電気を利用した乗  
 り物が、たくさん発明され  
 るといいと思います。  
 おわり

2 小学1-3年生用  
 題 自分たちの公共交通に関すること  
 と思うし、小さい子はこい  
 だりする事は、おすかしいけ  
 ど、おすのはかんたんだが  
 ら、電気がたま、てちん  
 と走ります。でもかなり  
 電気がないと、動きそうも  
 ないのて、つかれるのはあ  
 たり前になりそうです。  
 ほかに、バスのせきにす  
 わると、その重さで発電で  
 きるようになると、太、て  
 いる人も、場所をとって





中西優海さん  
平岡公園小学校  
4年



中西優海

1  
わたしは、お母さんと一緒に公園まで歩いて行きます。公園には、お花がたくさん咲いて、とてもきれいです。お友達と遊んで、とても楽しいです。お家では、お母さんに話を聞いたり、お絵かきをしたりしています。お勉強も頑張っています。これからも、毎日楽しく生活していきたいです。

2  
学校で勉強して、お友達と遊んで、毎日楽しく生活しています。お母さんに話を聞いたり、お絵かきをしたりしています。お勉強も頑張っています。これからも、毎日楽しく生活していきたいです。

3  
学校で勉強して、お友達と遊んで、毎日楽しく生活しています。お母さんに話を聞いたり、お絵かきをしたりしています。お勉強も頑張っています。これからも、毎日楽しく生活していきたいです。

《中西さんの受賞コメント》  
私は買い物に行くときなどに公共交通を使うのですが、たくさん乗れるので車よりエコだと思います。みんなにも使ってもらいたいと思います。

4  
学校で勉強して、お友達と遊んで、毎日楽しく生活しています。お母さんに話を聞いたり、お絵かきをしたりしています。お勉強も頑張っています。これからも、毎日楽しく生活していきたいです。

低学年優秀賞  
工藤 桜子さん  
平岡小学校 2年

《工藤さんの受賞コメント》  
一生懸命書いたので、入賞できてよかったです。これからもバスや地下鉄に、たくさん乗ろうと思います。

高学年優秀賞  
野沢 友梨さん  
屯田小学校 6年

《野沢さんの受賞コメント》  
学校の授業でバスや地下鉄について勉強したことを生かして作文を書きました。受賞できてうれしいです。

佳作(準優秀賞)

- 白井 美優さん 栄東小学校 1年
- 森本 真徒くん 福移小学校 3年
- 松本 乃依さん 新琴似緑小学校 4年
- 小谷野 大成くん 新琴似緑小学校 4年
- 松井 百華さん 手稲宮丘小学校 4年
- 平賀 優奈さん 手稲宮丘小学校 5年
- 久松 百華さん 西岡南小学校 5年
- 杉山 みなみさん 屯田小学校 6年
- 南保 空花さん 屯田小学校 6年
- 廣井 克郎くん 屯田小学校 6年

入賞作品はすべて、エコチルネットで  
見ることができます。  
みんなの作品をぜひ読んでみてね!  
<http://www.ecochil.net/>



講評

北海道大学  
公共政策学連携研究部  
准教授 高野 伸栄 先生



公共交通機関とは簡単にいうと、みんなが利用する交通機関といえます。みんなが利用するには目的地に真っ直ぐ行けなくて時間がかかったり、他の人の乗り降り待ったり、いろいろな交通機関を乗り継ぐなど不便もありますが、さまざまな人と一緒に過ごすことができます。みなさんの作文には、このことの楽しさや身体が不自由な人を含めて、不便を改善するための多くのアイデアが書かれていて、とても感心しました。  
また、みんな一緒に交通機関を利用することは交通渋滞を防いだり、二酸化炭素の発生を少なくし、地球環境を守ることになります。みなさんの作文では、このことの大切さと、それに向かって多くの人が努力するよう力強く述べられています。特に、最優秀賞の松下君の作文にはそれぞれの人が環境改善を行うための他の人が考えつかない、とてもユニークなアイデアが書かれていて、素晴らしいと思います。  
作文を応募してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

## 札幌市の公共交通について考える 小学生作文コンクール 結果発表

主催：「新」アドバコム エコチル編集部 共催：札幌らしい交通環境学習委員会 協賛：「地域と教育」を元気にするフォーラム  
後援：（財）交通エコロジー・モビリティ財団 札幌市 札幌市教育委員会（一財）札幌市交通事業推進公社 北海道中央バス（株）

エコチル8月号で募集をした、「札幌市の公共交通について考える小学生作文コンクール」には、約107件の応募がありました。届いた全ての作文から、一生懸命書いてくれた気持ちが伝わってくる、力持てるの作文コンクールとなりました。2012年10月、審査員による厳正な審査が行われ、最優秀賞と審査員特別賞の作文がエコチル12月号で紹介されています。誌面ではスペースの都合で紹介できなかった入賞した全作文をウェブサイトで紹介、ぜひ、読んでみてくださいね！

### 最優秀賞

**最優秀賞 松下 孝介（まつした こうすけ）くん** 上野幌小学校3年  
 ※「松さんの受賞コメント」※  
 最優秀賞を受賞できて、本当にうれしかったです。こんなふうにしたらエコかな「こういうことなら、みんなできるかな」と考えながら、時間をかけて作文を書きました。この作文が、少しでもみんなの役に立つといいと思います。

**審査員特別賞**

**審査員特別賞 中西 優海（なかにし ゆみ）さん** 平岡公園小学校4年  
 ※「中さんの受賞コメント」※  
 私は買い物に行くときなどに公共交通を使うのですが、たくさん乗れるので車よりエコだと思います。みんなにももっと使ってもらいたいと思います。

**低学年優秀賞**

**低学年優秀賞 工藤 桜子（くどう さくらこ）さん** 平岡小学校2年  
 ※「工藤さんの受賞コメント」※  
 一生懸命書いたので、入賞できてよかったです。これからバスや地下鉄に、たくさん乗ろうと思います。

**高学年優秀賞**

**高学年優秀賞 野沢 友梨（のさわ ゆうり）さん** 屯田小学校6年  
 ※「野沢さんの受賞コメント」※  
 学校の授業で「バスや地下鉄について勉強したことを生かして作文を書きました。受賞できてうれいです。

### 佳作当選者

口井 美優（うすい みゆ）さん	宗郷小学校 1年	作文を読む
森本 真穂（もりもと まこと）くん	福野小学校 3年	作文を読む
松本 乃依（まつもと のい）さん	新琴似小学校 4年	作文を読む
小野野 大成（ののの ひろなり）さん	新琴似小学校 4年	作文を読む
松井 西華（まつい ももか）さん	手稲西小学校 5年	作文を読む
平賀 優奈（ひらが ゆうな）さん	手稲西小学校 5年	作文を読む
久松 西華（ひさまつ ももか）さん	西岡小学校 5年	作文を読む
杉山 み桜み（すぎやま み桜み）さん	屯田小学校 6年	作文を読む
南保 宝花（なんぼ たらか）さん	屯田小学校 6年	作文を読む
藤井 亮郎（ふじい かつろう）さん	屯田小学校 6年	作文を読む

PDF形式のファイルを印刷するには、アドビ システムズ社から無償提供されている Adobe® Reader® プラグインが必要です。

**講評**  
 北海道大学 公共政策学連携研究部 准教授 **高野 伸栄 先生**  
 公共交通機関とは簡単にいうと、みんなで利用する交通機関といえます。みんなが利用するには目的地に真っ直ぐ行けなくて時間がかかったり、他の人の乗り降りを待たたり、いろいろな交通機関を乗り継ぐなど不便もありますが、さまざまな人と一緒に過ごすことができます。みなさんの作文には、このことの楽しさや身体が不自由な人を助めて、不便を改善するための多くのアイデアが書かれています。とても感心しました。また、みんな一緒に交通機関を利用することは交通経済を助いたり、二酸化炭素の発生を少なくし、地球環境を守ることになります。みなさんの作文では、このことの大切さと、それに向かって多くの方が努力するよう力強く述べられています。特に、最優秀賞の松下さんの作文にはそれぞれの方が環境改善を行うための他の人が考えつかない、とてもユニークなアイデアが書かれていて、素晴らしいと思いました。作文を応募してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

The screenshot shows the Eco-Chiru website interface. At the top, there's a navigation bar with links like 'ホーム', 'エコチルとは?', '今月号のエコチル', '今月のエコチル イベント情報', '今月号のエコチルTV', '今月の記事', and 'お問い合わせ'. Below this is a '最新情報' (Latest News) section with a list of recent updates. To the right is a '今月の記事' (This Month's Articles) section. The main content area features a large banner for '読者の友だちばかりでいい! エコチル 東京版創刊準備号' (It's great to have only readers' friends! Eco-Chiru Tokyo Edition Special Issue). Below the banner are sections for '今月号のエコチル' (This Month's Eco-Chiru) and 'エコチルイベント' (Eco-Chiru Events). At the bottom, there's an 'エコチルTV' section with a video player and a '今月の見どころ記事' (This Month's Must-Read Articles) section.

## 第6章 本事業のまとめと今後の方針

### 6-1 本事業のまとめと今後の方針

表 6-1に本事業の目標とそれに対応した今年度の実施結果を整理する。

目標①・目標②に対応する実施結果として、小学校長 1 名、と小学校教諭 5 名教育委員会係長職 1 名を構成員とするワーキンググループを設置し、MM 教育の実践の可能性についての検討を実施した。また、今年度は、ワーキンググループのメンバーである 4 名の教諭が、それぞれ 3 年生 1 校・5 年生 2 校・6 年生 1 校において研究授業を実施した。

さらに、10 月より WEB におけるプラットフォームの運用を開始し、研究授業についての指導案・授業風景を掲載するとともに、関係団体の MM 教育に関連する取組みや施策についての情報を掲載した。

加えて、MM 教育をより多くの教諭・学校に広げるために、平成 25 年度の実施を想定する『札幌らしい交通環境学習フォーラム』の開催について検討を実施した。

今後は、より研究授業を実践する取組みが必要と考えられ、ワーキンググループメンバーを拡充していきたいと考えている。

表 6-1 本事業の目標とそれに対応したこれまでの実施結果

目標		実施結果
目標 ①	学習指導要領と連動した 学習プログラムの開発	⇒ ・教諭を主体とするワーキンググループを設置し、学習プログラムを検討 ・研究授業の蓄積 (手稲宮丘小学校・山の手南小学校・本通小学校・屯田小学校:計 4 校)
目標 ②	1 年生～6 年生まで、 各学年における MM 教育の実施	
目標 ③	教諭が主体となった授業の実施	⇒ ・教諭が主体となった授業実践を実施 【平成 23 年度】 (札幌市立屯田小学校:齊藤教諭) (札幌市立新陽小学校:伊藤教諭) 【平成 24 年度】 (札幌市立手稲宮丘小学校:牧野教諭) (札幌市立山の手南小学校:栗原教諭) (札幌市立本通小学校:河嶋教諭) (札幌市立屯田小学校:齊藤教諭)
目標 ④	札幌市内小学校への MM 教育の広がり	⇒ ・教諭に配布される指導書への掲載にむけた検討 ・WEB プラットフォームによる情報提供 ・教諭を対象としたフォーラム等の実施にむけた検討
目標 ⑤	関係団体等の連携体制の構築	⇒ ・協働体制の構築にむけた検討 ・WEB プラットフォームによる情報共有

## 6-2 平成 25 年度のスケジュール

平成 25 年度については、研究授業の拡大に向けて、年度当初に新規WGメンバーの検討を行う。また、新しいWGメンバーが確定後、MM教材及び授業プログラムを開発し、研究授業を実践する。

夏頃に「札幌らしい交通環境学習フォーラム」の開催を予定しており、多くの教諭に周知する機会を積極的に設けていく。WEB によるMM教育プラットフォームについても継続的に運用していくこととする。

なお、検討委員会及びWGについては、事業の進捗に応じ開催し、随時、検討を実施していくものとする。

その他、平成 25 年度に仙台市で開催される第 8 回日本モビリティ・マネジメント会議や土木学会の「土木と学校教育フォーラム」等において本事業を周知する。また、株式会社アドバコム実施予定のエコチル紙面での小学生作文コンクール等についても協力する。

表 6-2 H25 年度スケジュール（案）

	平成 25 年度実施スケジュール		その他
4 月	↑ 実施計画の検討 新規WGメンバーの検討	↑ MM教育プラットフォームの運用	第1回WG
5 月			JCOMM エントリー
6 月	↑ MM教材開発 授業プログラム開発 交通環境学習（研究授業）の実践	↑	第1回委員会
7 月			7/12-14 JCOMM
8 月			小学生作文コンクール
9 月	夏頃に「札幌らしい交通環境学習フォーラム」を開催	↑	
10 月			
11 月			第2回WG
12 月			第2回委員会
1 月			第3回WG
2 月			第3回委員会
3 月		完了報告書提出	



# 資料編

## 第1回札幌らしい交通環境学習検討委員会資料

### 平成24年度 第1回札幌らしい交通環境学習検討委員会

日 時 平成24年6月29日(金) 13時30分  
場 所 社団法人北海道開発技術センター会議室

#### 【 議 事 次 第 】

#### 1 事務局挨拶

#### 2 各委員及びオブザーバー紹介

#### 3 議事

- (1) 今年度の研究授業の実践予定について・・・・・・・・・・資料1
- (2) 交通環境学習プラットフォームについて・・・・・・・・・・資料2
  - ・スマートムーブキャンペーンについて（環境省北海道地方環境事務所）・・・資料3
  - ・サタデーテーリングについて（(一財)札幌市交通事業振興公社）・・・資料4
- (3) エコチルとの協働PJ企画について（㈱アドバコム）・・・・・・・・・・資料5
- (4) 第7回日本MM会議・第4回土木と学校教育フォーラム参加について・・・資料6
- (5) その他・・・・・・・・・・資料7

#### 4 その他

#### <配布資料等>

平成24年度札幌らしい交通環境学習検討委員会出席委員名簿	
札幌らしい交通環境学習検討委員会資料一式	資料1・2・5～7
Smart move チラシ	資料3-1
「スマート・ムーブ 北海道キャンペーン～北海道の移動をますますエコに！～」	資料3-2
一般財団法人札幌市交通事業振興公社の活動	資料4

# 平成24年度 第1回札幌らしい交通環境学習検討委員会

2012年6月29日

1

## (1) 今年度の研究授業の実践予定について

資料1

### ■ ワーキンググループの開催経過

- 平成24年5月9日(水)に平成24年度1回目のWGを開催。
- 各WGの先生に本年度、研究授業を実践いただくことを決定。

先生	学年	教科	時期	単元	備考
河嶋先生	3年生	社会科	2学期	もっと知りたい みんなのまち	H23年度に向坊先生に作成いただいた指導案の内容をベースに実践
斉藤先生	6年生	社会科	2学期	政治or歴史	歴史については、新保校長が実践した経緯がある
向坊先生	1年生	生活科	3学期	ふゆをたのしもう	雪まつりに合わせて地下鉄を利用した授業を実践
栗原先生	5年生	総合	1学期	-	どこの学校でも実施可能な標準的な授業を実践
牧野先生	5年生	総合	1学期	-	

2

## (1) 今年度の研究授業の実践予定について

### ■ 1学期の研究授業の実践について

- 学校：札幌市立手稲宮丘小学校・5年生
- 日時：7月4日（水）14:25～（6時間目）
- 教科：総合的な学習の時間
- 授業者：牧野 宜英 先生
- 交通日記の記録日：6月15日（金）・16日（土）・17日（日）の3日間

- 学校：札幌市立山の手南小学校・5年生
- 日時：7月18日（水）13:30～（5時間目）
- 教科：総合的な学習の時間
- 授業者：栗原 聡太郎 先生
- 交通日記の記録日：6月29日（金）・30日（土）・7月1日（日）の3日間

※WG参加教諭担任のクラスを含め 手稲宮丘小学校では5年生4クラス、山の手南小学校では5年生3クラスで授業を実践。

## (1) 今年度の研究授業の実践予定について

### 【牧野先生作成指導案】

#### 総合的な学習の時間 指導案

授業者 牧野 宜英  
担任 栗原 聡太郎

#### 6 本時のねらい

自分の生活の状況と札幌市の交通量とを結びつけて自分や家族の生活の改善を図るよき生活のために、自分たちの生活の改善のあり方について考える。

#### 1 単元の 目標について考えよう

#### 2 誰かを知りて生活の場について

#### ○考える時間を確保して学習構成

子どもは「想像活動」を行う活動をすることがあるが、正しい知識や自分の生活とのかかわり、関心は低く、興味も薄い。そこで、「想像活動」の時間を確保し、子どもが興味を持ち、学習の場を「想像活動」にする。

その中で「札幌市の交通量の状況」や「交通量」に関心を持って学習活動を進め、学習の場を「想像活動」にする。

#### 3 心の動く学習活動について

#### ○考える時間

単元の目標では「子どもが興味を持ち、自分の生活とのかかわり、関心を持ち、学習の場を「想像活動」にする」という目標を達成させる。

#### ○考える時間

単元の目標では「子どもが興味を持ち、自分の生活とのかかわり、関心を持ち、学習の場を「想像活動」にする」という目標を達成させる。

#### ○考える時間

単元の目標では「子どもが興味を持ち、自分の生活とのかかわり、関心を持ち、学習の場を「想像活動」にする」という目標を達成させる。

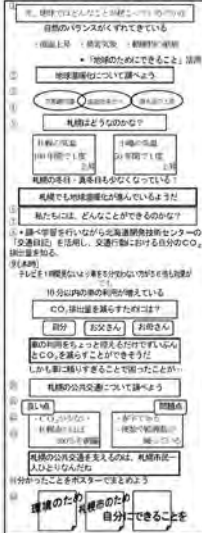
#### ○考える時間

単元の目標では「子どもが興味を持ち、自分の生活とのかかわり、関心を持ち、学習の場を「想像活動」にする」という目標を達成させる。

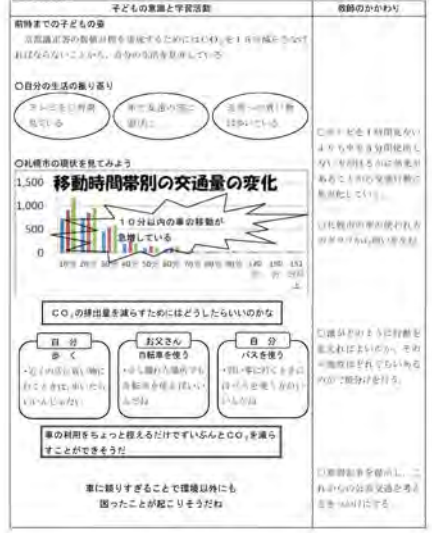
#### ○考える時間

単元の目標では「子どもが興味を持ち、自分の生活とのかかわり、関心を持ち、学習の場を「想像活動」にする」という目標を達成させる。

#### 3 学習計画（1時間授業 2時間×15）



#### 7 本時の展開





## (2) 交通環境学習プラットフォームについて

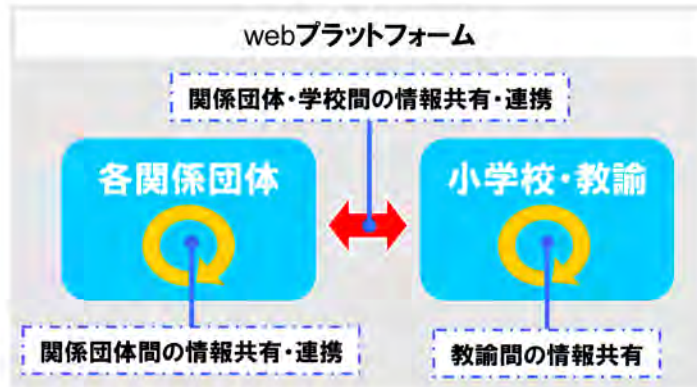
資料2

### 【目的】

- 学校・教諭への授業に用いるツール等の提供
- 関係者間・教諭間・関係者-教諭間の情報共有・連携
- 交通環境学習の認知度・必要性の向上

### 【現状での交通環境学習に関連する事業】

- ・サタデーテーリング等:(一財)札幌市交通事業振興公社
- ・バスの日に関連するイベント:北海道バス協会
- ・MM教育:北海道開発局札幌開発建設部
- ・交通エコロジー教室:北海道運輸局交通環境部
- ・スマートムーブ:環境省北海道地方環境事務所
- ・エコチル:アドバコム 等



7

## (2) 交通環境学習プラットフォームについて

The screenshot shows the homepage of the '札幌らしい交通環境学習プラットフォーム' (Sapporo-like Traffic Environment Learning Platform). The interface includes a navigation menu on the left with options like 'ホーム', '関係団体からのお知らせ', '学校からのお知らせ', '資料室', 'ブログ', 'フォーラム', and 'ログイン/ログアウト'. The main content area features a '最新情報' (Latest Information) section with a list of recent posts, a 'お知らせ' (Notice) section, and a '最新ニュース' (Latest News) section. Red lines connect specific features on the website to explanatory text boxes on the right.

- <関係団体>**: 関係団体からのお知らせ: 自治体、交通事業者、事務局からの情報を掲載します。
- <学校から>**: 学校からのお知らせ: 教育機関からの情報を掲載します。
- <フォーラム>**: 特定テーマについての意見交換を行います。関係者間で、意見交換を行う機能です。掲示板のような機能です。
- <MMブログ>**: 一般的なブログです。動向等について発信します。
- <資料室>**: 指図書や関係イベントの広報資料、MM教材等をアップロードし、ユーザーがダウンロードできる機能です。
- 【ニュース投稿】**: 学校や関連団体のお知らせなど、新規投稿された記事が反映されます。

8

## (2) 交通環境学習プラットフォームについて

### ● webページの掲載内容

#### 【関係団体からの情報】

関係機関	内容	備考
北海道運輸局	過年度の交通エコロジー教室実績 <b>(継続公開)</b>	
北海道開発局札幌開発建設部	過年度のMM教育実績 <b>(継続公開)</b> - 新保校長先生実施実績 - 牧野先生実施実績 - 伊藤先生実施実績	
環境省北海道地方環境事務所	スマートムーブの取組み <b>(継続公開)</b>	
アドバコム	エコチルの交通分野の記事 <b>(新着情報)</b>	
北海道バス協会	バスの日に関わる取組み <b>(新着情報)</b>	
北海道環境財団	地球温暖化ふせぎ隊 等 <b>(継続公開)</b>	
札幌市交通事業振興公社	サタデーテーリング <b>(継続公開)</b>	
	交通資料館 <b>(継続公開)</b>	
	子ども市営交通教室 <b>(新着情報)</b>	
	路面電車の日記念「クイズスタンプラリー」 <b>(新着情報)</b>	
	市電フェスティバル <b>(新着情報)</b>	
	市営交通子ども絵画展 <b>(新着情報)</b>	
	なるほどマナーBOOK <b>(継続公開)</b>	
日本モビリティ・マネジメント会議	各種MM関連情報 <b>(継続公開)</b> ・JCOMM開催情報 <b>(新着情報)</b>	
北海道開発技術センター	過年度のMM教育実績 <b>(継続公開)</b> - 上田指導担当係長実施実績 ウィンターライフ推進協議会 <b>(継続公開)</b> - 冬期間のモビリティ(転倒防止等の情報)	

## (2) 交通環境学習プラットフォームについて

### ● webページの掲載内容

#### 【本プロジェクトにおいて実施の研究授業】

- 指導案・板書案
- 授業で活用したツール



## (2) 交通環境学習プラットフォームについて

### ● webページの運用について

- 2012年10月の公開を目指して準備
- CMS（コンテンツマネジメントシステム）により構築  
※Webコンテンツを構成するテキストや画像などのデジタルコンテンツを統合・体系的に管理し、配信など必要な処理を行うシステムの総称  
 ウェブサイト、ポータルサイトの構築、管理によく使用。
- 2012年度・2013年度は各種情報・指導案を事務局が掲載



- 2014年度以降は運用状況から運用方法を判断
- フォーラム（特定テーマについての意見交換）の運用はWG参加教諭等にIDを発行

11

## (3) エコチルとの協働PJ企画について

資料5

### 「公共交通について考える」きっかけづくりプロジェクト企画(案)

#### ■ 目的:

エコチル紙面において公共交通の現状や課題を周知するとともに、児童の取組み(作文等)を通じて、公共交通について考えるきっかけを創造する。

#### ■ エコチルでの紙面掲載・募集:

8月号(8月20日発行)に掲載・・・内容確定:7月中旬

#### ■ 実施企画(案)

- 実施企画:「公共交通の作文コンクール」
- 内容:・エコチルを通じて公共交通の現状や課題を周知。  
 ・児童が「公共交通」に関連した作文を作成/応募。  
 ・応募のあった作品を審査し表彰。
- 応募対象:札幌市内に居住する小学生
- 作文のテーマ:公共交通に関連すれば全て良し ※具体的なテーマがあった方が集まりやすいでしょうか?  
 テーマ例)①環境と交通 ②公共交通の思い出 ③未来の公共交通 ④私の公共交通の利用のしかた
- 応募期間:2012年8月20日～9月30日
- 審査方法:札幌らしい交通環境学習検討委員会より審査員を選定し審査
- 表彰:賞状及び副賞(詳細は要検討)
- 主催:アドバコム
- 共催:札幌らしい交通環境学習検討委員会
- 後援:要検討

12



#### (4) 第7回日本MM会議・第4回土木と学校教育フォーラム参加について 資料6

##### 第7回日本モビリティ・マネジメント会議

■ 開催日:

2012年8月3日(金)～5日(日)

※3日は、富山事務局主催にて、午後からポートラム、セントラム等の富山市内視察

※4日は、午前中が同じく富山事務局主催にて開催地企画。午後から、JCOMMセッション

※5日は、終日JCOMMセッション

※参加申し込み期限:7月20日(金)

■ 会場:

富山県富山市 富山国際会議場(富山市大手町1番2号)

■ 主催:

一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

■ 共催:

富山市、(株)新日本コンサルタント、(社)土木学会

■ 本プロジェクトに関する発表

発表タイトル:「札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組み」

発表者:札幌市立屯田小学校 齊藤 健一

連名者:札幌市市民まちづくり局総合交通計画部:西田 健一・岡 顕一

一般社団法人北海道開発技術センター:原 文宏・新森 紀子・大井 元揮

筑波大学大学院システム情報工学研究科:谷口 綾子

北海道大学大学院工学研究院:高野 伸栄

発表日時:8月5日(日) 9:00-10:00 口頭発表3

13

#### (4) 第7回日本MM会議・第4回土木と学校教育フォーラム参加について

##### 土木と学校教育フォーラム

■ 開催日:

2012年7月28日(土)

■ 会場:

土木学会 (東京都新宿区四ツ谷)

■ 概要:

「土木と学校教育フォーラム」は、初等中等教育における道や川、まちといった様々な社会基盤・公共財を題材とした初等中等教育のあり方を考え、児童・生徒のシティズン・シップ教育に資することをねらいとして、「全国」の土木と学校教育の双方の専門家と実践者が集まり、種々の研究発表、事例紹介を行う場。

■ 主催:

土木学会 担当:教育企画・人材育成委員会 「土木と学校教育会議」検討小委員会

■ 共催:

交通エコロジー・モビリティ財団

■ 発表申し込み:

2012年6月29日(金)×切

■ 本プロジェクトに関する発表

発表タイトル:「札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組み」

発表者:札幌市立幌西小学校 新保元康 校長

14

(5) その他

資料7

	スケジュール	その他
4月		
5月	※第1回WG(5/9)	
6月	※第1回検討委員会(6/29)	
7月	7/4: 研究授業の実践(札幌市立手稲宮丘小学校) 7/18 研究授業の実践(札幌市立山の手南小学校)	7/29 土木と学校教育 フォーラム
8月		8/3-5JCOMM
9月		
10月	webプラットフォームリリース	※研究授業の実践(札幌市立本通小学校) ※研究授業の実践(札幌市立屯田小学校)
11月		
12月	※第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会	
1月		
2月		※研究授業の実践(札幌市立門山小学校)
3月	※第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会	

15

「移動」を「エコ」に。

# smart m((o)ve

地球にやさしい移動の効用



## 環境にいい

一人が1Km移動する時のCO<sub>2</sub>排出量は、マイカーでは約164g、バスでは約48g、鉄道では約19g、そして自転車や徒歩はもちろんCO<sub>2</sub>排出量0g。環境への負荷が小さい公共交通機関の利用や、自動車の利用方法を工夫することは、地球にとってもやさしい取組です。



## カラダにいい

また、出勤時や旅行時などに自転車や徒歩を積極的利用すること、地域の取組などに参加することで、より健康になったり、仲間と楽しめたりと新たな発見があります。



## 快適・便利

日常生活のなかで移動する際の手段や方法を工夫する事で、都市中心街の移動や長距離の移動時など意外と早くて快適だったり、これまで気付かなかった便利さに気付くことができます

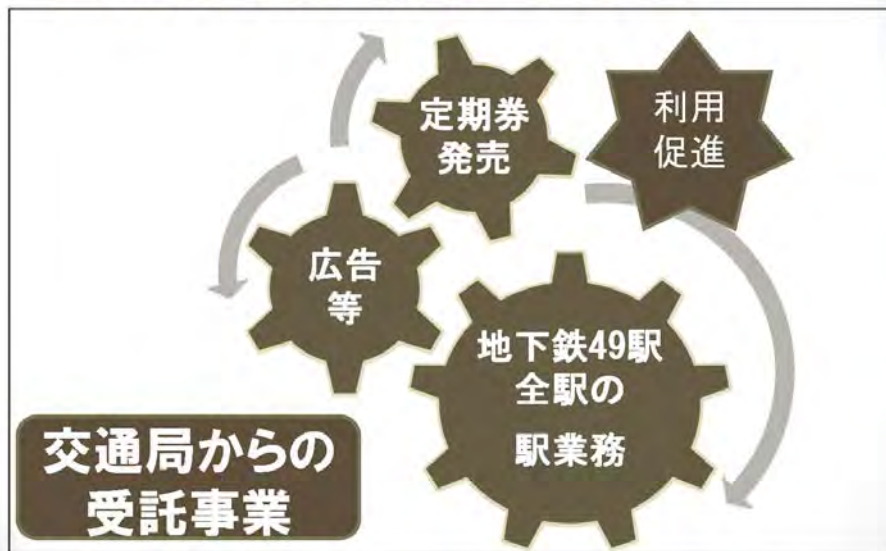


一般財団法人  
札幌市交通事業  
振興公社の活動

2012/6/29 札幌らしい交通環境学習検討委員会

SAPPORO

目立たない存在ですが……



# しかし……その他にも

## 子ども関係 の事業

市電フェ  
スティバ  
ル

市営交通  
こども  
絵画展

子ども  
市営交通  
教室

交通資料  
館まつり

サタデー  
テーリン  
グ



夏の思い出に市電といっしょにおそぼう！  
**市電フェスティバル** 第1会場  
主催：札幌市交通局／（財）札幌市交通事業振興公社／札幌市中央区  
民権 公益財団法人ネットワーク協議会 協力：札幌市交通局物産部／市電の会



# 市電 フェスティ バル





# 市営交通も 子ども絵画展



# 子ども交通室 市営交通教室





定 番  
サタデーテ  
ーリング



ぜひ、ご参加ください

SAPPORO

• **交通資料館まつり**

7月21日(土) 10時~16時

• **市電フェスティバル**

8月26日(日) 10時~16時

## 平成24年度 第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会

日 時 平成24年12月27日(木) 14時00分  
場 所 一般社団法人北海道開発技術センター 9F 大会議室

### 【 議 事 次 第 】

#### 1 事務局挨拶

#### 2 開会（委員長挨拶）

#### 3 議事

- （1）今年度の研究授業の実施報告
- （2）第2回ワーキンググループ開催報告
- （3）交通環境学習プラットフォームについて
- （4）「札幌らしい交通環境学習（仮）」フォーラム開催について
- （5）エコチルとの協働PJ企画について
- （6）その他
  - ・第7回 日本モビリティ・マネジメント会議参加報告
  - ・第4回 土木と学校教育フォーラム参加報告
  - ・出前講座実施報告
  - ・バスマップサミット開催のお知らせ
- （7）今後のスケジュール

#### 4 その他

#### <配布資料等>

平成24年度札幌らしい交通環境学習検討委員会出席名簿

札幌らしい交通環境学習検討委員会資料一式・・・・・・・・・・・・ 資料1



## 平成24年度 第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会

2012年12月27日

1

### (1) 今年度の研究授業の実践について

#### ■ 研究授業の開催報告

- 平成24年10月15日(月)に平成24年度2回目のWGを開催。
- 各WGの先生に、研究授業を実践いただいた。

実施日	先生	学年	教科	時期	単元	備考
7月4日	牧野先生	5年生	総合	1学期	環境について考えよう	どこの学校でも実施可能な標準的な授業を実践
7月18日	栗原先生	6年生	総合	1学期	環境HOT COM	
9月4日	河嶋先生	3年生	社会科	2学期	もっと知りたいみんなのまち	H23年度に向坊先生に作成いただいた指導案の内容をベースに実践
11月27日	斉藤先生	6年生	社会科	2学期	暮らしの中の政治	税金について、バスへの補助金投入の事例を元に学ぶ

2

## (1) 今年度の研究授業の実践について

7/4開催研究授業(総合)  
【宮丘小学校5年3組:牧野先生】

【課題】  
・子どもたちに公共交通の良さを  
実感させるには？



★エコやCO2削減を言うことは簡単だが、これをどこまで、浸透させることができるかを考えた。  
★公共交通が善でマイカーが悪ではなく、かしく選択する力を養いたいと思った。

- 【授業者】
- 自分たちが公共交通を利用すれば、環境などにどれだけ貢献できるのかわかるグラフを使用するなど、公共交通の良さを感じられる資料があればよい。
  - 公共交通機関がなかったら困ることや公共交通機関の大切さを実感できる資料の提示がいいのではないかな。
  - 札幌市と他の都市とを比較することによって、札幌市の公共交通がいかに普及しているのかわかるのではないかな。
  - 子どもたちが、公共交通を使うことでCO2削減にどれだけ貢献できたかわかる「CO2貯金」などを行えば、見える化ができ、実感を持たせられるのではないかな。また、張り紙などで掲示することによって、学校全体へ波及もあるのではないかな。
  - 自分自身が、公共交通を利用しないと実感は持てないと思うので、まず乗ることがいいと思う。
  - 「郷土を知る单元」で、札幌市内片道200円の旅を実施している。自分たちで行き先を調べ、実際に公共交通で行かせている。

7/18開催研究授業(総合)  
【山の手南小学校5年2組:栗原先生】

【課題】  
・子どもたちに公共交通の良さを  
実感させるには？



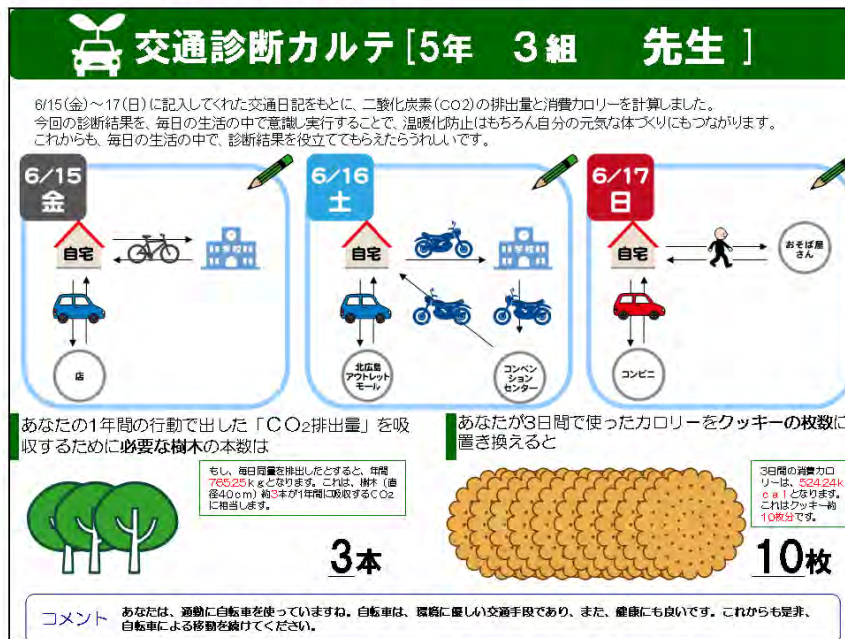
★授業では、クルマを控えることは「地球環境を守ること」だけではなく、「自分達の生活を守ること」に繋がることをポイントとした。  
★クルマ利用を控えることの「本音」を出させる工夫として、紅白帽を用いた討論とした。【授業者】

- 授業技術がよく、クルマ利用の具体例が出て、子どもたちが実感できたのではないかなと思う。
- 路線バスの利用者が減っていることをどうしたら良いかを聞けるとよかったと思う。例えば、路線・便数を増やすといったまちづくりの視点やマイカーの規制など。
- MM教育の受け入れ側としては、5年生の総合学習が向いていると思う。
- もっと事実認識を明確にして、子どもが考えるように出来ると良い。
- エコからエコへ、といった構造転換をテーマとした方が良い。
- 児童個々の中で葛藤状態が出来ていったのがクルマ利用を控える動機付けになるので良かったと思う。
- CO2が増えてもそこに起る問題に臨場感が無く、身近なバス路線が無くなるという方がより臨場感がある。交通環境学習としては、身近なものを題材にそこから、環境へ広げるほうが有効的かと感じた。

3

## (1) 今年度の研究授業の実践について

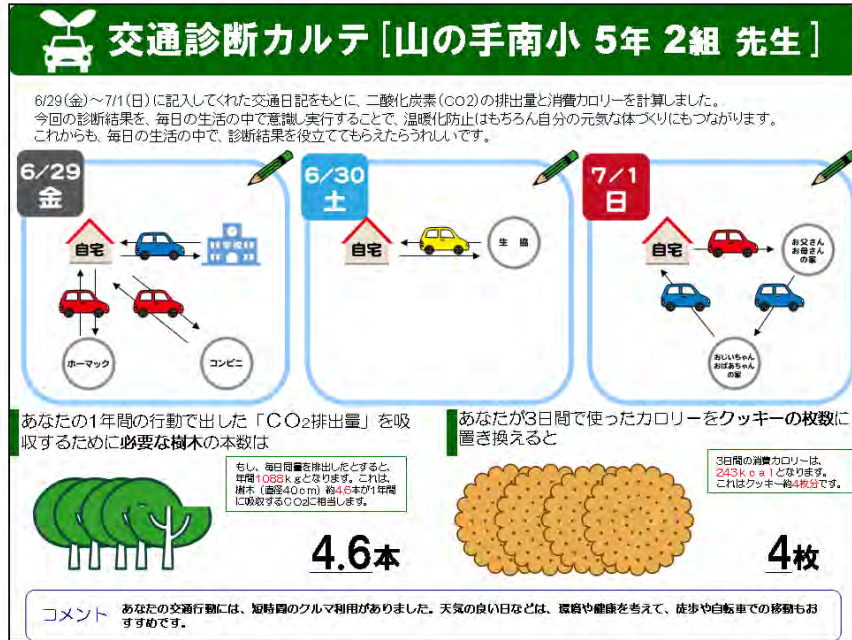
●手箱宮丘小学校 牧野先生の交通診断カルテ



4

## (1) 今年度の研究授業の実践について

### ●山の手南小学校 栗原先生の交通診断カルテ



5

## (1) 今年度の研究授業の実践について

### 9/5開催研究授業(社会科) [本通小学校3年2組:河嶋先生]

#### 【課題】

3年生に公共交通の良さの実感を感じ、公共交通とは何かを理解させるには？



★社会科の授業でいかにMMを展開できるか。交通の様子と公共施設を絡めた学習展開とした。【授業者】

- 公共施設の言葉が難しいのではないかと。
- 具体から話をしないと子どもたちは考えづらかった。
- 公共交通の説明としては、質よりも量(誰が使うよりは、どれだけ使われているか)で説明したほうがわかりやすいのではないかと。
- 市街化区域の地図等を利用して、時代の流れとともに、公共交通の利用率がわかる資料を提示するとわかりやすいのではないかと。
- 行く人の立場から考えさせると理解しやすいのではないかと。
- クルマがいいだけでなく、クルマもいい、バスもいい、地下鉄もいいということを目指した方がいいと思う。環境から入るのはいいのではないかと感じる。
- 学年別に、授業テーマを設定し、まとめる必要がある。3年生は「公共交通を知ろう」、5年生は「環境にやさしい公共交通」、6年生は「利用してみる」など。
- 公共交通の良さは、大量輸送なので、そこを強く出してもらえる授業だといのではないかと。

### 11/27開催研究授業(社会科) [屯田小学校6年1組:斎藤先生]

#### 【課題】

授業内容を、もう少し噛み砕き、多くの先生が実践可能なレベルにする。



★札幌市内の学校に広げていくために、わかりやすい内容を目指した。税金の役割を学ぶのに、始めに教科書から、次に札幌市発行の「税のお話」の冊子を使用し、最後に赤字バス路線への補助金投入の新聞記事を題材として展開した。【授業者】

- 資料をうまく使いながらうまくできたと思う。
- 本時前の学習がとても役立つ授業だったと思う。
- 赤字路線への補助金投入について、子どもたちにとっては難しいかと思っただけ、理解できた様子だった。
- 今年の「えきバスナビ」をテーマに実施し、継続して授業をしている成果ではないかと感じた。
- 赤字路線に補助金を使うメリット・デメリットを見極めるには、情報が足りなかったのではないかと。
- 子どもたちから、授業の中で出てきた話ではなく、自分たちが授業を通して感じた思いなどを話していた子どもが多く、とても良い授業だった。
- 税金投入をボランティア精神的な意味として捉えている子どもが多かったため、私たち自身も税金で助けられていることがあるはずという考えを引き出すことが大事だと思う。
- 赤字路線に投入された税金の割合が、全体からみてもどの程度なのかわかれば、税金投入の重要性がわかると思う。
- 「赤字バス路線への補助金投入」の資料提示は身近に感じられる学校だと良いが、そうでない学校では他に題材となるものがあるか。

6

## (1) 今年度の研究授業の実践について

### ● 今年度の研究授業の実践を受けた今後の展開

**目標：札幌市教育委員会が発行する指導書への反映**

#### <指導案>

WGの各教諭に作成いただいた指導案について、様式等を統一し、指導案集を作成。

- MM学習についての概略
- 単元構成
- 本時の構成
- 板書（案）
- 使用データ（公共交通利用者数の推移・公共交通カバー率 等）
- 授業風景 等

#### <研究授業>

WGの教諭を拡大し、より多くの教諭に研究授業を実践いただく体制を構築。

※詳細は、次回WGにて議論

7

## (2) 第2回ワーキンググループ開催報告

- 日時:2012年10月15日(月) 18:00～
- 場所:北海道開発技術センター 9F 大会議室
- 参加者:上田指導担当係長、牧野先生、河嶋先生、  
齊藤先生
- 議事概要:

#### (1)今年度の研究授業の実践経過・予定について

[課題]研究授業の実践数がどの程度あればよいのか  
→WGの先生以外にも研究授業を実践いただく  
必要性やその方法

#### ●実践回数について

-授業の実践数については基準はない。

#### ●WGの先生以外にも研究授業を実践していただくには

#### 一授業内容について

- 交通が学習指導要領に無いので、交通を題材にした授業の展開イメージが伝わるようにしないと授業の広がりは難しい。
- 公共交通の授業は、積み重ねができる内容にし、目標を立てさせないといけない。
- 授業は、全学年で実施する方向で進めた方が良い。
- どの先生も興味を持ったときに、すぐに実施できる状況や、全学年で実施の可能性があるのが重要。
- 1～2年生の場合は、生活科で実施可能。
- 各学校で実施するのではあればポイントを絞ったほうが良い



8

## (2) 第2回ワーキンググループ開催報告

―実践のために周知が必要、その方法としては

- ・社会科以外の先生にも、授業を見てもらい、周知できればよい。
- ・札教研や先生方で行う研修会、授業の研究会、フォーラム形式で開催してみるのもよい。

―次年度の体制等について

- ・WGメンバーを増やしたい。現在のWGメンバーの先生のもとに、3～5名程度置くようなかたちをとって行きたい。

### (2) 交通環境学習プラットフォームについて

[課題]webプラットフォーム上にどのような情報・ツールがあると活用いただけるか。

- webプラットフォームの普及において有効な方法は
  - ・ID発行はせず、多くの人に見てもらえるようにする。
  - ・指導案の掲載ページは、学習風景などの写真を掲載したほうが、見てもらいやすい。
  - ・学習素材があるとよい。また、資料に関する問合せ先があったほうが助かる。
  - ・HPの周知は、先生方から発信を常にしてもらう。札教研等で、事務局は説明するのも良い。

### (3) エコチルとの協働PJ企画についての報告

その他、JCOMM参加報告等

9

## (3) 交通環境学習プラットフォームについて

### ● webページの運用について

- 2012年10月31日より公開
- CMS（コンテンツマネジメントシステム）※により構築  
※Webコンテンツを構成するテキストや画像などのデジタルコンテンツを統合・体系的に管理し、配信など必要な処理を行うシステムの総称。ウェブサイト、ポータルサイトの構築、管理によく使用。
- 2012年度・2013年度は各種情報・指導案を事務局が掲載



- 2014年度以降は運用状況から運用方法を判断
- 各関係機関とのリンクを検討

10

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

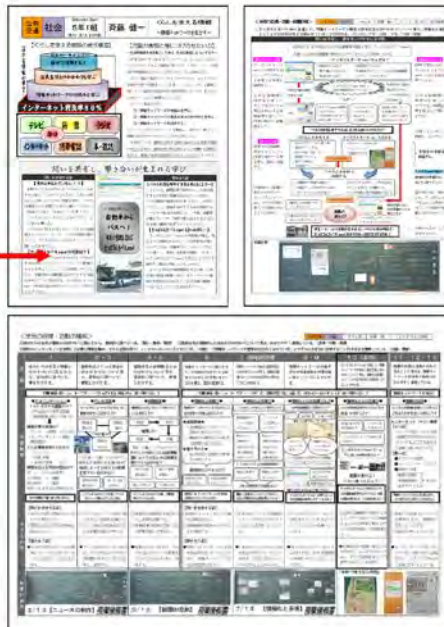


11

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ● webページの掲載内容

#### 【指導案・授業の様子（斉藤先生）】※H24年2月実施



12

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ● webページの掲載内容

#### 【指導案・授業の様子(栗原先生)】

The screenshot shows the website interface for the 'Sakazaki Traffic Environment Learning Platform'. The main content area displays a lesson plan for '5th Grade Comprehensive' (5年生総合) with a title '5年生総合 指導案' and a PDF icon. Below the title is a photo of a classroom with students and a teacher. A red arrow points from the lesson plan text to a detailed view of the lesson plan on the right, which includes sections for '5年生総合' and '5年生総合 指導案'.

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ● webページの掲載内容

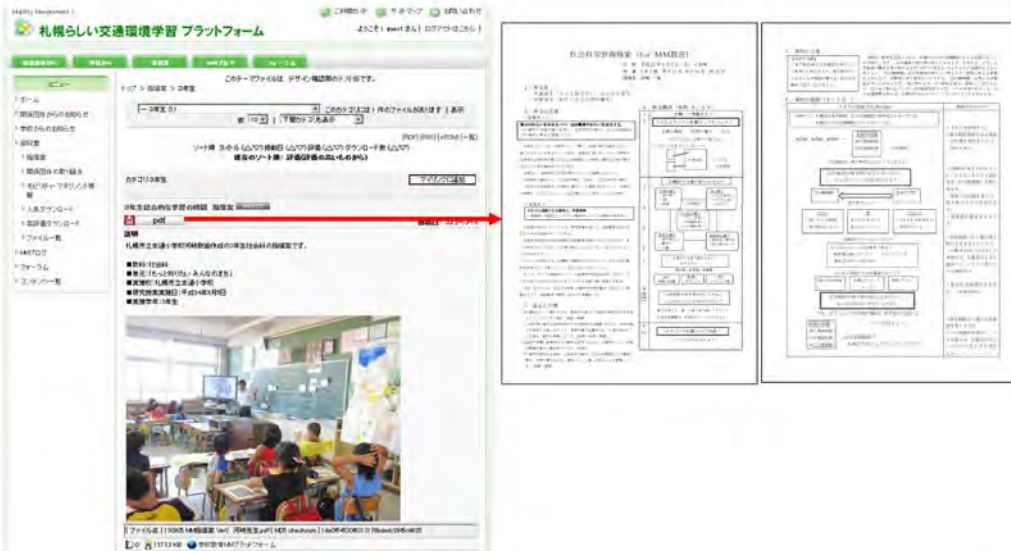
#### 【指導案・授業の様子(牧野先生)】

The screenshot shows the website interface for the 'Sakazaki Traffic Environment Learning Platform'. The main content area displays a lesson plan for '5th Grade Comprehensive' (5年生総合) with a title '5年生総合 指導案' and a PDF icon. Below the title is a photo of a classroom with a teacher pointing at a screen. A red arrow points from the lesson plan text to a detailed view of the lesson plan on the right, which includes sections for '5年生総合' and '5年生総合 指導案'.

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ● Webページの掲載内容

#### 【指導案・授業の様子（河嶋先生）】



15

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ● Webページの掲載内容

#### 【指導案・授業の様子（斉藤先生）】※11月27日実施



16



### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ 北海道開発局札幌開発建設部:札幌市版交通すろく



17

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ 北海道運輸局交通環境部:小学校における取組み



18

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ 環境省:スマートムーブ

このテーマファイルは、デザイン確認済のテスト版です。  
 トップ > 関係団体の取り組み > 環境省(スマートムーブ) > スマートムーブ

カテゴリ選択  このカテゴリには 1 件のファイルがあります

カテゴリ 環境省(スマートムーブ)

スマートムーブ  掲載日: 2012-10-14

説明  
 地球温暖化に歯止めをかけるために、CO2をなるべく排出しない「賢い移動」=「スマートムーブ」の取り組みを紹介です。

smart move

評価 0 (0 票)  
 評価する | 修正 | ファイル属性/リンク切れを報告 | 友達に伝える |

19

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ アドバコム:エコチル(交通分野の記事)

このテーマファイルは、デザイン確認済のテスト版です。  
 トップ > 関係団体の取り組み > エコチル(4月)アドバコム

「エコチル(4月)アドバコム」(2) このカテゴリには 2 件のファイルがあります | 表示数 [10] | [下部カテゴリを表示/非表示]

ソート順 タイトル (△) 掲載日 (△) 評価 (△) タウンロード数 (△) 現在のソート順: 日時(新しいものから)

カテゴリ エコチル(4月)アドバコム

エコチル 2012年4月号  掲載日: 2012-10-13

説明  
 エコチル4月号「ご春のプチエコ」に向けてみょうが掲載されました。

ファイル名 | 1204エコチル(広告なし).pdf | MD5 checksum | 38d2048be2625069519a029e0c2aed  
 842.90 KB | 学校教育M.M.プラットフォーム

20

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ アドバコム:エコチル(交通分野の記事)



21

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ 北海道環境財団:地球温暖化ふせぎ隊



22

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ 札幌市交通事業振興公社: サタデーテリング

札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

このテーマファイルは、デザイン確認用のテスト版です。

トップ > 関係団体の取り組み > 札幌市交通事業振興公社

このカテゴリには 2 件のファイルがあります | 表示  
数 [10] | 下層カテゴリを表示しない

[RSS] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順 タイトル (△) 掲載日 (△) 評価 (△) ダウンロード数 (△) 現在のソート順: 日時(古いものから)

カテゴリ 札幌市交通事業振興公社

マイリンクに追加

交通資料館

掲載日: 2012-10-12

説明  
毎週土曜日に「札幌ICカード(1日乗車券)」や「2号のぞみ(地下鉄乗車券)(1日乗車券)」を持って公共交通機関を利用し、札幌市が環境にやさしい移動の文化を醸成する取り組みを推進しています。また、子どもたちに公共交通機関の楽しさや利便性を伝えるため、サタデーテリングを開催しています。この活動を通じて、子どもたちが公共交通機関を利用し、また大人が公共交通機関を利用する習慣を身につけてもらうことを目指しています。また、札幌ICカードや2号のぞみの利用に関する情報も提供しています。

4月7日(土)から始まるよ!

サタデーテリング 2012

子どもたちが公共交通機関の楽しさや利便性を伝えるため、サタデーテリングを開催しています。

さあ! みんなで一緒にチャレンジしよう!

23

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ 札幌市交通事業振興公社: 交通資料館

札幌らしい交通環境学習 プラットフォーム

このテーマファイルは、デザイン確認用のテスト版です。

トップ > 関係団体の取り組み > 札幌市交通事業振興公社

このカテゴリには 2 件のファイルがあります | 表示  
数 [10] | 下層カテゴリを表示しない

[RSS] [RSS] [ATOM] [一覧]

ソート順 タイトル (△) 掲載日 (△) 評価 (△) ダウンロード数 (△) 現在のソート順: 日時(古いものから)

カテゴリ 札幌市交通事業振興公社

マイリンクに追加

交通資料館

掲載日: 2012-10-12

説明  
交通資料館では、札幌市営交通の歴史がわかる貴重な写真をはじめ、その当時活躍した車両や部品、制服、乗車券などを展示しています。

交通資料館

札幌市交通事業振興公社

評価 0 (0 票)

評価する | ファイル破損/リンク切れを報告 | 友達に伝える | 詳細な説明を見る

24

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ MM情報:パンフレット



25

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ MM情報:「モビリティ・マネジメント教育」



26

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ MM情報:「モビリティ・マネジメント入門」



27

### (3) 交通環境学習プラットフォームについて

#### ■ MM情報:交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)ポータルサイト



28

## (4) 「札幌らしい交通環境学習(仮)」フォーラムについて

### ■ 目的:

交通環境学習を関係教諭以外や多くの小学校での実践数を増やすため、交通環境学習の取組の周知を目的としたフォーラムを開催する。

### ■ 開催概要(案):

- 開催日: 2013年5月又は、6月の運動会終了時期を予定
- 開催時間: 午後
- 対象: 小中学校教諭
- 主催: 札幌市又は、札幌らしい交通環境学習検討委員会
- 後援: 札幌市教育委員会、北海道開発局、北海道運輸局、環境省 等の行政機関

※フォーラムは、教諭が勤務の一環で参加できるよう配慮する。

※講師やフォーラムの運営方法等は、次回、WGIにて議論。

29

## (5) エコチルとの協働P」企画について

### 「公共交通について考える」きっかけづくりプロジェクト企画

#### ■ 目的:

エコチル紙面において公共交通の現状や課題を周知するとともに、児童の取組み(作文等)を通じて、公共交通について考えるきっかけを創造する。

#### ■ エコチルでの紙面掲載・募集:

8月号(8月20日発行)に掲載

#### ■ 実施企画

- 実施企画: 「公共交通の作文コンクール」
- 内容: ・エコチルを通じて公共交通の現状や課題を周知。  
・児童が「公共交通」に関連した作文を作成/応募。  
・応募のあった作品を審査し表彰。
- 応募対象: 札幌市内に居住する小学生
- 応募期間: 2012年8月20日～10月1日
- 審査方法: 札幌らしい交通環境学習検討委員会より審査員を選定し審査  
(高野委員長・川瀬委員・内山委員・臼井委員)
- 主催: アドバコム
- 共催: 札幌らしい交通環境学習検討委員会
- 協賛: 「地域と教育」を元気にするフォーラム
- 後援: 交通エコロジー・モビリティ財団・札幌市・札幌市教育委員会・札幌市事業振興公社・北海道中央バス
- 応募作品数: 107作品



30

(5) エコチルとの協働PJ企画について

「公共交通について考える」きっかけづくりプロジェクト企画

■ エコチルでの掲載:

エコチル12月号、エコチルHPに掲載

■ 実施結果

- 応募総数: 107作
- 受賞: 最優秀賞…1点  
 審査員特別賞…1点  
 低学年優秀賞…1点  
 高学年優秀賞…1点  
 佳作……………10点



エコチルHP TOP画面

(5) エコチルとの協働PJ企画について

・エコチル12月号紙面(見開き)





## (6) その他

### ●第7回日本モビリティ・マネジメント会議参加報告

#### ■開催日:

2012年8月3日(金)～5日(日)

※3日は、富山事務局主催にて、午後からポートラム、セントラム等の富山市内視察

※4日は、午前中が同じく富山事務局主催にて開催地企画。午後から、JCOMMセッション

※5日は、終日JCOMMセッション

#### ■会場:

富山県富山市 富山国際会議場(富山市大手町1番2号)

#### ■主催:

一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

#### ■共催:

富山市、(株)新日本コンサルタント、(社)土木学会

#### ■本プロジェクトに関する発表

発表タイトル:「札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組み」

発表者:札幌市立屯田小学校 斉藤 健一

連名者:札幌市市民まちづくり局総合交通計画部:西田 健一・岡 顕一

一般社団法人北海道開発技術センター:原文宏・新森 紀子・大井 元揮

筑波大学大学院システム情報工学研究科:谷口 綾子

北海道大学大学院工学研究院:高野 伸栄

発表日時:8月5日(日) 9:00-10:00 口頭発表3



33

## (6) その他

### ●土木と学校教育フォーラム

#### ■開催日:

2012年7月28日(土)

#### ■会場:

土木学会 (東京都新宿区四ツ谷)

#### ■概要:

「土木と学校教育フォーラム」は、初等中等教育における道や川、まちといった様々な社会基盤・公共財を題材とした初等中等教育のあり方を考え、児童・生徒のシティズン・シップ教育に資することをねらいとして、「全国」の土木と学校教育の双方の専門家と実践者が集まり、種々の研究発表、事例紹介を行う場。

#### ■主催:

土木学会 担当:教育企画・人材育成委員会「土木と学校教育会議」検討小委員会

#### ■共催:

交通エコロジー・モビリティ財団

#### ■発表申し込み:

2012年6月29日(金)〆切

#### ■本プロジェクトに関する発表

発表タイトル:「札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えたMM教育の実践的取組み」

発表者:札幌市立幌西小学校 新保元康 校長



34

## (6) その他

### ●出前講座の実施報告

#### ■ 実施日時:

2012年12月14日(金) 5校時(13:35~14:20)

#### ■ 実施校:

札幌市立屯田小学校6年生(107名)

#### ■ 概要:

##### 【わらい】

自分たちが暮らす屯田地域を町内会、防災、交通という視点から見つめ直すことで、屯田地域が「誰もが安心して豊かに暮らすことができる生活環境が整えられている」ことに気付き、その暮らしを持続可能にするには、自分たちの参画意識が必要なのことがわかる。

##### ～交通の視点での授業展開～

1. 屯田のバス路線を知る
2. バスのメリットとデメリットを考える
3. バス路線を維持するには、一回でも多く乗車することが大切なことに気付く
4. 札幌市の交通事情・屯田の交通事情・前時までの学習内容に関連したお話  
札幌市交通未来予測・交通施策の課題 など



35

## (6) その他

### ●第10回バスマップサミットin札幌

#### ■ 開催日:

2013年2月16日(土)[13:30~18:30]  
～17日(日)[10:00~15:30]

#### ■ 会場:

札幌エルプラザ 3Fホール

#### ■ 概要:

全国各地でバスマップを制作・発行等を行っている市民活動団体が中心となり、バスをはじめとする日本の公共交通について考える場として、毎年1回開催している。

#### ■ 主催:

交通まちづくりフォーラム実行委員会

#### ■ 共催:

全国バスマップサミット実行委員会

#### ■ 協力:

札幌市環境プラザ、駒沢大学文学部地理学科、NPO法人北海道NPOサポートセンター

#### ■ 後援:

北海道運輸局、環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、札幌市交通局、北海道中央バス㈱、ジェイ・アール北海道バス㈱、㈱じょうてつバス、(公社)日本地理学会、(一社)日本モビリティ・マネジメント会議、北海道新聞社



36

## (7) 今後のスケジュール

	研究授業実践スケジュール	その他
4月		
5月	5/9: 第1回WG	
6月	6/29: 第1回検討委員会	
7月	7/4: 研究授業の実践(札幌市立手稲宮丘小学校) 7/18: 研究授業の実践(札幌市立山の手南小学校)	
8月		8/3-5JCOMM
9月	9/5: 研究授業の実践(札幌市立本通小学校)	
10月	10/15: 第2回WG	
11月	11/27: 研究授業の実践(札幌市立屯田小学校)	
12月	12/27: 第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会	
1月		
2月	※第3回WG	
3月	※第3回札幌らしい交通環境学習検討委員会	

37

## 平成24年度 第3回札幌らしい交通環境学習検討委員会

日 時 平成25年3月21日(木) 15時30分  
場 所 一般社団法人北海道開発技術センター 9F 大会議室

### 【 議 事 次 第 】

1 事務局挨拶

2 開会（委員長挨拶）

3 議事

（1）平成24年度小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業報告書について

（2）平成25年度の体制及びスケジュール

（3）札幌らしい交通環境学習フォーラムについて

（4）次年度のWGの体制について

（5）指導案の様式の統一化について

（6）その他

#### <配布資料等>

平成24年度札幌らしい交通環境学習検討委員会出席名簿

札幌らしい交通環境学習検討委員会資料・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料1

平成24年度小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業報告書・・・・ 資料2

# 平成24年度 第3回札幌らしい交通環境学習検討委員会

2013年3月21日

1

## (1)平成24年度小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業報告書について

●報告書については、別紙

目次

### 第1章 事業概要

- 1-1 事業概要
- 1-2 実施スケジュール

### 第2章 交通環境学習の実施

- 2-1 交通環境学習の実施
  - 2-1-1 交通環境学習の実施概要
  - 2-1-2 指導案
  - 2-1-3 指導案のフォーマット化
- 2-2 交通環境学習実施後の意見交換会の開催
  - 2-2-1 交通環境学習実施後の意見交換会の開催概要
  - 2-2-2 意見交換会での意見

### 第3章 交通環境学習プラットフォームの運用

- 3-1 交通環境学習プラットフォームの運用
- 3-2 Webページの掲載内容

### 第4章 検討委員会・ワーキンググループの運営

- 4-1 検討委員会の開催
  - 4-1-1 第1回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要
  - 4-1-2 第2回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要
  - 4-1-3 第3回札幌らしい交通環境学習検討委員会開催概要
- 4-2 ワーキンググループの開催
  - 4-2-1 第1回ワーキンググループの開催概要
  - 4-2-2 第2回ワーキンググループの開催概要
  - 4-2-3 第3回ワーキンググループの開催概要

### 第5章 本事業の取組み報告

- 5-1 第7回日本モビリティ・マネジメント会議
- 5-2 土木と学校教育フォーラム
- 5-3 小学生作文コンクール

### 第6章 本事業のまとめと今後の方針

- 6-1 本事業のまとめと今後の方針
- 6-2 平成25年度のスケジュール

2

## (2)平成25年度の体制及びスケジュール

### 【検討委員会委員】

	役職名	氏名
学識経験者	北海道大学大学院工学研究科准教授	高野 伸栄
	筑波大学大学院システム情報工学研究科講師	谷口 綾子
小学校関係	札幌市教育委員会学校教育推進課指導担当係長	上田 繁成
	札幌市立幌西小学校長	新保 哲夫
	札幌市立手稲宮丘小学校教諭	牧野 宜英
関係団体 市民団体	北海道バス協会常務理事	日野 健一
	(財)北海道環境財団 情報交流課長	内山 到
	「地域と教育」を元気にするフォーラム (株)アドバコム 代表取締役	川瀬 良司 臼井 純徳
行政関係	国土交通省北海道運輸局交通環境部環境課長	小松 重之
	国土交通省北海道開発局札幌開発建設部都市圏道路計画課長	平井 篤夫
	札幌市交通局事業管理部長	中田 雅幸
事務局	札幌市市民まちづくり局総合交通計画部	新塚 順一
	札幌市市民まちづくり局総合交通計画部	有保 広之
	札幌市市民まちづくり局総合交通計画部	稲村 輝
	札幌市市民まちづくり局総合交通計画部	岡 猶一
	札幌市市民まちづくり局総合交通計画部	中川 健治

### 【WGメンバー】

役職	氏名
札幌市立幌西小学校長	新保 哲夫
札幌市教育委員会学校教育推進課指導担当係長	上田 繁成
札幌市立手稲宮丘小学校教諭	牧野 宜英
札幌市立木道小学校教諭	河嶋 一貴
札幌市立円山小学校教諭	向坊 紫織
札幌市立屯田小学校教諭	斉藤 健一
札幌市立山の手南小学校教諭	栗原 聡太郎

※WGメンバーについては増員を検討中。

### 【オブザーバー】

- 環境省北海道地方環境事務所
- バス事業者  
(北海道中央バス/ジェイ・アール北海道バス/よつてつ)
- (財)札幌市交通事業振興公社

3

## (2)平成25年度の体制及びスケジュール

	平成25年度実施スケジュール	その他
4月	↑ 実施計画の検討 新規WGメンバーの検討	第1回WG JCOMM エントリー
5月	↓ MM教育プラットフォームの運用	
6月	↑ MM教材開発 授業プログラム開発 交通環境学習(研究授業)の実践	第1回委員会
7月		7/12-14 JCOMM
8月	夏頃に「札幌らしい交通環境学習フォーラム」を開催	小学生作文コンクール
9月		
10月		
11月		第2回WG
12月		第2回委員会
1月		第3回WG
2月		第3回委員会
3月	↓	完了報告書提出

4

### (3)「札幌らしい交通環境学習」フォーラムについて

#### ■ 目的:

交通環境学習を関係教諭以外や多くの小学校での実践数を増やすため、交通環境学習の取組の周知を目的としたフォーラムを開催する。

#### ■ 開催概要(案):

●開催日: 2013年夏頃

●開催時間: 午後

●対象: 札幌市内の小中学校教諭

●場所: 山の手南小学校

#### ●プログラム:

- 13:30 ~ 14:15(45min) 研究授業 (授業者: 栗原先生)

- 14:30 ~ 15:15(45min) 意見交換

[休憩・舞台設定] ※体育館へ移動

- 15:30 ~ 16:00(30min) パネルディスカッション①(WGメンバーを中心に構成)

[コーディネーター]未定

[パネリスト]牧野先生、河嶋先生、斉藤先生、栗原先生等

※テーマについて

案)これまでの研究授業等を踏まえた交通環境学習の方向性について

- 16:10 ~ 16:50(40min) パネルディスカッション②(検討委員会メンバーを中心に構成)

[コーディネーター]新保先生

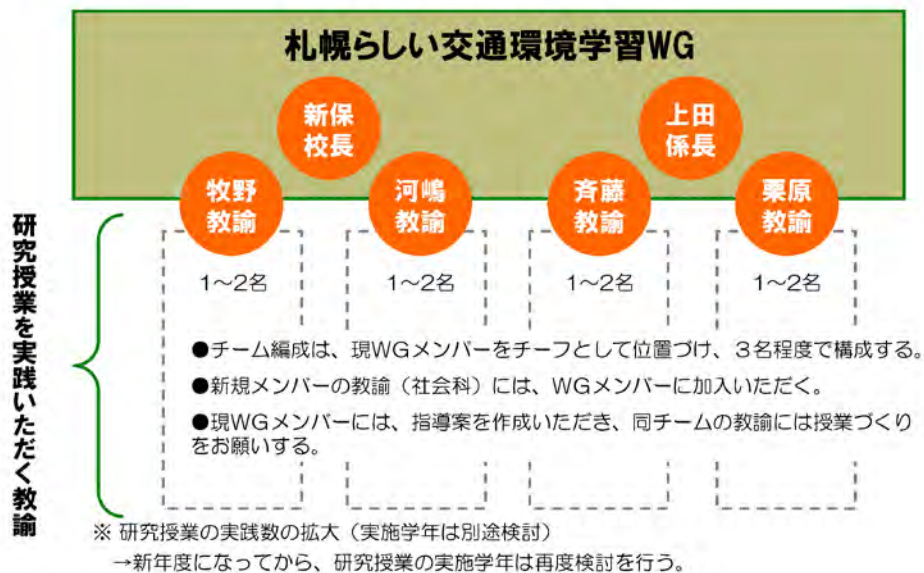
[パネリスト]高野先生、臼井委員、札幌市等

●主催: 札幌市 ●共催: 札幌らしい交通環境学習検討委員会

●後援(予定): 札幌市教育委員会、エコモ財団

5

### (4)次年度のWGの体制について



6





## (6)その他

### ●平成25年度 第8回日本モビリティ・マネジメント会議の出席について

#### ■概要:

- 開催日: 2013年7月12～14日
  - ※12日は、午前中が仙台事務局主催にて開催地企画  
午後からJCOMMセッション
  - ※13日は、終日JCOMMセッション
  - ※14日は、三陸地域への現地見学会を予定
  
- 開催場所: 宮城県仙台市 仙台市民会館

## 第1回ワーキンググループ資料

### 平成24年度 第1回札幌らしい交通環境学習検討委員会ワーキンググループ

日 時 平成24年5月9日(水) 18時00分  
場 所 社団法人北海道開発技術センター会議室

#### 【 議 事 次 第 】

- 1 平成24年度の札幌らしい交通環境学習の研究授業の実践について・・・資料1
- 2 公共交通機関を使って社会科見学プロジェクトについて・・・・・・資料2
- 3 研修会等における研究授業の実施について
- 4 第7回日本モビリティ・マネジメント会議について・・・・・・資料3・4
- 5 その他

#### <配布資料等>

- ◆平成24年度の札幌らしい交通環境学習の研究授業の実践について 【資料1】
- ◆「子供達から始める（始まる）公共交通利用の輪」 【資料2】
- ◆第7回日本モビリティ・マネジメント会議について 【資料3】
- ◆第7回日本モビリティ・マネジメント会議 エントリー内容 【資料4】
- ◆平成23年度小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業報告書 【資料5】

平成24年度の札幌らしい交通環境学習の研究授業の実践について

資料-1

	研究授業実践スケジュール	その他
4月		
5月	※第1回WG(5/9)	
6月	※第1回検討委員会(予定)	
7月		
8月		8/3-5JCOMM
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

平成24年度の札幌らしい交通環境学習の研究授業の実践について

【参考:各先生の担任の学年】

学校	学年	氏名
札幌市立幌西小学校	校長	新保 哲夫
札幌市立手稲宮丘小学校	5年生	牧野 宜英
札幌市立本通小学校	3年生	河嶋 一貴
札幌市立円山小学校	1年生	向坊 紫織
札幌市立屯田小学校	6年生	斉藤 健一
札幌市立山の手南小学校	5年生	栗原 聡太郎

■ 開催日:

2012年8月3日(金)～5日(日)

※3日は、富山事務局主催にて、午後からポートラム、セントラム等の富山市内視察

※4日は、午前中が同じく富山事務局主催にて開催地企画。午後から、JCOMMセッション

※5日は、終日JCOMMセッション

■ 会場:

富山県富山市 富山国際会議場(富山市大手町1番2号)

■ 主催:

一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

■ 共催:

富山市、(株)新日本コンサルタント、(社)土木学会

■ 参加申し込み:

2012年7月20日(金)〆切

① 発表者・連名者の氏名・所属／勤務先

発表者：札幌市立屯田小学校 斉藤 健一

連盟者：札幌市市民まちづくり局総合交通計画部：西田 健一・岡 顕一

一般社団法人北海道開発技術センター：原 文宏・新森 紀子・大井 元揮

筑波大学大学院システム情報工学研究科：谷口 綾子

北海道大学大学院工学研究院：高野 伸栄

② 代表者の連絡先（連絡者氏名、住所、tel、e-mail）

代表者：大井元揮、札幌市中央区南1条東2丁目11番地、011-271-3022、[ooj@decnet.or.jp](mailto:ooj@decnet.or.jp)

③ MM で使用したツール展示の希望

無し

④ 発表タイトル

「札幌市内全小学校への拡大的展開を見据えた MM 教育の実践的取組み」

⑤ 発表概要

800 字以内（厳守）で

a) 背景と目的 200 字程度

札幌市では、平成 24 年 1 月に策定された札幌市総合交通計画において、モビリティ・マネジメントの実施を今後の公共交通利用促進の施策として位置づけ、居住者 MM 等の施策を展開しているところである。これに加え、札幌市における MM 施策の核として、「札幌らしい交通環境学習」を、将来的に、札幌市内の全小学校で実施することを見据え、平成 23 年度から検討を始め、平成 24 年 2 月に市内小学校 1 校において、研究授業を実践した。

b) プロジェクトの内容 200 字程度

研究授業の検討においては、1 名の小学校長と 5 名の小学校教諭及び札幌市教育委員会を構成員とするワーキンググループを設置し、各学年における MM 教育の実践の可能性についてを検討し、平成 23 年度は、札幌市立屯田小学校において、5 年生社会科の「単元名：くらしを支える情報～情報ネットワークを生かす～」の中で、札幌市内の公共交通検索システム（さっぽろえきバス navi）をテーマとして、取り上げ、MM 教育を実践した。

c) 効果 200 字程度

本プロジェクトの実施により、行政やコンサルタントによるゲストティーチャー主導の MM 教育ではなく、学校教諭が主体となった研究授業が実践出来た。また、これまで、総合学習や 5 年生社会科の「単元名：自動車をつくる工業」においての MM 教育が主流であったが、本取組により、情報単元による MM 教育の可能性についても一定の示唆が得られた。

d) 結論 200 字程度を記載

今後は、札幌市の社会科教育の指導書への掲載を目指し、より研究授業を実践する取組みが必要と考えられる。また、MM 教育をより多くの教諭・学校に認知いただくことも必要と考えられ、web プラットフォーム整備による情報提供や教諭を対象とした MM 教育セミナー等の開催を実施してきたいと考えている。

なお、本プロジェクトは、交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受け実施している事業であり、ここに記して感謝の意を表します。

⑥ キーワード

学校 MM 教育

**平成24年度 札幌らしい交通環境学習検討委員会**

**第3回ワーキンググループ**

■日時 平成25年2月26日（火）18:00～

■場所 一般社団法人北海道開発技術センター 会議室

議 題

- (1) 札幌らしい交通環境学習フォーラムについて
- (2) 次年度のWGの体制について
- (3) 指導案の様式の統一化について
- (4) その他

# 平成24年度 札幌らしい交通環境学習検討委員会 第3回ワーキンググループ

2013年2月26日

1

## (1)「札幌らしい交通環境学習」フォーラムについて

### ■ 目的:

交通環境学習を関係教諭以外や多くの小学校での実践数を増やすため、交通環境学習の取組の周知を目的としたフォーラムを開催する。

### ■ 開催概要(案):

●開催日: 2013年5月又は、6月の運動会終了時期を予定

●開催時間: 13:30～17:00

●対象: 小中学校教諭

●場所: 市内小学校 ※プログラムの研究授業実施校

### ●プログラム:

#### ・パターン①

- 13:30～14:15(45min) 研究授業 ※授業者・授業テーマ 検討

【移動】

- 14:30～15:30(60min) 講演 ※講師検討

【休憩・舞台設定】

- 15:40～17:00(80min) パネルディスカッション

※パネルディスカッションメンバー検討、来場者の参加方法も検討

#### ・パターン②

- 13:30～14:15(45min) 研究授業

【移動】

- 14:30～15:30(60min) 教材展示

※授業で使用できるツールの紹介等

【休憩・舞台設定】

- 15:40～17:00(80min) パネルディスカッション

●コーディネータ: 新保 校長(機西小)

●パネラー: 講師・上田係長(札幌市教育委員会)・授業者・高野先生(北海道大学大学院 准教授)・  
日井社長(アドバコム)・内山課長(環境財団)・加藤部長(エコモ財団)等

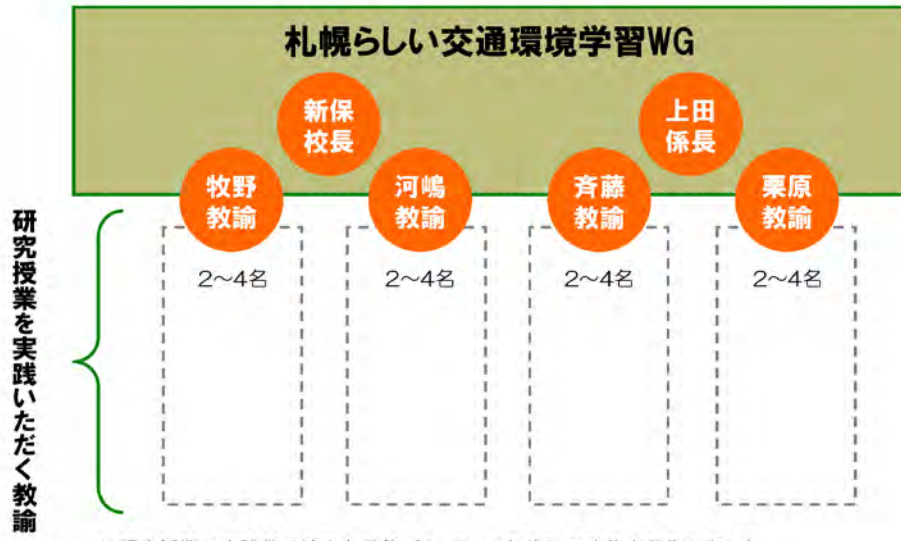
●主催: 札幌市 ●共催: 札幌らしい交通環境学習検討委員会

●後援: 札幌市教育委員会、北海道開発局、北海道運輸局、環境省、エコモ財団

2



## (2)次年度のWGの体制について



※ 研究授業の実践数の拡大を目的（1・2・4年生での実施を目指したい）

- 今後の意見交換会について  
事務局のみの参加としたい→後日、討論会を開催

## (3)指導案の様式の統一化について

- 指導案の統一様式（案） 1～2P



## 指導案の様式の統一化について

### ●指導案の統一様式（案） 3～4P

**2.単元の目標と学習計画**

**●単元の目標（1～3校時）**

- 目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)
- 目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)
- 目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**●単元の構成（1～3校時）**

1	2	3
<p>1時間目板書</p>	<p>3時間目板書</p>	

●単元の目標（1～3校時）

○目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**●単元の目標（4～6校時）**

- 目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)
- 目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)
- 目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**●単元の構成（4～6校時）**

4	5	6（本時）
<p>4時間目板書</p>	<p>5時間目板書</p>	<p>6時間目板書</p>

●単元の目標（4～6校時）

○目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**本時で活用する資料**

## 指導案の様式の統一化について

### ●指導案の統一様式（案） 5～6P

**3.本時の目標と学習計画**

**【目標】**

- 目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)
- 目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)
- 目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**【計画】**

○目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**【実施】**

○目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**【振り返り】**

○目標を定めて指導に当たること、授業に当たっている、(計画・準備)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(実施・評価)

○目標を達成するための指導に当たること、授業に当たっていること、(振り返り)

**4.本時の実施計画**

本時の様子

【計画】

